

2021

放送大学学園要覧

令和3年度

 放送大学学園

文部科学省・総務省所管

設立の趣旨・目的

放送大学学園法は、放送大学の設置及び運営に関し必要な事項を定めることにより、大学教育の機会に対する広範な国民の要請にこたえるとともに、大学教育のための放送の普及発達を図ることを目的として制定されました。

放送大学学園は、同法に基づき設立された学校法人であり、放送大学を設置し、放送による授業や、全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行うことを目的としています。

放送大学には学部及び大学院を置き、次のように目的を定めています。

- 1 各専門分野における学術研究を通じて新しい教養の理念を追求し、放送を活用して大学教育を行い、併せて広く生涯学習の要望に応えること(放送大学学則)
- 2 生涯にわたって学ぶ意欲を有する学習者に対し、学術の理論及び応用を教授し、その深奥を極め、又は高度の専門性が求められる社会的役割を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことによって、文化の進展並びに社会と地域の発展に寄与すること(放送大学大学院学則)

放送大学学園要覧 2021 目次

▶ 理事長挨拶	3	▶ 単位互換・資格等	41
▶ 学長挨拶	4	▶ 科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)	45
▶ 沿革	5	▶ 学習センター	47
▶ 組織	6	▶ オンライン教育センター・学習教育戦略研究所	49
▶ 放送大学の教育システム・放送システム	13	▶ 施設紹介	50
▶ 教養学部	17	▶ 在学生の概要	51
▶ 大学院修士課程	27		
▶ 大学院博士後期課程	35		



▶ 卒業生等の概要	55
▶ 土地・建物一覧・予算	57
▶ 建物配置図	58
▶ 放送大学学園の予算	58
▶ 放送大学学園案内図	59

放送大学のシンボマークについて

制作 永井一正氏



1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育を受ける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

理事長挨拶



放送大学学園理事長

有川 節夫

歴代理事長

- 藤田 健治
昭和56.7.1 ~ 昭和58.6.30
- 香月 秀雄
昭和58.7.1 ~ 昭和61.7.15
- 宮地 貫一
昭和61.7.16 ~ 平成3.6.30
- 阿部 充夫
平成3.7.1 ~ 平成9.6.30
- 井上 孝美
平成9.7.15 ~ 平成17.9.30
- 御手洗 康
平成17.10.1 ~ 平成23.3.31
- 白井 克彦
平成23.4.1 ~ 平成29.3.31
- 有川 節夫
平成29.4.1 ~

放送大学学園は、「放送大学学園法」に基づく特別な学校法人として昭和58年（1983年）に開設。36年目となる今年時点では、テレビやラジオ、インターネットを使った約400の講義を開設しています。全国各地に設置された57の学習センター・サテライトスペースは、単位認定試験や学習相談、放送授業の再視聴、インターネットを利用した自習などができるように整備されています。学生はそのいずれかに所属することになっており、例年、合計約3,000もの面接授業が実施されています。昨年度の在籍学生は、約87,000人（内：大学院約4,200人）、卒業または修了した学生は約6,500人でした。累計では、約170万人以上の学生が放送大学で学び、約125,000人が卒業または修了したことになります。博士後期課程についても平成29年に1期生4名の博士を輩出して以降、博士の学位取得者は年々増加し、昨年度末は28名もの博士を輩出しています。平成30年10月からBSに一元化し、常時2チャンネルで運用中のテレビ放送は、通常の授業科目用の232チャンネル（BSキャンパスon）に加え、「学び直し」の支援を目的とした番組を231チャンネル（BSキャンパスex）で提供しています。さらにテレビ科目（一部除外）とラジオ科目をインターネットでも視聴可能とし、OCWやYouTubeでの提供にも注力しています。最先端のICT関連技術など専門性や資格取得に繋がる講義の開始、CBTなど新しい試験の導入を実施し、さらにインターネットを使った試験IBTの検討も進めています。在学生の年代が幅広く、全体の約7割が有職学生である放送大学として、学生からのニーズに応えることはもちろん「人生100年時代」といわれる社会のニーズにも迅速かつ的確に応え続けています。また、昨年からは、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、卒業式の中止、学習センターなどの閉鎖を決定した一方で、Web講義や自宅試験などの代替措置を緊急対策として講じるなど教育機能の維持にも努めております。新たな生活様式の流れとして、通学制の大学においても双方向性の教育学習が定着しつつある昨今ですが、通信制の基幹大学である放送大学では、こうした潮流を先導するとともに能率的な職場にすべく努力してまいります。

学長挨拶



放送大学長

岩永 雅也

歴代学長

- 香月 秀雄
昭和58. 4. 1 ~ 平成元. 4. 30
- 甲田 和衛
平成元. 5. 1 ~ 平成4. 3. 31
- 小尾 信彌
平成4. 4. 1 ~ 平成10. 3. 31
- 吉川 弘之
平成10. 4. 1 ~ 平成13. 4. 30
- 丹保 憲仁
平成13. 5. 1 ~ 平成19. 4. 30
- 石 弘光
平成19. 5. 1 ~ 平成23. 4. 30
- 岡部 洋一
平成23. 5. 1 ~ 平成29. 3. 31
- 來生 新
平成29. 4. 1 ~ 令和3. 3. 31
- 岩永 雅也
令和3. 4. 1 ~

放送大学は、制度上、「放送大学学園法」(2002年)に基づいて設置された特別な学校法人・放送大学学園が開設する私立大学ですが、創設の経緯や国からの運営費補助金の規模などに関しては、国立大学に極めて近い性格を持つ大学です。その原点は、半世紀前、1967年の社会教育審議会への当時の文部省の諮問「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」に求められます。その背景には、第一に、大学紛争によって明らかになった大学教育の問題点に関して多様な教育改革が求められていたこと、第二に、実用化されるUHFおよびFM波の教育分野での利用が模索されていたこと、そして第三に、世界的な生涯教育推進の潮流がありました。その諮問への答申を受けて文部省は1969年に『放送大学』の設立について」を公表しました。放送大学の名称もそのときに定められたものです。

そうした多様な背景のもとに出発したことで、放送大学は「いつでも、どこでも、誰もが」学べる大学を標榜しつつ、他の伝統的な大学にはなかった多様なミッションを掲げることとなりました。それは、①生涯学習機関として広く社会人などに大学教育機会を提供し、②新しい高等教育システムとして新規高卒者に対し柔軟な大学進学機会を保障し、③既存の大学との連携協力のもと単位互換、教員交流、放送教材の普及などにより大学教育全体の改善を実現する、といったミッションです。現在はそれに「職業・資格に関わりカレント教育」が加わりつつあります。

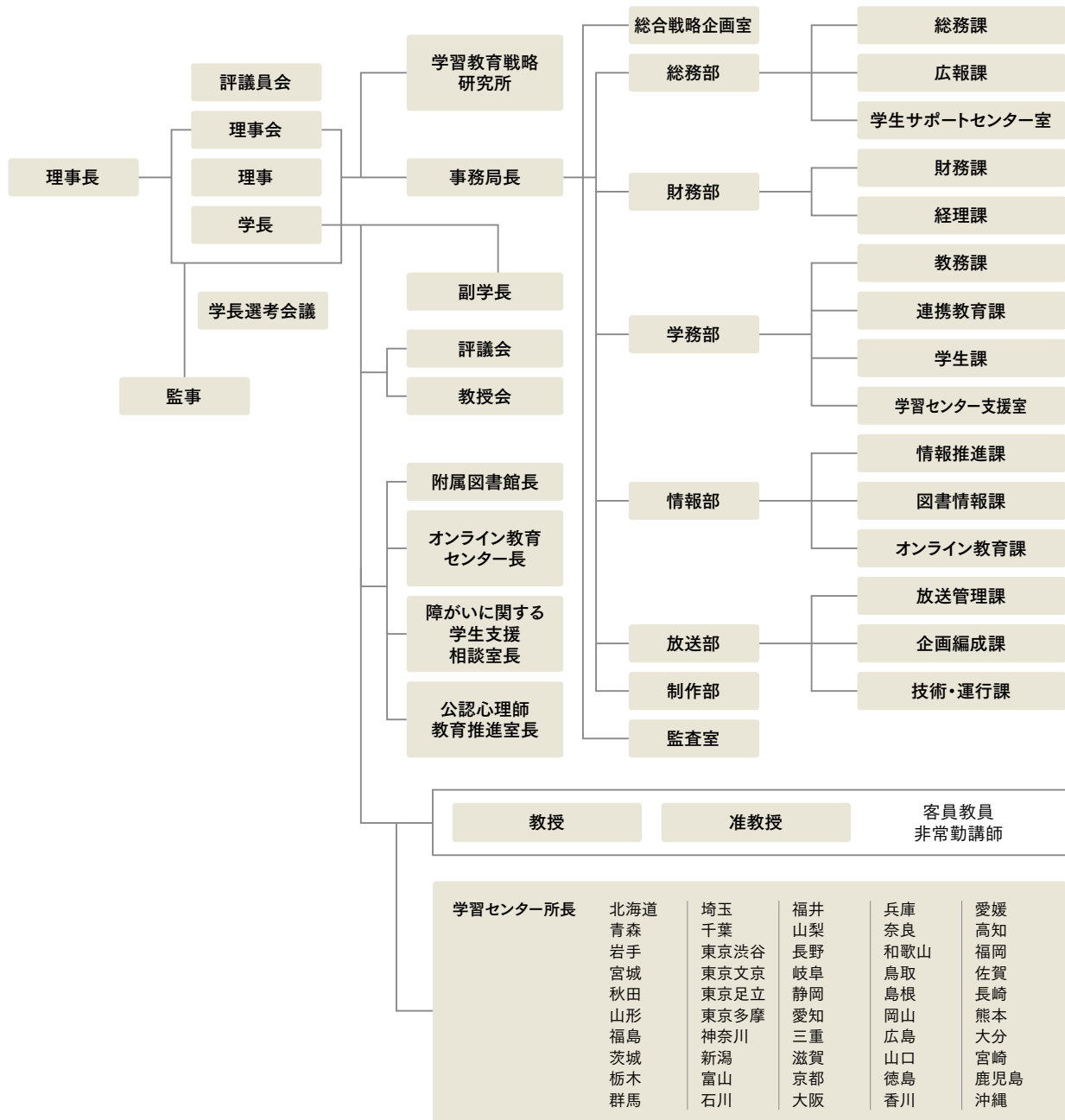
今日の放送大学は、学士課程のみならず大学院修士課程・博士後期課程をも有する日本最大の遠隔大学です。BSチャンネルによるテレビ・ラジオの放送授業のほか、インターネットを利用したオンライン科目などをあわせ、毎学期400科目弱に及ぶ授業を多様なメディアにより提供しています。また、全国57カ所に設置された学習センター・サテライトスペースで、年間3,000科目以上の面接授業を開設しています*。設置されている学部は教養学部のみ、大学院研究科は文化科学研究科のみですが、カリキュラムは、健康科学、生活科学、人間発達科学、社会科学、人文学、そして自然環境科学など、一般の総合大学に匹敵する広がりを持っています。現在は、学部と大学院を合わせて約9万人に上る在学生の方々が、自分の学びたい領域の科目を、自身の都合とペースに合わせ、全国津々浦々で学んでいます。

* 2020、21年度はコロナ禍の影響で多くの科目が閉講やWeb授業への変更を余儀なくされています。

沿革

昭和42年(1967)	11月	●文部省社会教育審議会に対し「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」諮問
昭和44年(1969)	3月	●文部省社会教育審議会「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」答申
	11月	●文部省放送大学問題懇談会が文部・郵政両大臣に意見書提出
昭和45年(1970)	7月	●文部省放送大学準備調査会「放送大学の設立について」報告書提出
昭和49年(1974)	3月	●文部省放送大学(仮称)設置に関する調査研究会議「放送大学(仮称)の基本構想」提出
昭和50年(1975)	12月	●文部省放送大学創設準備に関する調査研究会議「放送大学の基本計画に関する報告」提出
昭和53年(1978)	10月	●国立大学共同利用機関として「放送教育開発センター(現オンライン教育センター)」設立
昭和56年(1981)	6月	●放送大学学園法(昭和56年法律第80号)公布・施行
	7月	●放送大学学園設立
昭和58年(1983)	4月	●放送大学設置
昭和59年(1984)	11月	●東京放送局予告放送開始
昭和60年(1985)	4月	●学習センター(群馬・埼玉・千葉・東京第一・東京第二・神奈川)学生受入れ開始・放送(テレビ及びFMラジオ)による授業開始
昭和62年(1987)	4月	●諏訪地区学習センター学生受入れ開始
	11月	●アジア公開大学連合(AAOU)加盟
平成元年(1989)	4月	●3学期制から2学期制への移行 ●第1回卒業式の挙行
平成2年(1990)	6月	●附属図書館開館
	10月	●ビデオ学習センター学生受入れ開始
平成6年(1994)	6月	●ビデオ学習センターを地域学習センターに改組
平成9年(1997)	10月	●委託放送業務認定(CSデジタル放送)
平成10年(1998)	1月	●CSデジタル放送による全国放送開始
	4月	●地区学習センター及び地域学習センターを学習センターに改組
	10月	●全国の学習センターで全科履修生受入れ開始
平成12年(2000)	1月	●国際遠隔教育評議会(ICDE)加盟
	12月	●放送大学大学院設置認可
平成13年(2001)	4月	●放送大学大学院修士課程設置
	4月	●東京第一、第二、第三学習センターを東京世田谷、文京、足立学習センターに名称変更
平成14年(2002)	4月	●放送大学大学院修士課程学生受入れ開始・放送による授業開始
	12月	●放送大学の設置主体を特別な学校法人とするため、放送大学学園法(平成14年法律第156号)公布
平成15年(2003)	10月	●放送大学学園法(平成14年法律第156号)の施行に伴い、特殊法人から特別な学校法人に移行
平成16年(2004)	3月	●最初の大学院修士課程学位記の授与
平成18年(2006)	12月	●地上デジタル放送開始(関東エリア)
平成21年(2009)	4月	●ICT活用・遠隔教育センター設置
平成23年(2011)	7月	●地上アナログ放送終了(関東エリア)
	10月	●BSデジタル放送開始
平成24年(2012)	3月	●CSデジタル放送終了
	3月	●東京世田谷学習センター廃止
	4月	●東京渋谷学習センター設置
平成25年(2013)	4月	●ICT活用・遠隔教育センターを教育支援センターに改組
	10月	●放送大学大学院課程変更認可
平成26年(2014)	4月	●放送大学大学院博士後期課程設置
	10月	●放送大学大学院博士後期課程学生受入れ開始
平成27年(2015)	4月	●オンライン授業配信開始
平成29年(2017)	4月	●教育支援センターをオンライン教育センターに改組
	9月	●最初の大学院博士後期課程学位記の授与
平成30年(2018)	4月	●学習教育戦略研究所設置
	9月	●地上デジタル放送及びFMラジオ放送終了
	10月	●BSマルチチャンネル放送開始
令和2年(2020)	5月	●インターネット配信公開講座 配信開始

組織図 (令和3年4月1日現在)



	教授	准教授	客員教員 非常勤講師		
学習センター所長	北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬	埼玉 千葉 東京渋谷 東京文京 東京足立 東京多摩 神奈川 新潟 富山 石川	福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪	兵庫 奈良 和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川	愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄



役員（令和3年10月1日現在）

理事長	有川 節夫
理事(学長)	岩永 雅也
理事	山下 和茂
〃	高野 寿也
〃	久恒 達宏
〃	近藤 智嗣

理事(非常勤)	篠原 朋子(学校法人NHK学園理事長)
〃	高橋 裕子(津田塾大学学長)
〃	中山 俊憲(国立大学法人千葉大学学長)
監事(非常勤)	出口 利定(前国立大学法人東京学芸大学学長)
〃	大河原 遼平(弁護士)

評議員会評議員（令和3年10月1日現在）

※50音順

石井 潔	放送大学静岡学習センター所長
牛木 辰男	一般社団法人国立大学協会副会長(新潟大学学長)
磯部 雅彦	高知工科大学学長
岩永 雅也	放送大学学長
帯野 久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
菊川 律子	放送大学副学長
北野 敏夫	放送大学同窓会連合会会長
隈部 正博	放送大学副学長
小林 富貴子	放送大学大学院博士後期課程修了生
近藤 智嗣	放送大学副学長
篠原 朋子	学校法人NHK学園理事長
高橋 裕子	津田塾大学学長
田中 愛治	日本私立大学団体連合会会長(早稲田大学総長)

辻 篤子	中部大学学術推進機構特任教授
徳田 英幸	国立研究開発法人情報通信研究機構理事長
冨塚 昌子	千葉県教育委員会教育長
中山 俊憲	国立大学法人千葉大学学長
永井 和之	私立大学通信教育協会会長(中央大学元総長・学長)
永原 伸	一般社団法人日本民間放送連盟専務理事
濱田 純一	国土緑化推進機構理事長
板東 久美子	日本司法支援センター理事長
福田 益和	全国専修学校各種学校総連合会会長
松井 房樹	楽天モバイル株式会社代表取締役副社長
御手洗 康	学校法人共立女子学園長・理事長
室伏 きみ子	国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授・前学長
若泉 久朗	日本放送協会理事

学長選考会議委員（令和3年10月1日現在）

※50音順

石丸 昌彦	放送大学教授
氏家 達夫	放送大学愛知学習センター所長
帯野 久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
近藤 智嗣	放送大学学園理事・副学長
島内 裕子	放送大学教授

濱田 純一	国土緑化推進機構理事長
久恒 達宏	放送大学学園理事
松井 房樹	楽天モバイル株式会社代表取締役副社長
室伏 きみ子	国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授・前学長
山下 和茂	放送大学学園理事

放送大学学園組織（令和3年4月1日現在）

事務局

事務局長	土生木 茂雄
事務局審議役	田中 聡明
事務局参事役	楠目 聖
事務局参事役	奥田 泰史
事務局参事役	三好 正務
事務局参事役	山内 克也
事務局参事役	里見 昭彦

総合戦略企画室長	楠目 聖
財務部長	丸山 和伯
学務部長	金澤 哲哉
情報部長	伊藤 元業
放送部長	中島 睦晴
制作部長	大塚 秋人

学習教育戦略研究所

学習教育戦略研究所長	近藤 智嗣
------------	-------

放送大学教員組織(令和3年4月1日現在)

学長・副学長

※50音順

学長	岩永 雅也
副学長(理事)	近藤 智嗣
副学長	隈部 正博
副学長	菊川 律子

附属図書館長

教授	近藤 成一
----	-------

オンライン教育センター長

教授	中谷 多哉子
----	--------

障がいに関する学生支援相談室長

副学長	菊川 律子
-----	-------

公認心理師教育推進室長

教授	桑原 知子
----	-------

評議会評議員

学長	岩永 雅也
副学長	近藤 智嗣
副学長	隈部 正博
副学長	菊川 律子
教授	近藤 成一
教授	中谷 多哉子
教授	山田 知子
教授	大山 泰宏
特任荣誉教授	柳原 正治
教授	杉森 哲也
教授	青木 久美子
教授	石崎 克也
特任教授	氏家 達夫
特任教授	有馬 道久
教授	石丸 昌彦
教授	島内 裕子
教授	小林 真理子

学習センター所長

北海道学習センター所長	新田 孝彦
青森学習センター所長	浅野 清
岩手学習センター所長	西崎 滋
宮城学習センター所長	高橋 満
秋田学習センター所長	西田 眞
山形学習センター所長	安田 弘法
福島学習センター所長	千葉 悦子
茨城学習センター所長	佐藤 和夫

※50音順

栃木学習センター所長	伊東 明彦
群馬学習センター所長	小野里 好邦
埼玉学習センター所長	堀尾 健一郎
千葉学習センター所長	長澤 成次
東京渋谷学習センター所長	宮本 文人
東京文京学習センター所長	林 徹
東京足立学習センター所長	猪崎 弥生
東京多摩学習センター所長	五味 政信
神奈川学習センター所長	福富 洋志
新潟学習センター所長	新村 末雄
富山学習センター所長	門脇 真
石川学習センター所長	千木 昌人
福井学習センター所長	小野田 信春
山梨学習センター所長	平山 公明
長野学習センター所長	村上 好成
岐阜学習センター所長	野々村 修一
静岡学習センター所長	石井 潔
愛知学習センター所長	氏家 達夫
三重学習センター所長	清水 真
滋賀学習センター所長	平井 肇
京都学習センター所長	杉島 敬志
大阪学習センター所長	西田 正吾
兵庫学習センター所長	大野 隆
奈良学習センター所長	井上 容子
和歌山学習センター所長	宗森 純
鳥取学習センター所長	田中 久隆
島根学習センター所長	田坂 郁夫
岡山学習センター所長	松本 俊郎
広島学習センター所長	山田 隆
山口学習センター所長	岡村 康夫
徳島学習センター所長	石川 榮作
香川学習センター所長	有馬 道久
愛媛学習センター所長	加藤 好文
高知学習センター所長	深見 公雄
福岡学習センター所長	安河内 朗
佐賀学習センター所長	滝澤 登
長崎学習センター所長	伊東 昌子
熊本学習センター所長	古島 幹雄
大分学習センター所長	古城 和敬
宮崎学習センター所長	松下 洋一
鹿児島学習センター所長	住吉 文夫
沖縄学習センター所長	川本 康博

〈教養学部〉

■専任教員(令和3年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

区分	氏名	専門分野
生活と福祉	教授 石丸 昌彦	精神医学 ※2
	教授 井出 訓	老年看護学
	特任教授 大曾根 寛	福祉政策論
	教授 下夷 美幸	家族社会学
	教授 関根 紀子	運動生理学
	教授 田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授 戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授 奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授 山内 豊明	臨床看護学
	教授 山田 知子	社会福祉学
心理と教育	特任教授 吉村 悦郎	栄養学・生物無機化学
	准教授 川原 靖弘	計測工学・生活科学
	教授 岩崎 久美子	生涯学習論
	教授 岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授 苑 復傑	教育経済学・教育社会学
	教授 大山 泰宏	心理臨床学
	特任教授 小川 正人	教育政策・教育行政学
	特任教授 倉光 修	臨床心理学
	教授 小林 真理子	臨床心理学・児童臨床 ※2
	教授 進藤 聡彦	教育心理学
社会と産業	特任教授 田中 統治	カリキュラム・学校教育
	教授 橋本 朋広	臨床心理学
	教授 森 津太子	社会心理学・認知心理学
	准教授 佐藤 仁美	臨床心理学
	准教授 高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
	准教授 波田野 茂幸	臨床心理学
	准教授 向田 久美子	発達心理学・文化心理学
	教授 北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授 児玉 晴男	新領域法学・情報社会学

区分	氏名	専門分野
社会と産業	特任教授 坂井 素思	社会経済学・経済学
	教授 迫田 章義	環境・化学工学
	教授 原 武史	日本政治思想史
	教授 原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授 松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授 松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授 森岡 清志	社会学・都市社会学
	特任准教授 柳原 正治	国際法
	教授 山岡 龍一	政治学
	教授 李 鳴	商法(保険法)
人間と文化	准教授 齋藤 正章	会計学・管理会計
	准教授 白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	教授 青山 昌文	美学・芸術論
	特任教授 稲村 哲也	文化人類学
	教授 魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授 大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授 大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授 河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史
	教授 近藤 成一	日本中世史・古文書学
	教授 島内 裕子	国文学
情報	教授 須川 英徳	韓国朝鮮史
	教授 杉森 哲也	日本史学
	教授 滝浦 真人	言語学
	教授 野崎 歎	フランス文学・映画論
	教授 宮本 陽一郎	アメリカ文学・カルチュラルスタディーズ
	准教授 宮本 徹	中国語学
	教授 青木 久美子	情報コミュニケーション学
	教授 浅井 紀久夫	マルチメディア情報学
	教授 大西 仁	認知科学

区分	氏名	専門分野
情報	教授 加藤 浩	教育工学 ※1
	教授 近藤 智嗣	教育工学
	教授 芝崎 順司	教育工学
	教授 鈴木 一史	計算機科学
	教授 辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授 中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授 中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
	教授 仁科 エミ	情報環境学
	教授 広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人類学 ※2
	教授 伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
自然と環境	特任教授 三輪 真木子	情報学
	教授 柳沼 良知	情報工学
	教授 山田 恒夫	情報学・教育学・学習心理学
	准教授 秋光 淳生	数理工学
	准教授 辻 靖彦	教育工学
	准教授 葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授 森本 容介	教育工学 ※1
	教授 石崎 克也	数学
	教授 加藤 和弘	環境生態学・景観生態学
	教授 岸根 順一郎	物理学 ※1
人間と文化	教授 隈部 正博	数学
	教授 谷口 義明	宇宙物理学・観天文学・光学・赤外線天文学
	教授 二河 成男	生命情報科学・遺伝学
	教授 橋本 健朗	化学・理論・計算化学
	特任教授 松井 哲男	原子核理論・高エネルギー核反応論
	教授 安池 智一	理論分子科学
	准教授 大森 聡一	地球惑星科学・岩石学

(凡例)※1オンライン教育センターを兼務する者
 ※2障がいに関する学生支援相談室を兼務する者

■客員教員(2021年度開設科目主任講師及び専門担当講師)

科目区分	職名	氏名	現職
基礎科目	教授	岡崎 晴輝	九州大学教授
	教授	粕谷 恭子	東京学芸大学教職大学院教授
	教授	草光 俊雄	東京大学名誉教授
	教授	倉田 賀世	熊本大学教授
	教授	高橋 和夫	放送大学名誉教授
	教授	直山 木綿子	文部科学省視学官
	教授	渡辺 美智子	立正大学教授
	准教授	柴山 盛生	放送大学客員准教授
	教授	大石 和欣	東京大学大学院教授
	教授	生越 直樹	放送大学客員教授
基礎科目(外国語)	教授	木村 琢也	清泉女子大学教授
	教授	斎藤 兆史	東京大学大学院教授
	教授	佐藤 良明	東京大学名誉教授
	教授	パトリック・ドゥヴォス	放送大学客員教授
	教授	村松 真理子	東京大学教授
	教授	森 芳樹	東京大学大学院教授
	准教授	桑田 光平	東京大学准教授
	准教授	永原 歩	東京女子大学准教授
	准教授	三品 由紀子	電気通信大学准教授
	准教授	森元 庸介	東京大学准教授
専攻科目	教授	井上 洋士	順天堂大学大学院特任教授
	教授	岩田 正美	日本女子大学名誉教授
	教授	岡田 忍	千葉大学大学院教授
	教授	岡田 隆夫	順天堂大学特任教授

科目区分	職名	氏名	現職
生活と福祉導入科目	教授	北村 聖	地域医療研究所 シニアアドバイザー
	教授	齊藤 広子	横浜市立大学教授
	教授	佐伯 由香	愛媛大学大学院教授
	教授	坂井 建雄	順天堂大学特任教授
	教授	櫻井 隆	順天堂大学大学院教授
	教授	佐藤 真治	帝京大学教授
	教授	重川 純子	埼玉大学教授
	教授	内藤 久士	順天堂大学教授
	教授	中城 康彦	明海大学教授
	教授	中野 洋恵	国立女性教育会館客員研究員
心理と教育導入科目	教授	中山 和弘	聖路加国際大学教授
	教授	西澤 晃彦	神戸大学大学院教授
	教授	服部 信孝	順天堂大学大学院教授
	教授	林 光緒	広島大学教授
	教授	宮崎 総一郎	中部大学特任教授
	教授	山崎 喜比古	日本福祉大学特任教授
	教授	渡邊 清高	帝京大学医学部内科学講座 病院教授
	准教授	瀬戸 寿一	駒澤大学准教授
	准教授	渡辺 美穂	国立女性教育会館研究員
	教授	岡崎 淳一	東京海上自衛隊火災保険株式会社顧問

科目区分	職名	氏名	現職
社会と産業導入科目	准教授	中井 智子	中町誠法律事務所弁護士
	准教授	星 薫	放送大学客員准教授
	教授	齋藤 真哉	横浜国立大学大学院教授
	教授	林 拓也	奈良女子大学教授
	教授	藤江 幸一	千葉大学理事
	教授	間々田 孝夫	立教大学名誉教授
	教授	御厨 貴	東京大学先端科学技術研究センター フェロー
	教授	宮崎 久美子	立命館アジア太平洋大学 特別招聘教授
	教授	山口 恵子	東京学芸大学教授
	教授	山田 幸三	大妻女子大学教授
人間と文化導入科目	教授	山元 一	慶應義塾大学教授
	教授	岡田 光正	放送大学名誉教授
	教授	札野 順	早稲田大学教授
	教授	荻野 弘之	上智大学教授
	教授	小野 正嗣	早稲田大学教授
	教授	桑原 直己	筑波大学名誉教授
	教授	佐藤 廉也	大阪大学教授
	教授	季武 嘉也	創価大学教授
	教授	高倉 浩樹	東北大学教授
	教授	根橋 玲子	明治大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
学術入部	教授	高岡 詠子	上智大学教授
	教授	鈴木 啓介	東京工業大学名誉教授
学術入部	教授	吉岡 一男	放送大学名誉教授
	教授	米谷 民明	東京大学名誉教授
生活と福祉専門科目	教授	飯島 佐知子	順天堂大学教授
	教授	居神 浩	神戸国際大学教授
	教授	井上 智子	大阪大学教授
	教授	井上 洋士	順天堂大学大学院特任教授
	教授	上野谷 加代子	同志社大学名誉教授
	教授	埋橋 孝文	同志社大学教授
	教授	大江 守之	慶應義塾大学名誉教授
	教授	大島 弓子	豊橋創造大学教授
	教授	片桐 祥雅	東京大学大学院上席研究員
	教授	金田 嘉清	藤田医科大学教授
	教授	神崎 初美	兵庫医療大学教授
	教授	河野 あゆみ	大阪市立大学大学院教授
	教授	斎藤 参郎	福岡大学教授
	教授	齊藤 弥生	大阪大学教授
	教授	佐藤 隆一郎	東京大学大学院教授
	教授	関崎 勉	京都大学大学院研究員
	教授	田間 泰子	大阪府立大学名誉教授
	教授	永田 智子	慶應義塾大学教授
	教授	中野 洋恵	国立女性教育会館客員研究員
	教授	西上 あゆみ	藍野大学教授
	教授	林 春男	防災科学技術研究所理事
	教授	平川 秀幸	大阪大学教授
	教授	丸谷 浩介	九州大学大学院教授
	教授	宮本 みち子	放送大学名誉教授
	教授	山縣 文治	関西大学教授
	教授	横山 和仁	国際医療福祉大学大学院教授
	教授	横山 登志子	札幌学院大学教授
	准教授	大塚 圭	藤田医科大学准教授
	准教授	山川 みやえ	大阪大学准教授
	准教授	渡辺 美穂	国立女性教育会館研究員
	教授	青木 栄一	東北大学教授
	教授	浅沼 茂	立正大学特任教授
教授	安藤 隆男	筑波大学教授	
教授	石口 彰	お茶の水女子大学名誉教授	
教授	岩田 弘三	武蔵野大学教授	
教授	宇都宮 博	立命館大学教授	
教授	大川 一郎	筑波大学教授	
教授	太田 俊己	放送大学客員教授	
教授	大場 登	放送大学名誉教授	
教授	岡田 隆	上智大学教授	
教授	小野 けい子	放送大学名誉教授	
教授	貝塚 茂樹	武蔵野大学教授	
教授	加瀬 進	東京学芸大学教授	
教授	神村 栄一	新潟大学大学院教授	
教授	川上 泰彦	兵庫教育大学教授	
教授	川間 健之介	筑波大学教授	
教授	菊池 聡	信州大学教授	
教授	古賀 精治	大分大学教授	
教授	古賀 正義	中央大学教授	
教授	坂田 仰	日本女子大学教授	
教授	佐藤 慎二	植草学園短期大学教授	
教授	塩崎 尚美	日本女子大学教授	
教授	清水 裕士	関西学院大学教授	
教授	下山 晴彦	東京大学大学院教授	
教授	砂上 史子	千葉大学教授	
教授	高橋 智	日本大学教授	
教授	田中 理絵	西南学院大学教授	
教授	玉井 康之	北海道教育大学副学長	
教授	津川 律子	日本大学教授	
教授	坪井 裕子	名古屋大学大学院教授	

科目区分	職名	氏名	現職
心理と教育専門科目	教授	中澤 潤	千葉大学名誉教授
	教授	永田 雅子	名古屋大学教授
	教授	長沼 俊夫	日本体育大学教授
	教授	奈須 正裕	上智大学教授
	教授	夏秋 英房	國學院大学教授
	教授	西島 央	青山学院大学教授
	教授	林 泰成	上越教育大学学長
	教授	平野 直己	北海道教育大学教授
	教授	廣井 亮一	立命館大学教授
	教授	福元 真由美	青山学院大学教授
	教授	藤田 武志	日本女子大学教授
	教授	堀川 照代	放送大学客員教授
	教授	前田 稔	東京学芸大学教授
	教授	三浦 麻子	大阪大学大学院教授
	教授	向井 希宏	中京大学教授
	教授	村松 健司	東京都立大学教授
	教授	元永 拓郎	帝京大学教授
	教授	森 さち子	慶應義塾大学教授
	教授	森田 美弥子	中部大学教授
	教授	師岡 章	白梅学園大学教授
	教授	谷田川 ルミ	芝浦工業大学教授
	教授	山口 裕幸	九州大学教授
	教授	山田 哲也	一橋大学大学院教授
	教授	油布 佐和子	早稲田大学教授
	教授	吉川 眞理	学習院大学教授
	教授	蓮花 一己	帝塚山大学教授
	准教授	佐々木 玲仁	九州大学大学院准教授
	准教授	野口 隆子	東京家政大学准教授
	准教授	星 薫	放送大学客員准教授
	教授	阿部 圭司	高崎経済大学教授
	教授	飯尾 潤	政策研究大学院大学教授
	教授	飯近 亮子	敬愛大学教授
教授	五百旗 薫	東京大学大学院教授	
教授	依田 高典	京都大学大学院教授	
教授	伊藤 勝久	島根大学教授	
教授	井上 淳子	成蹊大学教授	
教授	大橋 正明	聖心女子大学教授	
教授	小方 直幸	香川大学教授	
教授	金井 利之	東京大学大学院教授	
教授	蟹江 章	青山学院大学大学院教授	
教授	金菱 清	関西学院大学教授	
教授	河合 明宣	放送大学名誉教授	
教授	川島 清嘉	川島法律事務所弁護士	
教授	川島 志保	川島法律事務所弁護士	
教授	岸 眞理子	法政大学教授	
教授	木嶋 恭一	東京工業大学名誉教授	
教授	朽木 昭文	放送大学客員教授	
教授	國武 英生	小樽商科大学教授	
教授	坂田 裕輔	近畿大学教授	
教授	作花 文雄	放送大学客員教授	
教授	里 達雄	東京工業大学名誉教授	
教授	新宅 純二郎	東京大学大学院教授	
教授	関 ぶ佐子	横浜国立大学大学院教授	
教授	高橋 和夫	放送大学名誉教授	
教授	谷岡 明彦	東京工業大学名誉教授	
教授	中山 洋平	東京大学教授	
教授	奈良岡 聰智	京都大学大学院教授	
教授	新山 陽子	立命館大学教授	
教授	野間 敏克	同志社大学教授	
教授	藤本 隆宏	東京大学大学院教授	
教授	梅干野 晁	東京工業大学名誉教授	
教授	洞口 治夫	法政大学教授	
教授	水島 治郎	千葉大学教授	
教授	水島 司	東京大学名誉教授	
教授	宮城 俊作	東京大学大学院教授	

科目区分	職名	氏名	現職
社会と産業専門科目	教授	向井 人史	国立環境研究所 気候変動適応センター長
	教授	武川 幸嗣	慶應義塾大学教授
	教授	諸富 徹	京都大学大学院教授
	教授	六川 修一	防災科学技術研究所主幹研究員
	教授	和田 俊憲	東京大学教授
	教授	渡邊 賢	大阪市立大学大学院教授
	准教授	新井 圭太	近畿大学准教授
	准教授	石田 大典	日本大学准教授
	准教授	島田 竜登	東京大学准教授
	准教授	田中 稲子	横浜国立大学准教授
	准教授	利根川 佳子	早稲田大学専任講師
	准教授	中村 恭志	東京工業大学准教授
	教授	池上 俊一	東京大学名誉教授
	教授	池谷 和信	国立民族学博物館教授
	教授	稲賀 繁美	京都精華大学教授
	教授	湖中 真哉	静岡県立大学教授
	教授	早乙女 雅博	放送大学客員教授
	教授	佐川 英治	東京大学大学院教授
	教授	佐々木 亨	北海道大学大学院教授
	教授	佐藤 信	東京大学名誉教授
	教授	佐藤 良明	東京大学名誉教授
	教授	設楽 博己	東京大学教授
	教授	末木 文美士	国際日本文化研究センター名誉教授
	教授	勢力 尚雅	日本大学教授
	教授	丹治 愛	法政大学教授
	教授	津上 英輔	成城大学教授
	教授	戸島 貴代志	東北大学教授
	教授	沼野 充義	名古屋外国語大学副学長
	教授	古田 元夫	東京大学名誉教授
	教授	本郷 均	東京電機大学教授
	教授	本田 光子	九州国立博物館名誉館員
	教授	村松 眞理子	東京大学教授
教授	森 一郎	東北大学大学院教授	
教授	山田 広昭	東京大学大学院教授	
教授	横山 安由美	立教大学教授	
教授	頼住 光子	東京大学大学院教授	
准教授	赤塚 健太郎	成城大学准教授	
准教授	大高 幸	慶應義塾大学大学院 非常勤講師	
准教授	杉山 清彦	東京大学大学院准教授	
准教授	端山 聡子	横浜美術館主任学芸員・ 主任エデュケーター	
准教授	古田 徹也	東京大学准教授	
准教授	三ツ井 崇	東京大学准教授	
教授	伊藤 一成	青山学院大学教授	
教授	上原 哲太郎	立命館大学教授	
教授	菊池 浩明	明治大学教授	
教授	黒須 正明	放送大学名誉教授	
教授	黒橋 慎夫	京都大学教授	
教授	櫻井 鉄也	筑波大学教授	
教授	関根 千佳	同志社大学客員教授	
教授	土屋 俊	大学改革支援・学位授与機構特任教授	
教授	水越 伸	東京大学大学院教授	
教授	茂登山 清文	名古屋芸術大学特任教授	
教授	暦本 純一	東京大学教授	
准教授	小林 祐紀	茨城大学准教授	
教授	荒木 崇	京都大学教授	
教授	河添 健	慶應義塾大学名誉教授	
教授	田中 博	筑波大学教授	
教授	塚谷 裕一	東京大学教授	
教授	橋本 義武	東京都市大学教授	
教授	東 正剛	北海道大学名誉教授	
教授	藤井 良宜	宮崎大学教授	
教授	三浦 伸夫	神戸大学名誉教授	
准教授	秋山 良	九州大学准教授	
准教授	伊賀 啓太	東京大学准教授	
非常勤講師	齋藤 雅子	宇都宮大学非常勤講師	

人間と文化専門科目

情報専門科目

自然と環境専門科目

科目区分	職名	氏名	現職
生活健康科学	教授	服部 真治	医療経済研究機構研究部首席研究員
	教授	山崎 浩司	静岡社会健康医学大学院大学教授
	教授	池田 龍彦	放送大学名誉教授
	教授	大塚 直	早稲田大学教授
	教授	大野 昭彦	青山学院大学教授
	教授	高橋 和夫	放送大学名誉教授
	教授	堤 敦司	東京大学特任教授
	教授	御厨 貴	東京大学先端科学技術研究センターフェロー
	教授	若林 直樹	京都大学大学院教授
	教授	山口 高平	慶應義塾大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
社会と産業総合科目	教授	岩橋 均	岐阜大学教授
	教授	重松 亨	新潟薬科大学教授
	教授	岩崎 れい	京都ノートルダム女子大学教授
	教授	北 克一	大阪市立大学名誉教授
	教授	野口 武悟	専修大学教授
	教授	堀川 照代	放送大学客員教授
	教授	前田 稔	東京学芸大学教授
	教授	山本 順一	放送大学客員教授
	教授	米谷 茂則	放送大学客員教授

科目区分	職名	氏名	現職
総合情報科目	准教授	塩谷 京子	放送大学客員准教授
	准教授	高嶽 裕樹	大阪教育大学准教授
	准教授	米谷 優子	放送大学客員准教授
	教授	江本 リナ	日本赤十字看護大学教授
	教授	齋藤 いずみ	神戸大学大学院教授
	教授	佐藤 まゆみ	順天堂大学教授
	教授	林 直子	聖路加国際大学大学院教授
	教授	松下 年子	横浜市立大学教授
	准教授	田辺 有理子	横浜市立大学講師

〈大学院修士課程〉

■専任教員(令和3年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

科目区分	職名	氏名	専門分野
生活健康科学	教授	石丸 昌彦	精神医学
	教授	井出 訓	老年看護学
	特任教授	大曾根 寛	福祉政策論
	教授	下夷 美幸	家族社会学
	教授	関根 紀子	運動生理学
	教授	田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授	戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授	奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授	山内 豊明	臨床看護学
	教授	山田 知子	社会福祉学
人間発達科学	特任教授	吉村 悦郎	栄養学・生物無機化学
	准教授	川原 靖弘	計測工学・生活科学
	教授	岩崎 久美子	生涯学習論
	教授	岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授	苑 復保	教育経済学・教育社会学
	特任教授	小川 正人	教育政策・教育行政学
	特任教授	進藤 隆彦	教育心理学
	特任教授	田中 統治	カリキュラム・学校教育
	教授	森 津太子	社会心理学・認知心理学
	准教授	高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
臨床心理学	准教授	向田 久美子	発達心理学・文化心理学
	教授	大山 泰宏	心理臨床学
	特任教授	倉光 修	臨床心理学
	教授	小林 真理子	臨床心理学・児童臨床
	教授	橋本 朋広	臨床心理学
	准教授	佐藤 仁美	臨床心理学
	准教授	波田野 茂幸	臨床心理学

科目区分	職名	氏名	専門分野
社会経営科学	教授	北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授	児玉 晴男	新領域法学・情報社会学
	特任教授	坂井 素思	社会経済学・経済学
	教授	迫田 章義	環境・化学工学
	教授	原 武史	日本政治思想史
	教授	原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授	松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授	松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授	森岡 清志	社会学・都市社会学
	特任准教授	柳原 正治	国際法
人文学	教授	山岡 龍一	政治学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	教授	青山 昌文	美学・芸術論
	特任教授	稲村 哲也	文化人類学
	教授	魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授	大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授	大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授	河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史

科目区分	職名	氏名	専門分野
情報学	教授	青木 久美子	情報コミュニケーション学
	教授	浅井 紀久夫	マルチメディア情報学
	教授	大西 仁	認知科学
	教授	加藤 浩	教育工学
	教授	近藤 智嗣	教育工学
	教授	芝崎 順司	教育工学
	教授	鈴木 一史	計算機科学
	教授	辰巳 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授	中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授	中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
自然環境科学	教授	仁科 エミ	情報環境学
	教授	広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人類学
	教授	伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
	特任教授	三輪 眞木子	情報学
	教授	柳沼 良知	情報工学
	教授	山田 恒夫	情報学・教育工学・学習心理学
	准教授	秋光 淳生	数理工学
	准教授	辻 靖彦	教育工学
	准教授	葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授	森本 容介	教育工学

■客員教員(2021年度開設科目主任講師)

科目区分	職名	氏名	現職
生活健康科学	教授	石井 邦子	千葉県立保健医療大学副学長・教授
	教授	井上 洋士	順天堂大学大学院特任教授
	教授	小川 薫	順天堂大学名誉教授
	教授	河合 祥雄	順天堂大学名誉教授
	教授	北村 聖	地域医療研究所シニアアドバイザー
	教授	佐藤 隆一郎	東京大学大学院教授
	教授	下条 直樹	千葉大学予防医学センター特任教授
	教授	橋本 迪生	横浜市立大学名誉教授
	教授	東本 恭幸	放送大学客員教授
	教授	星 旦二	東京都立大学名誉教授

科目区分	職名	氏名	現職
生活健康科学	教授	八木 絵香	大阪大学教授
	教授	柳田 俊彦	宮崎大学教授
	教授	山脇 正永	東京医科歯科大学教授
	教授	ロベズ ギョーム	青山学院大学教授
	准教授	木澤 晃代	富山大学附属病院研究員
	准教授	広瀬 宏之	横須賀市療育相談センター所長
	准教授	三上 直之	北海道大学准教授
	准教授	山本 武志	札幌医科大学准教授

科目区分	職名	氏名	現職
人間発達科学	教授	福垣 恭子	京都大学理事・副学長
	教授	勝野 正章	東京大学教授
	教授	坂野 慎二	玉川大学教授
	教授	白水 始	国立教育政策研究所総括研究官
	教授	立田 慶裕	神戸学院大学教授
	教授	西野 真由美	国立教育政策研究所総括研究官
	教授	根津 朋実	早稲田大学教授
	教授	藤田 晃之	筑波大学教授
	教授	三宅 芳雄	放送大学客員教授
	准教授	星 薫	放送大学客員准教授

科目区分	職名	氏名	現職
臨床心理学	教授	伊藤 亜矢子	名古屋市立大学教授
	教授	小川 俊樹	筑波大学名誉教授
	教授	荻野 美佐子	上智大学名誉教授
	教授	小野寺 孝義	広島国際大学教授
	教授	大六 一志	NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問
	教授	橋本 和明	花園大学教授
	教授	望月 聡	法政大学教授
准教授	山中 克夫	筑波大学准教授	

科目区分	職名	氏名	現職
社会経営科学	教授	北川 太一	摂南大学教授
	教授	齋藤 純一	早稲田大学教授
	教授	高橋 和夫	放送大学名誉教授
	教授	平野 光俊	大手前大学教授
	教授	町村 泰貴	成城大学教授
	教授	御厨 貴	東京大学先端科学技術研究センターフェロー
	教授	宮城 俊作	東京大学大学院教授

科目区分	職名	氏名	現職
人文学	教授	佐藤 良明	東京大学名誉教授
	教授	堀越 宏一	早稲田大学教授
情報学	教授	河合 徳枝	国際科学振興財団上級研究員
	教授	中島 震	国立情報学研究所名誉教授
	教授	萩谷 昌己	東京大学教授
員外准教授	教授	諸澤 俊介	高知大学教授

〈大学院博士後期課程〉

■専任教員(令和3年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

科目区分	職名	氏名	専門分野
生活健康科学	教授	石丸 昌彦	精神医学
	教授	井出 訓	老年看護学
	特任教授	大曾根 寛	福祉政策論
	教授	下夷 美幸	家族社会学
	教授	関根 紀子	運動生理学
	教授	田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授	戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授	奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授	山内 豊明	臨床看護学
	教授	山田 知子	社会福祉学
人間科学	特任教授	吉村 悦郎	栄養学・生物無機化学
	准教授	川原 靖弘	計測工学・生活科学
	教授	岩崎 久美子	生涯学習論
	教授	岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授	苑 復傑	教育経済学・教育社会学
	教授	大山 泰宏	心理臨床学
	特任教授	小川 正人	教育政策・教育行政学
	特任教授	倉光 修	臨床心理学
	教授	小林 真理子	臨床心理学・児童臨床
	教授	進藤 聡彦	教育心理学
人文学	特任教授	田中 統治	カリキュラム・学校教育
	教授	橋本 朋広	臨床心理学
	教授	森 津太子	社会心理学・認知心理学
	准教授	佐藤 仁美	臨床心理学
	准教授	高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
	准教授	波田野 茂幸	臨床心理学
	准教授	向田 久美子	発達心理学・文化心理学
	教授	青木 久美子	情報コミュニケーション学
	教授	浅井 紀久夫	マルチメディア情報学
	教授	大西 仁	認知科学
社会経営科学	教授	加藤 浩	教育工学
	教授	近藤 智嗣	教育工学
	教授	芝崎 順司	教育工学
	教授	鈴木 一史	計算機科学
	教授	辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授	中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授	中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
	教授	仁科 エミ	情報環境学
	教授	広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人類学
	教授	伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
情報学	特任教授	三輪 眞木子	情報学
	教授	柳沼 良知	情報工学
	教授	山田 恒夫	情報学・教育工学・学習心理学
	准教授	秋光 淳生	教育工学
	准教授	辻 靖彦	教育工学
	准教授	葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授	森本 容介	教育工学
	教授	石崎 克也	数学
	教授	加藤 和弘	環境生態学・景観生態学
	教授	岸根 順一郎	物理学
自然科学	教授	隈部 正博	数学
	教授	谷口 義明	宇宙物理学・銀河天文学・光学・赤外線天文学
	教授	二河 成男	生命情報科学・遺伝学
	教授	橋本 健朗	化学・理論・計算化学
	特任教授	松井 哲男	原子核理論・高エネルギー核反応論
	教授	安池 智一	理論分子科学
	准教授	大森 聡一	地球惑星科学・岩石学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
社会経営科学	教授	北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授	児玉 晴男	新領域法学・情報社会学
	特任教授	坂井 素思	社会経済学・経済学
	教授	迫田 章義	環境・化学工学
	教授	原 武史	日本政治思想史
	教授	原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授	松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授	松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授	森岡 清志	社会学・都市社会学
	特任准教授	柳原 正治	国際法
人文学	教授	山岡 龍一	政治学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	教授	青山 昌文	美学・芸術論
	特任教授	稲村 哲也	文化人類学
	教授	魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授	大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授	大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授	河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史

科目区分	職名	氏名	専門分野
社会経営科学	教授	北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授	児玉 晴男	新領域法学・情報社会学
	特任教授	坂井 素思	社会経済学・経済学
	教授	迫田 章義	環境・化学工学
	教授	原 武史	日本政治思想史
	教授	原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授	松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授	松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授	森岡 清志	社会学・都市社会学
	特任准教授	柳原 正治	国際法
人文学	教授	山岡 龍一	政治学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	教授	青山 昌文	美学・芸術論
	特任教授	稲村 哲也	文化人類学
	教授	魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授	大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授	大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授	河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史

科目区分	職名	氏名	専門分野
情報学	教授	青木 久美子	情報コミュニケーション学
	教授	浅井 紀久夫	マルチメディア情報学
	教授	大西 仁	認知科学
	教授	加藤 浩	教育工学
	教授	近藤 智嗣	教育工学
	教授	芝崎 順司	教育工学
	教授	鈴木 一史	計算機科学
	教授	辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授	中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授	中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
自然科学	教授	仁科 エミ	情報環境学
	教授	広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人類学
	教授	伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
	特任教授	三輪 眞木子	情報学
	教授	柳沼 良知	情報工学
	教授	山田 恒夫	情報学・教育工学・学習心理学
	准教授	秋光 淳生	教育工学
	准教授	辻 靖彦	教育工学
	准教授	葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授	森本 容介	教育工学

〈障がいに関する学生支援相談室〉

■専任教員(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	専門分野
教授	角田 哲哉	臨床心理学・特別支援教育

〈公認心理師教育推進室〉

■専任教員(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	専門分野
教授	桑原 知子	臨床心理学
准教授	伊藤 匡	臨床心理学
准教授	北原 知典	臨床心理学

役職員数(令和3年4月1日現在)

常勤役職員数:395名

役員	総数	内訳	
		男	女
役員	6	6	0
副学長(役員を除く)	2	1	1
教員	86	65	21
教授	59	41	18
准教授	15	13	2
学習センター所長	50	46	4

事務職員	総数	内訳	
		男	女
事務職員	251	191	60
課長相当職以上	39	37	2
その他の職員	212	154	58
計	395	309	86

※教員には特任准教授1、特任教授11を含む

教育システム(3つの授業スタイル)

放送大学の授業には、**放送授業・面接授業(スクーリング)・オンライン授業**の3つの授業スタイルがあり、各科目いずれかの形態で行われます。

授業の講師として、多数の国公立私立大学等の専門家にご協力をいただいています。

放送授業



早朝から深夜までBSテレビ放送(232ch)、BSラジオ放送(531ch)などで放送される授業番組の視聴と印刷教材による学習を併せて行い、通信指導の提出と単位認定試験の受験により単位を修得します。

1科目2単位で、45分の授業番組を15回視聴します。放送番組はBS放送やケーブルテレビなどを通じ全国で放送されています。在学生はインターネットで視聴することも可能です。

※231chでも一部視聴可能。
※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

面接授業(スクーリング)



学習センターなどで教員より直接対面で行う授業です。教室での講義形式のほかに学習センター以外の場所での実習形式の授業もあります。

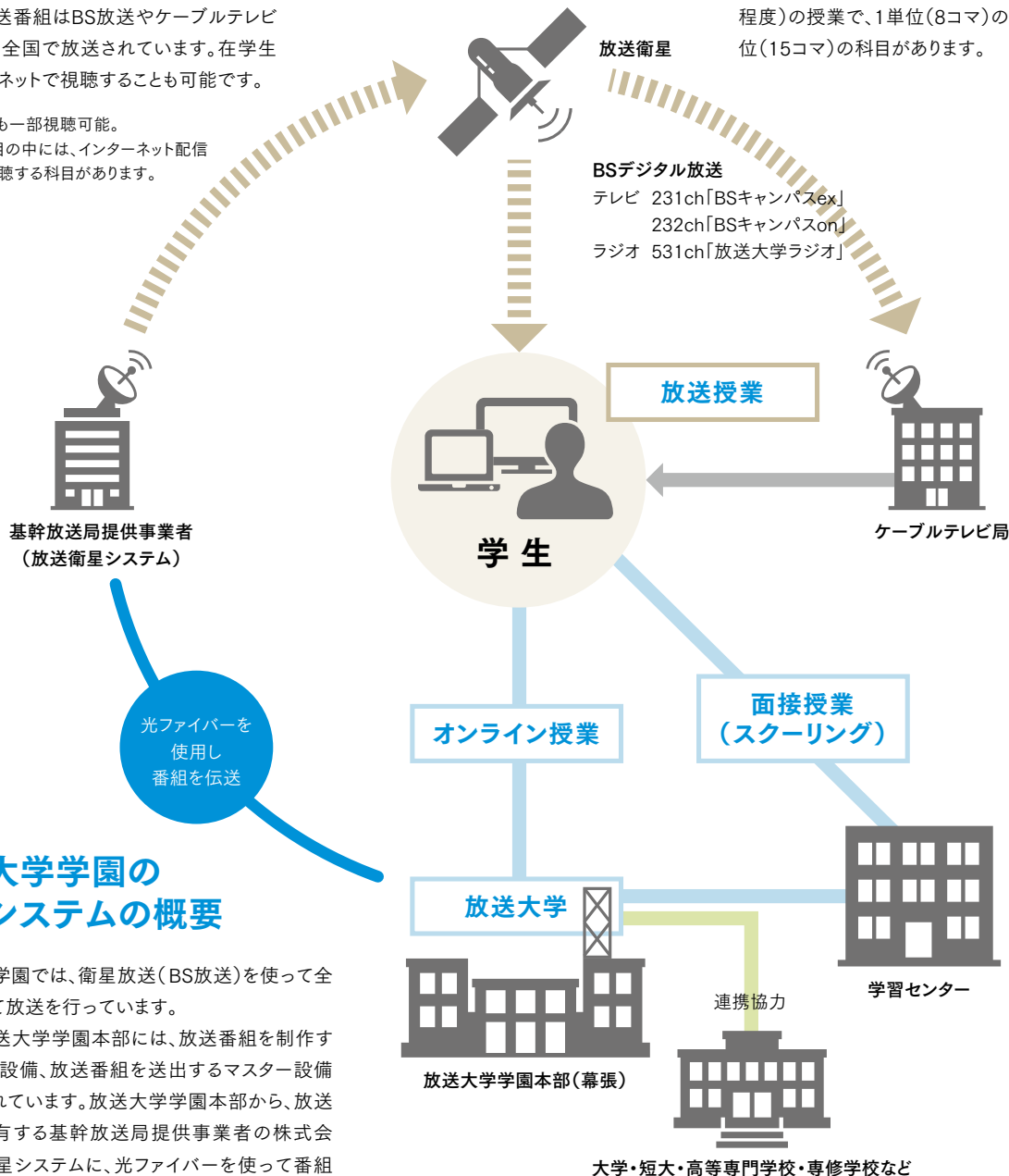
1科目1単位で、8回の授業(90分授業を7回と45分授業を1回)を行います。

オンライン授業



2015年に開設。インターネットに接続されたパソコンなどを使い、講義を視聴し課題(選択式問題、ディスカッション、レポートなど)を実施。授業内の学習活動により成績評価を行う授業です。

1コマ90分程度(講義45分と学習活動45分程度)の授業で、1単位(8コマ)の科目と、2単位(15コマ)の科目があります。



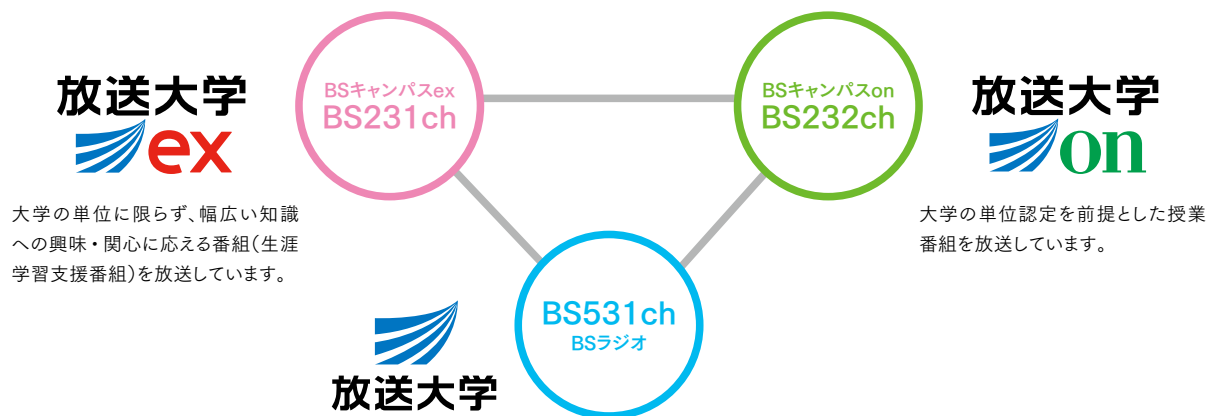
放送大学学園の放送システムの概要

放送大学学園では、衛星放送(BS放送)を使って全国に向けて放送を行っています。

幕張の放送大学学園本部には、放送番組を制作するスタジオ設備、放送番組を送出するマスター設備が設置されています。放送大学学園本部から、放送衛星を所有する基幹放送局提供事業者の株式会社放送衛星システムに、光ファイバーを使って番組を送っています。

マルチチャンネル放送

2018年10月1日からBS放送にて、テレビではBS231ch(愛称:BSキャンパスex)、BS232ch(愛称:BSキャンパスon)、ラジオではBS531chの3チャンネルによるマルチチャンネル放送を行っています。



■ 生涯学習支援チャンネル【BS231ch】

BS231chは、これまでの大学の教育・研究の成果を生かしながら、従来の大学教育の枠組みから離れて、生涯教育支援の多様な需要に弾力的に対応した番組を放送します。国内に広く開放されており、働くことと学ぶことを無理なく両立できる放送というメディアにより、生涯にわたって学び続ける意欲を持つすべての人の学習を支援します。

生涯学習支援番組の一例



危機の時代に考える

新型コロナウイルス感染症の地球規模の流行が続く中、今をどう生きるか、そして状況をどう打開し、コロナ後をどう見据えていくか。放送大学の学長をはじめとする教員が、それぞれの専門分野を踏まえて、危機の問題を考え、学生と市民の皆さんに議論を提起する全15回シリーズ番組です。



続・日本の近代化を知る

2019年度に制作した「日本の近代化を知る7章」の続編。明治維新以降、近代化に至る独自の理論や思想の形成と現代からの評価を、歴史資料と映像を多用して体系的に分析します。

■ 授業チャンネル【BS232ch、BS531ch】

主に本学の学生の単位取得を目的に、テレビ授業科目(インターネット配信限定で視聴する科目を除く)はBS232ch、ラジオ授業科目はBS531chで単位認定試験に向けて計画的に授業番組を放送しています。

番組の視聴方法 以下の方法により放送大学の番組を視聴することができます。

〈BSテレビ放送 (BS231ch、BS232ch)〉

お手元のリモコンで「BS」を押し、BS 放送に切り替えてください。

a、b、c いずれかの方法により、視聴できます。

a. リモコンのチャンネルボタンで選局

リモコンの「V」のついたチャンネル(選局)ボタンを順送りして、放送大学のチャンネルを選局してください。

b. 電子番組表(EPG)から選択

リモコンの「番組表」ボタンを押して電子番組表を表示し、上下左右ボタン等で放送大学の番組を選択してください。

c. 3桁のチャンネル番号を入力

リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「231」、「232」を入力してください。

※一部機種に限り、リモコンのBSボタン2度押しによるダイレクトな選局ができます。
(①地上波画面で、リモコンの「BSボタン」を押し、BS放送に切り替えます。②もう一度「BSボタン」を押すと、テレビ画面上にチャンネルが表示されます。③「1番」を押すことで選局できます。)

〈BSラジオ放送 (BS531ch)〉

テレビでお聴きいただく音声放送です。画面には番組名が静止画で表示されます。お手元のリモコンで「BS」を押し、BS 放送に切り替えてください。d、e いずれかの方法により、聴取できます。

d. BS テレビの放送大学のデータ放送から切り替える

上記テレビ放送 a、b、c いずれかの方法でテレビ放送大学を選局し、直後に数秒間表示される画面左下の「BSラジオ」の案内のとおり、「青」ボタンを押してください。表示されない、または、表示が消えた場合は「d(データ)」ボタン→「青」ボタンの順に押してください。

e. 3桁のチャンネル番号を入力

リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「531」を入力してください。

〈インターネットラジオ radiko(ラジオ)〉

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴取できる「radiko」(ラジオ)も利用できます。

詳しくは、<https://radiko.jp/>を確認してください。

〈インターネット配信〉

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネットで配信しますので、在学生はパソコンやスマートフォン等で視聴できます(一部インターネット配信限定で視聴する科目があります)。科目名や視聴に必要な環境については放送大学ホームページの「トピックス」を参照してください。

※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。

※接続の際の通信費やプロバイダ料金などは利用者のご負担となりますので、ご注意ください。

〈学習センター(サテライトスペース)〉

学生になれば、全国の学習センター(サテライトスペース)でも、放送授業を再視聴できます。

〈放送教材の貸出し〉

大学本部より、郵送による放送教材(DVD・CD)の貸出しを行っています。

〈ひかりTV〉

テレビ科目は、映像配信サービスの「ひかりTV」でも視聴できます(ラジオ科目の聴取はできません)。

詳しくは<http://www.hikaritv.net/entry?cid=ouj>をご覧ください。

〈インターネット配信公開講座〉

BS231chで放送している生涯学習支援番組の一部を視聴できます。

※視聴には会員登録が必要です。https://aoba.ouj.ac.jp/rpv/external/sso.aspx?type=provisional_login&id=temp_user

※一部有料講座があります。

▶ 放送大学YouTubeチャンネル

様々な学びの機会を提供する番組の紹介動画、授業科目の紹介動画などを配信しています。

番組の編成 (2021年度現在)

放送時間

放送時間は、次のとおりです。

【BS231ch】

・毎週日、月曜 朝6時～深夜0時15分 ・毎週火～土曜 朝6時～深夜1時30分※

※夏季及び冬季の各特別編成期間中は、朝6時～深夜0時

【BS232ch(テレビ)、BS531ch(ラジオ)】

[授業期間]

テレビ	ラジオ
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日、月曜 朝6時～深夜0時15分 ・毎週火曜 朝6時～深夜0時45分 ・毎週水～土曜 朝6時～深夜1時30分 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日、月曜 朝6時～深夜0時15分 ・毎週火～木曜 朝6時～深夜1時30分 ・毎週金～土曜 朝6時～深夜2時15分

[夏期学習期間/冬期学習期間]

テレビ	ラジオ
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日、月曜 朝6時～深夜0時15分 ・毎週火～土曜 朝6時～深夜0時 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日、月曜 朝6時～深夜0時15分 ・毎週火～土曜 朝6時～深夜0時

番組の種類

主な放送番組は、次のとおりです。

放送大学の教育課程に定める授業科目の番組	授業番組	卒業・修了に必要な単位を修得するための番組です。令和2年度は約340科目を放送しました。
	生涯学習支援番組	単位認定を前提としない広義の授業番組です。
放送大学に関する告知番組	キャンパスガイド	大学の魅力をさまざまな形でお伝えする番組です。
	あなたの知りたい放送大学	教養学部の各コース、大学院を紹介する番組です。

■ 編成の期間

年間の編成の期間は、次のとおりです。

BS231ch	第1学期	放送期間	4月1日～7月14日
		夏季期間	7月15日～9月30日
	第2学期	放送期間	10月1日～1月13日
		冬季期間	1月14日～3月31日
BS232ch(テレビ) BS531ch(ラジオ)	第1学期	授業期間	4月1日～7月14日(15週間)
		夏期学習期間	7月15日～9月30日
	第2学期	授業期間	10月1日～1月13日(15週間)
		冬期学習期間	1月14日～3月31日

- ・「授業期間」各学期の1日目から15週間です。
- ・「夏期学習期間」教員免許更新講習科目や司書教諭資格取得に資する科目^{*}(ラジオ科目)の資格系科目の放送とともに、復習や次学期の科目選びの参考となるよう一部の科目を再放送します。
- ・「冬期学習期間」教員免許更新講習科目^{*}(ラジオ科目)等の資格系科目の放送とともに、復習や次学期の科目選びの参考となるよう一部の科目を再放送します。
※テレビ科目はBS231chで放送します。

■ 番組制作

■ 制作フロー



学部・学科・コース

放送大学は、国民の多様な要請に応じて豊かな教養を培うとともに、実生活に即した専門的学習を深められるよう、幅広い学問分野からなる教養学部を設けています。平成21年度(2009年度)に教養学部の学科再編を行い、教養学部教養学科の下に5つのコースを設けましたが、平成25年度

(2013年度)に新たに情報コースを設置し、6つのコースに拡充いたしました。大学卒業を目指す学生は、6つのコースの中からいずれかのコースに所属し、主に所属するコースの科目を履修しますが他のコースの科目も履修することができます。

学部名	学科名	コース名	教育目標
教養学部	教養学科	生活と福祉	質の高い持続可能な生活を築くために、衣食住・家族・健康・福祉など生活にかかわる諸問題への理解を深める。
		心理と教育	人間の心と発達に関する諸問題を現代社会とのかかわりにおいて理解し、持続可能な社会の実現に向けて、発達の支援と教育に必要な基本的知識及び考え方を習得する。
		社会と産業	変動する社会と産業の基本的なしくみを理解し、持続可能でゆたかな社会を生きるための知識と技術を身につける。
		人間と文化	人間の思想・文学・芸術のありかたなどの理解を深めるとともに、現代文明と地域文化・社会について、その特質と発展の歴史を探る。
		情報	情報化社会の中で生活する者にとって欠くことのできない、情報のありかた、情報技術に関する概念と知識を習得する。
		自然と環境	自然の様相を科学的に学んでその本質について理解を深め、また人間活動と自然との関わり合いを認識することで、持続可能な未来に向けた実践と判断の能力を養う。

教育の基本方針

■ 教育の目的

本学の教育は、各専門分野における学術研究を通じて新しい教養の理念を追求し、放送を活用して大学教育を行い、併せて広く生涯学習の要望に応えるため、教養学部という一つの学部として、古今の学術研究の成果を総合しながら、人類が直面している「社会の持続的発展」の解決に手掛かりを与えるような学問的教養の涵養を図ることを目的としています。そのため、学習者がこれらにかかわるものの見方や考え方を豊かにし、それらの諸課題を解決するための知識・技能・方法を身につけることができるように教育を展開します。

■ ディプロマ・ポリシー

【資質・能力等の養成】

人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識を修得し、豊かな教養の涵養を図ることにより、様々な課題に対して、複眼的視点からのものの見方や考え方ができるようになり、物事の本質を見極めることのできる総合的理解力が身につきます。

これらの資質・能力を身につけることにより、職場や日々の生活などで生じる様々な課題に対して、物事の本質を見極め、それらの課題を解決するための糸口を見出すことができる人材を養成します。

【卒業に必要となる学習成果(条件)】

複数の分野にまたがって124単位以上を修得する必要があります。

■ カリキュラム・ポリシー

【教育課程編成】

学生の幅広いニーズに対応した体系的かつ弾力的なカリキュラムとなるよう、学問分野に応じた系統的学習により教養を深めることができ、また、教養の幅を広げるため、特定の学問分野を超えた幅広い知識の修得が可能となるよう、柔軟性のある教育課程編成となっています。

【教育内容・方法】

様々な学生ニーズに対応した授業を、それぞれの環境に合わせて学習できるよう、本学では、BSテレビ・BSラジオによる放送授業、インターネットを活用したオンライン授業、そして教員と直接対面して行う面接授業の3つの形態により授業を実施しており、いつでもどこでも学べる環境を確保しています。

【学習成果の評価方法】

単位認定試験の結果により成績評価を行います。単位認定試験を課さないオンライン授業においては、各回における形成的評価と、最終回後に行われる達成度評価の結果を総合的に判断して成績評価を行います。

■ アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

本学は、広く国民に高等教育の機会を提供することを教育理念としており、一定の条件を満たし、学ぶ意欲のある者であれば誰でも入学することができます。

【入学者選抜の方法】

本学の教育理念に鑑み、入学者選抜は行いません。

【求める学習成果】

高等学校卒業など、一定の条件を具備していることが条件となります。

学習システム

■ 入学機会は年2回

年間2学期制(4月～9月、10月～3月)を採用し、学期ごとにまとまりのある学習ができるように教育課程を編成しています。したがって、各年度とも4月、又は10月に入学することができます。

■ 放送授業

【授業番組の視聴】

放送授業は、各学期とも15回(週1回、1回45分)にわたって、BSテレビ又はBSラジオで授業が行われます。

在学学生はテレビ科目、ラジオ科目の原則すべてをインターネットでも視聴可能です。

※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

【印刷教材による学習】

放送授業が行われる科目には、すべて印刷教材が用意され、放送授業と印刷教材による学習を併せて行うことになります。印刷教材は、200頁(A5版)程度で、原則として授業料納入後、学期開始前に送付されます。

なお、印刷教材は、放送大学の企画の下に授業科目担当講師が執筆し、一般財団法人放送大学教育振興会が発行しています。この印刷教材は、学習センターや全国の主な書店でも販売されています。

【通信指導】

通信指導とは、学期の途中に1回、一定範囲から問題を出題し、その答案を提出して、担当教員の指導(添削・講評)を受けることです。インターネット・郵送で提出します(一部科目はインターネットのみ)。

なお、通信指導に合格することによって単位認定試験の受験資格が得られます。



【単位認定試験】

単位認定試験は、15週間の放送授業終了後、学習の成果を問うため、各学習センターなどで実施します。合格者には単位修得の認定を行います。

■ オンライン授業

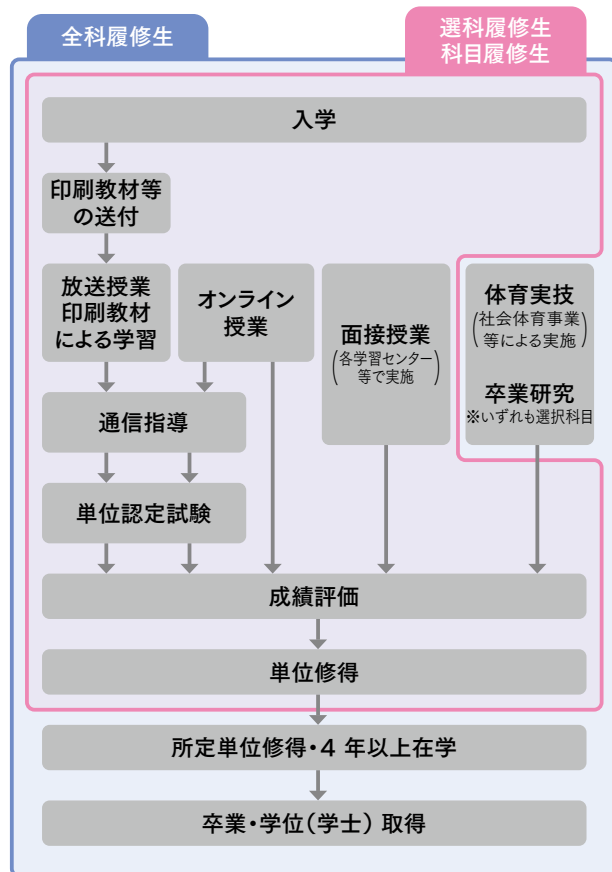
インターネットで講義を視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。通信指導、学習センターなどで行う単位認定試験は行わず、インターネットでの学習により成績評価を行います。（一部科目ではWeb通信指導、単位認定試験を行います。）

■ 面接授業

面接授業は、学習センターなどで行います。面接授業は、教室などにおいて教員から直接指導を受ける機会として重要なだけでなく、学生相互の啓発などにおいても大きな意義があります。面接授業は、原則として90分(1時間30分)の授業を7回、45分の授業を1回、計8回で実施します。

■ 卒業研究

卒業研究は、全科履修生の選択科目です。指導教員から直接指導を受け「卒業研究報告書」を作成します。指導の方法は個人面談、ゼミ形式、E-mail、Web会議など様々です。



学生の種類

■ 全科履修生 ～卒業を目指す学生～

卒業を目指す人は、全科履修生として入学することになります。全科履修生として入学するには、入学年の4月1日現在で満18才以上の方で高等学校卒業、又はこれと同等以上の大学入学資格が必要です。

全科履修生は、6つのコースのいずれか1つのコースに所属し、4年以上在学して、所定の124単位以上を修得した場合に卒業が認定されます。本学を卒業すると、学士(教養)の学位が得られます。

また、大学、短期大学、高等専門学校、一定の基準を満たす専修学校専門課程を卒業・修了された方や大学に2年以上在学した方などの場合、全科履修生の3年次に編入することもできます。

なお、1年次から入学された場合には、卒業までに最長10年間在学することができます(再入学も可)ので、自分の生活に合わせた形で学習の進捗を決めることができます。

4年間で卒業する場合に要する1週当たりの標準的な学習量と卒業の要件は次のとおりです。

○毎週の標準的な学習量(4年で卒業を目指す場合)

放送授業の視聴	45分番組を7回程度
印刷教材などの学習	45～60頁程度
面接授業の受講	1回(1時間30分)程度

予習、復習の時間は含まれていません。また、放送授業が行われる科目については、提示された課題について答案を提出する通信指導を受けることとなっています。

○卒業の要件

科目区分		修得すべき最低単位数	単位の認定方	修得すべき最低単位数		
基盤科目		14	①基盤科目のうち、外国語から2単位以上を修得するものとする。 ①コース科目(導入科目、専門科目、総合科目)のうち、所属するコースが開設する科目から34単位以上、所属するコース以外が開設する科目から4単位以上を修得するものとする。 ②卒業研究の6単位は、所属するコースの専門科目の単位として認定するものとする。	放送授業で修得すべき最低単位数	面接授業又はオンライン授業で修得すべき最低単位数	授業形態を問わない単位数
コース科目	導入科目	34				
	専門科目					
	総合科目					
計		124	94	20	10	124

※1. 全科履修生の在学期間中に本学大学院修士科目生又は修士選科生として修得した単位については、申請により卒業要件の単位数に含めることができます。ただし学部の卒業要件の単位として使用した大学院の単位は、大学院での修得要件の単位に含めることはできません。

※2. オンライン授業「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(17)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」は、卒業要件上「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。

■ 選科履修生～1年間在学する学生～ ■ 科目履修生～1学期間(6カ月)在学する学生～

必ずしも大学の卒業を目的とせず、自分の学習したいテーマに基づいて一定の科目を選択し、履修を希望する方は、選科履修生、又は科目履修生として入学できます。入学する年度の初めにおいて満15歳以上であれば、誰でも選科・科目履修生として入学することができます。選科履修生は入学した学期の途中に、次の学期の科目登録を行います。

■ 大学入学資格のない方が全科履修生として入学するためには

中学校卒業又は高等学校中退の方でも、選科履修生、又は科目履修生として本学に在籍し、入学年度当初に18歳以上で以下の条件を満たす方は全科履修生として入学できます。

基盤科目(保健体育を除く)、又は導入科目から履修し、合わせて16単位以上を修得していることが必要です。

単位の通算 選科履修生、又は科目履修生として修得した単位は、全科履修生として入学後、卒業に必要な単位として通算されます。

■ 集中科目履修生～学期内のある特定の期間、特定の授業科目を履修する学生～

第1学期夏期学習期間(夏季集中)において、資格取得などに資する科目として、「学校図書館司書教諭資格取得に資する科目」(学校図書館司書教諭講習)を開設しています。なお、この講習科目の単位は卒業要件の単位に算入されません。

■ 特別聴講学生～単位互換協定に基づいて受け入れる学生～

本学と他の大学など(大学・短期大学・高等専門学校・大学院)との単位互換協定に基づいて、協定締結校の学生を本学に受け入れています。本学で修得した単位は、所属大学などの単位として認定されます。

入学手続と学費

入学手続

- (1) 放送大学は、年間2学期制(4月～9月、10月～3月)を採用しており、年2回(4月・10月)入学の機会があります。
- (2) 入学者の選考は、書類により行い、学力試験は行いません。
- (3) 出願者は、所属を希望する学習センターを選びます。

学費

学生種	入学科	授業料	
全科履修生	24,000円	放送授業1科目(2単位)	11,000円
選科履修生	9,000円	面接授業1科目(1単位)	5,500円
科目履修生	7,000円	オンライン授業1科目(1単位)	5,500円
集中科目履修生	5,000円	(2単位)	11,000円
		※1学期(半年間)・放送授業は教材費込み	

(1)入学科は入学時に、授業料はそれぞれの学期の開始前に履修登録した科目の合計単位数分(登録単位数×5,500円)の金額を、コンビニエンスストア・ゆうちょ銀行・金融機関から払い込むことになります。

(2)放送授業の場合、印刷教材(テキスト)の費用は上記の授業料に含まれています。

(3)既修得単位認定審査等手数料は10,000円となります。

入学科の割引

学校・企業などが推薦する20名以上の所属学生や職員の出願書類を取りまとめ、一括して手続きをした場合などには、全員の入学科を割引します。また、過去3年以内に教養学部の学生であった方は、入学科が割引となります。(ただし、集中科目履修生の入学科は前年度に集中科目履修生であった方に限り割引となります。)

「奨学金の貸与及び給付」

- 全科履修生(面接授業を履修する人)に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与・給付されます。
- 選科履修生(4月入学者のみ)に対しては、選考の上、公益財団法人北野生涯教育振興会の奨学金が給付されます。

「勤労学生の所得控除」

- 全科履修生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

「国民年金学生納付特例」

- 全科履修生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

「郵便料金の割引」

- 通信指導や授業内容に関する質問のための郵便料金は、1通100グラムまで15円です。

「学生旅客運賃割引証の発行」

- 全科履修生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」(一般教育訓練給付)

- 選科履修生は教養学部企業会計コース、教養学部企業経営コース、科目履修生は教養学部企業経営(短期養成)コースが対象講座です。

教養学部開設授業科目一覧

授業科目には、すべてのコースにおける学習をするための基礎となる基盤科目、各コースで開設するコース科目があります。コース科目は導入科目、専門科目、総合科目に分類されます。その他に資格取得などに資する科目として、学校図書館司書教諭資格取得に資する科目(学校図書館司書教諭講習)及び看護師資格取得に資する科目があります。2021年度に開設する放送授業科目は292科目(テレビ165科目、ラジオ127科目)、オンライン授業科目は39科目です

(卒業研究及び体育実技は含まれません)。

この他に面接授業も多数開講しています。

資格取得などに資する科目のうち、学校図書館司書教諭資格取得に資する科目については、夏季集中型科目として開設しており、第1学期夏期学習期間にのみ放送されます。なお、この講習科目については、単位を修得しても本学の卒業に必要な単位数に算入されません。

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
基盤科目	運動と健康('18)	(関根 紀子)	TV	2
	小学校外国語教育教授基礎論('17) —新学習指導要領に向けた外国語活動・外国語への対応—	(粕谷 恭子、直山 木綿子)	OL	2
	市民自治の知識と実践('21)	(山岡 龍一、岡崎 晴輝)	R	2
	問題解決の進め方('19)	(秋光 淳生、柴山 盛生)	TV	2
	国際理解のために('19)	(高橋 和夫)	R	2
	自然科学をはじめの一歩('15)	(岸根 順一郎、大森 聡一)	TV	2
	子育て支援—法と政策を学ぶ('20)	(大曾根 寛、倉田 賀世※)	OL	1
	社会と産業の倫理('21)	(松原 隆一郎、山岡 龍一)	R	2
	日本語リテラシー('21)	(滝浦 真人)	TV	2
	日本語リテラシー演習('18)	(滝浦 真人)	OL	1
	日本語アカデミックライティング('17)	(滝浦 真人、草光 俊雄)	R	2
	遠隔学習のためのパソコン活用('21)	(秋光 淳生、三輪 眞木子)	TV	2
	情報学へのとびら('16)	(加藤 浩、大西 仁)	TV	2
	初歩からの数学('18)	(隈部 正博)	TV	2
	身近な統計('18)	(石崎 克也、渡辺 美智子)	TV	2
	演習初歩からの数学('20)	(隈部 正博)	OL	1
小 計	16科目	29単位		
基盤科目 外国語	ビートルズ de 英文法('21)	(佐藤 良明)	R	2
	耳から学ぶ英語('18)	(大橋 理枝、佐藤 良明)	R	2
	英語で「道」を語る('21)	(大橋 理枝、斎藤 兆史)	TV	2
	英語で読む大統領演説('20)	(宮本 陽一郎)	TV	2
	教養で読む英語('19)	(大橋 理枝)	OL	2
	看護・医療の英語('19)	(三品 由紀子、大石 和欣)	OL	1
	ドイツ語Ⅰ('19)	(森 芳樹)	TV	2
	ドイツ語Ⅱ('19)	(森 芳樹)	R	2
	フランス語Ⅰ('18)	(パトリック・ドゥヴォス、桑田 光平)	TV	2
	フランス語Ⅱ('18)	(パトリック・ドゥヴォス、森元 庸介)	R	2
	中国語Ⅰ('18) —張蕾の留学生活—	(宮本 徹)	TV	2
	中国語Ⅱ('18) —北島「銭阿姨」他—	(宮本 徹)	R	2
	韓国語Ⅰ('20)	(永原 歩、生越 直樹)	TV	2
	韓国語Ⅱ('20)	(生越 直樹、永原 歩)	R	2
	初歩のスペイン語('17)	(木村 琢也)	R	2
	初歩のイタリア語('17)	(村松真理子、ルドヴィーコ・チフェッリ)	TV	2
小 計	16科目	31単位		
生活と福祉コース 導入科目	生活経済学('20)	(重川 純子)	R	2
	女性のキャリアデザイン入門('16)	(中野 洋恵、渡辺 美穂)	OL	1
	生活者のための不動産学への招待('18)	(齊藤 広子、中城 康彦)	TV	2
	生活環境情報の表現—GIS入門('20)	(川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1
	健康と社会('17)	(井上 洋士、山崎 喜比古)	R	2
	健康への力の探究('19)	(戸ヶ里 泰典、中山 和弘)	R	2
	疾病の成立と回復促進('21) —人体の構造と機能及び疾病B—	(岡田 忍、佐伯 由香)	TV	2
	疾病の回復を促進する薬('21)	(櫻井 隆、服部 信孝)	TV	2
	人体の構造と機能('18) —人体の構造と機能及び疾病A—	(坂井 建雄、岡田 隆夫)	TV	2
	睡眠と健康('21)	(宮崎 総一郎、林 光緒)	R	2
	がんを知る('16)	(田城 孝雄、渡邊 清高)	OL	2
	感染症と生体防御('18)	(田城 孝雄、北村 聖)	R	2
	がんとともに生きる('18)	(田城 孝雄、渡邊 清高)	OL	1

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
導入科目	健康長寿のためのスポーツロジー('19)	(田城 孝雄、内藤 久士)	TV	2
	循環器の健康科学('20)	(田城 孝雄、佐藤 真治※)	OL	1
	社会福祉への招待('16)	(岩田 正美)	TV	2
	人間にとって貧困とは何か('19)	(西澤 晃彦)	R	2
	社会統計学入門('18)【社会と産業コースと共用】	(林 拓也)	R	2
	社会調査の基礎('19)【社会と産業コースと共用】	(北川 由紀彦、山口 恵子)	TV	2
小 計	19科目	34単位		
生活と福祉コース 専門科目	生活環境と情報認知('20)	(川原 靖弘、片桐 祥雅)	TV	2
	人口減少社会の構想('17)	(宮本 みち子、大江 守之)	TV	2
	ソーシャルシティ('17)	(川原 靖弘、斎藤 参郎)	TV	2
	食と健康('18)	(吉村 悦郎、佐藤 隆一郎)	TV	2
	女性のキャリアデザインの展開('17)	(中野 洋恵、渡辺 美穂)	OL	1
	リスクコミュニケーションの現在('18)	(平川 秀幸、奈良 由美子)	R	2
	コミュニティがつなぐ安全・安心('20)	(林 春男)	TV	2
	リスク社会の家族変動('20)	(田間 泰子)	R	2
	家族問題と家族支援('20)	(下夷 美幸)	R	2
	食の安全('21)	(吉村 悦郎、関崎 勉)	TV	2
	公衆衛生('19)	(田城 孝雄、横山 和仁)	R	2
	認知症と生きる('21)	(井出 訓、山川 みやえ)	TV	2
	リハビリテーション('19)	(金田 嘉清、大塚 圭)	R	2
	今日のメンタルヘルス('19) —健康・医療心理学の実践的展開—	(石丸 昌彦)	TV	2
	看護学概説('16)	(井出 訓、井上 洋士)	R	2
	基礎看護学('16)	(戸ヶ里 泰典、井上 智子)	TV	2
	在宅看護論('17)	(河野 あゆみ、永田 智子)	TV	2
	災害看護学・国際看護学('20)	(神崎 初美、西上 あゆみ)	TV	2
	看護管理と医療安全('18)	(大島 弓子、飯島 佐知子)	R	2
	精神疾患とその治療('20)	(石丸 昌彦)	R	2
	高齢期の生活変動と社会的方策('19)	(山田 知子)	R	2
	地域福祉の現状と課題('18)	(上野谷 加代子、斎藤 弥生)	TV	2
	社会福祉実践の理論と実際('18)	(横山 登志子)	R	2
	社会保障の国際動向と日本の課題('19)	(埋橋 孝文、居神 浩)	TV	2
	ライフステージと社会保障('20)	(丸谷 浩介)	R	2
	子どもの人権をどうまもるのか('21) —福祉施策と実践を学ぶ—	(山縣 文治)	TV	2
	民法('17)【社会と産業コースと共用】	(円谷 峻(2017年2月逝去)、武川 幸嗣)	R	2
	家族と高齢社会の法('17) 【社会と産業コースと共用】	(川島 志保、関 ふ佐子)	TV	2
生物の進化と多様化の科学('17) 【自然と環境コースと共用】	(二河 成男)	TV	2	
小 計	29科目	57単位		
総合科目	社会福祉と法('20)	(大曾根 寛)	R	2
	レジリエンスの諸相('18) —人類史的視点からの挑戦—	(奈良 由美子、稲村 哲也)	TV	2
	死生学のフィールド('18)	(石丸 昌彦、山崎 浩司)	R	2
	地域包括ケアシステムと在宅医療('18)	(田城 孝雄、服部 真治)	OL	1
	音を追究する('16)【人間と文化コースと共用】	(大橋 理枝、佐藤 仁美)	R	2
	小 計	5科目	9単位	

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
導入科目	教育社会学概論('19)	(岩永 雅也)	TV	2
	戦後日本教育史('18)	(貝塚 茂樹)	R	2
	発達科学の先人たち('16)	(岩永 雅也、星 薫)	R	2
	学校と社会を考える('17)	(田中 統治)	OL	2
	キャリアコンサルティング概説('20)	(岩永 雅也、藤田 真也※、原田 順子※、中井 智子※、小杉 礼子※、末廣 啓子※、石丸 昌彦※、岡崎 淳一※)	OL	1
	現代教育入門('21)	(岩永 雅也、岩崎 久美子)	R	2
	心理と教育へのいざない('18)	(田中 統治、向田 久美子、佐藤 仁美)	R	2
	発達心理学概論('17)	(向田 久美子)	R	2
	心理学概論('18)	(森 津太子、向田 久美子)	TV	2
	教育・学校心理学('20)	(進藤 聡彦、谷口 明子)	TV	2
	社会統計学入門('18)【社会と産業コースと共用】(林 拓也)		R	2
	総合人類学としてのヒト学('18)【人間と文化コースと共用】(高倉 浩樹)		R	2
	社会調査の基礎('19)【社会と産業コースと共用】(北川 由紀彦、山口 恵子)		TV	2
	コミュニケーション学入門('19)【人間と文化コースと共用】(大橋 理枝、根橋 玲子)		R	2
	博物館概論('19)【人間と文化コースと共用】(稲村 哲也)		TV	2
	博物館で学ぶ文化人類学の基礎('20)【人間と文化コースと共用】(稲村 哲也)		OL	2
	疾病の成立と回復促進('21) 一人体の構造と機能及び疾病B-【生活と福祉コースと共用】(岡田 忍、佐伯 由香)		TV	2
	睡眠と健康('21)【生活と福祉コースと共用】(宮崎 総一郎、林 光緒)		R	2
	社会学概論('21)【社会と産業コースと共用】(北川 由紀彦)		TV	2
Rで学ぶ確率統計('21)【情報コースと共用】(秋光 淳生)		OL	1	
小 計	20科目	38単位		
心理と教育コース	教育調査の基礎('20)	(藤田 武志、西島 央)	TV	2
	生涯学習を考える('17)	(岩永 雅也、岩崎 久美子)	OL	2
	地域コミュニティと教育('18)	(玉井 康之、夏秋 英房)	TV	2
	現代の家庭教育('18)	(田中 理絵)	R	2
	現代社会の児童生徒指導('17)	(古賀 正義、山田 哲也)	TV	2
	乳幼児の保育・教育('21)	(野口 隆子)	R	2
	学校と法('20)	(坂田 仰)	R	2
	教育の行政・政治・経営('19)	(青木 栄一、川上 泰彦)	R	2
	子ども・青年の文化と教育('17)	(岩田 弘三、谷田川 ルミ)	R	2
	カリキュラムと学習過程('16)	(浅沼 茂、奈須 正裕)	R	2
	道徳教育論('21)	(貝塚 茂樹、林 泰成)	R	2
	肢体不自由児の教育('20)	(川間 健之介、長沼 俊夫)	TV	2
	特別支援教育基礎論('20)	(安藤 隆男)	R	2
	特別支援教育総論('19)	(加瀬 進、高橋 智)	R	2
	知的障害教育総論('20)	(太田 俊己、佐藤 慎二)	R	2
	現代日本の教師—仕事と役割—('15)	(油布 佐和子)	R	2
	幼児教育の指導法('15)	(師岡 章)	R	2
	教育課程の意義及び編成の方法('15)	(福元 真由美)	OL	1
	幼児理解の理論及び方法('15)	(中澤 潤、砂上 史子)	OL	1
	学校図書館サービス論('21)	(前田 稔、堀川 照代)	TV※	2
	生理心理学('18)	(岡田 隆)	TV	2
	錯覚の科学('20)	(菊池 聡)	TV	2
	知覚・認知心理学('19)	(石口 彰)	TV	2
	交通心理学('17)	(蓮花 一己、向井 希宏)	TV	2
	心理学統計法('21)	(清水 裕士)	TV	2
	心理学研究法('20)	(三浦 麻子)	TV	2

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
専門科目	危機の心理学('17)	(森 津太子、星 薫)	TV	2
	社会・集団・家族心理学('20)	(森 津太子)	TV	2
	産業・組織心理学('20)	(山口 裕幸)	R	2
	学習・言語心理学('21)	(高橋 秀明)	TV	2
	心理臨床とイメージ('16)	(小野 けい子、佐藤 仁美)	TV	2
	心理臨床と身体の病('16)	(小林 真理子)	TV	2
	精神分析とユング心理学('17)	(大場 登、森 さち子)	R	2
	乳幼児・児童の心理臨床('17)	(小林 真理子、塩崎 尚美)	TV	2
	思春期・青年期の心理臨床('19)	(大山 泰宏)	R	2
	中高年の心理臨床('20)	(宇都宮 博、大川 一郎)	R	2
	認知行動療法('20)	(下山 晴彦、神村 栄一)	TV	2
	臨床心理学概論('20)	(倉光 修)	TV	2
	心理職の専門性('20) 一公認心理師の職責—(吉川 真理、平野 直己)		R	2
	心理的アセスメント('20)	(森田 美弥子、永田 雅子)	R	2
	司法・犯罪心理学('20)	(廣井 亮一)	R	2
	心理カウンセリング序説('21) 一心理学的支援法—(大山 泰宏)		TV	2
	感情・人格心理学('21)	(大山 泰宏、佐々木 玲仁)	R	2
	心理臨床における法・倫理・制度('21) 一関係行政論—(津川 律子、元永 拓郎)		R	2
	福祉心理学('21)	(村松 健司、坪井 裕子)	R	2
	障害者・障害児心理学('21)	(古賀 精治)	R	2
	ソーシャルシティ('17)【生活と福祉コースと共用】(川原 靖弘、斎藤 参郎)		TV	2
	女性のキャリアデザインの展開('17)【生活と福祉コースと共用】(中野 洋恵、渡辺 美穂)		OL	1
	教育のためのICT活用('17)【情報コースと共用】(中川 一史、苑 復傑)		TV	2
	リスクコミュニケーションの現在('18)【生活と福祉コースと共用】(平川 秀幸、奈良 由美子)		R	2
	都市と地域の社会学('18)【社会と産業コースと共用】(森岡 清志、北川 由紀彦)		R	2
	博物館情報・メディア論('18)【人間と文化コースと共用】(稲村 哲也、近藤 智嗣)		TV	2
	今日のメンタルヘルス('19) 一健康・医療心理学の実践的展開—【生活と福祉コースと共用】(石丸 昌彦)		TV	2
	情報社会のユニバーサルデザイン('19)【情報コースと共用】(広瀬 洋子、関根 千佳)		TV	2
	Webのしくみと応用('19)【情報コースと共用】(森本 容介、伊藤 一成)		TV	2
	統計学('19)【自然と環境コースと共用】(藤井 良直)		R	2
	家族問題と家族支援('20)【生活と福祉コースと共用】(下夷 美幸)		R	2
	精神疾患とその治療('20)【生活と福祉コースと共用】(石丸 昌彦)		R	2
	大学マネジメント論('20)【社会と産業コースと共用】(小方 直幸)		R	2
データの分析と知識発見('20)【情報コースと共用】(秋光 淳生)		TV	2	
ユーザ調査法('20)【情報コースと共用】(高橋 秀明)		TV	2	
情報化社会におけるメディア教育('20)【情報コースと共用】(苑 復傑、中川 一史)		R	2	
認知症と生きる('21)【生活と福祉コースと共用】(井出 訓、山川 みやえ)		TV	2	
子どもの人権をどうまもるのか('21) 一福祉施策と実践を学ぶ—【生活と福祉コースと共用】(山縣 文治)		TV	2	
マーケティング('21)【社会と産業コースと共用】(井上 淳子、石田 大典)		TV	2	
NPO・NGOの世界('21)【社会と産業コースと共用】(大橋 正明、利根川 佳子)		R	2	
小学校プログラミング教育概論('21)【情報コースと共用】(中川 一史、小林 祐紀※)		OL	1	
小 計	67科目	130単位		

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
心理と教育コース	色と形を探究する('17)	(佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2
	音を追究する('16)【人間と文化コースと共用】	(大橋 理枝、佐藤 仁美)	R	2
	死生学のフィールド('18)【生活と福祉コースと共用】	(石丸 昌彦、山崎 浩司)	R	2
	レジリエンスの諸相('18) —人類史的視点からの挑戦—	(奈良 由美子、稲村 哲也)	TV	2
	情報化社会と国際ボランティア('19)【情報コースと共用】	(山田 恒夫)	TV	2
	情報技術が拓く人間理解('20)【情報コースと共用】	(仁科 エミ、辰己 丈夫)	TV	2
小 計		6科目	12単位	
導入科目	経済社会を考える('19)	(坂井 素思、間々田 孝夫)	R	2
	社会調査の基礎('19)	(北川 由紀彦、山口 恵子)	TV	2
	社会統計学入門('18)	(林 拓也)	R	2
	社会学概論('21)	(北川 由紀彦)	TV	2
	法学入門('18)	(柳原 正治)	R	2
	グローバル化時代の日本国憲法('19)	(山元 一)	TV	2
	政治学へのいざない('16)	(御厨 貴、山岡 龍一)	R	2
	経営学概論('18)	(山田 幸三)	R	2
	現代の会計('20)	(齋藤 真哉)	TV	2
	新しい時代の技術者倫理('15)	(札野 順)	TV	2
	技術経営の考え方('17)	(宮崎 久美子)	R	2
	環境問題のとなえ方と解決方法('17)(岡田 光正、藤江 幸一)		R	2
	現代人文地理学('18)【人間と文化コースと共用】	(佐藤 廉也、宮澤 仁)	TV	2
	情報・メディアと法('18)【情報コースと共用】	(児玉 晴男)	R	2
	人間にとって貧困とは何か('19)【生活と福祉コースと共用】	(西澤 晃彦)	R	2
	教育社会学概論('19)【心理と教育コースと共用】	(岩永 雅也)	TV	2
生活経済学('20)【生活と福祉コースと共用】	(重川 純子)	R	2	
生活環境情報の表現—GIS入門('20)	(川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1	
日本近現代史('21)【人間と文化コースと共用】	(季武 嘉也)	R	2	
小 計		19科目	37単位	
社会と産業コース	都市と地域の社会学('18)	(森岡 清志、北川 由紀彦)	R	2
	現代経済学('19)	(依田 高典)	TV	2
	都市と農山村からみる身近な経済('18)	(伊藤 勝久、坂田 裕輔、新井 圭太)	R	2
	グローバル経済史('18)	(水島 司、島田 竜登)	TV	2
	財政と現代の経済社会('19)	(諸富 徹)	TV	2
	災害社会学('20)	(金菱 清)	TV	2
	金融と社会('20)	(野間 敏克)	TV	2
	大学マネジメント論('20)	(小方 直幸)	R	2
	椅子クラフツ文化の社会経済学('20)	(坂井 素思)	OL	1
	市民生活と裁判('18)	(川島 清嘉、川島 志保)	TV	2
	刑法と生命('21)	(和田 俊憲)	R	2
	民法('17)	(円谷 峻(2017年2月逝去)、武川 幸嗣)	R	2
	行政法('18)	(渡邊 賢)	R	2
	家族と高齢社会の法('17)	(川島 志保、関 ふ佐子)	TV	2
	日本政治思想史('21)	(原 武史)	R	2

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
社会と産業コース	国際法('19)	(柳原 正治)	R	2
	著作権法('18)	(作花 文雄)	R	2
	雇用社会と法('21)	(國武 英生)	TV	2
	現代日本の政治('19)	(飯尾 潤)	TV	2
	日本政治外交史('19)	(五百旗頭 薫、奈良岡 聡智)	TV	2
	現代の国際政治('18)	(高橋 和夫)	TV	2
	中東の政治('20)	(高橋 和夫)	TV	2
	ヨーロッパ政治史('20)	(中山 洋平、水島 治郎)	R	2
	現代東アジアの政治と社会('20)	(家近 亮子)	R	2
	行政学概説('20)	(金井 利之)	R	2
	マーケティング('21)	(井上 淳子、石田 大典)	TV	2
	国際経営('19)	(原田 順子、洞口 治夫)	R	2
	管理会計('18)	(齋藤 正章)	R	2
	初級簿記('16)	(齋藤 正章)	R	2
	ファイナンス入門('17)	(齋藤 正章、阿部 圭司)	TV	2
	経営情報学入門('19)	(木嶋 恭一、岸 眞理子)	TV	2
	現代の内部監査('17)	(齋藤 正章、蟹江 章)	TV	2
	フードシステムと日本農業('18)	(新山 陽子)	R	2
	グローバル化と日本のものづくり('19)	(藤本 隆宏、新宅 純二郎)	TV	2
	アジア産業論('17) —経済の高度化と統合—	(河合 明宣、朽木 昭文)	R	2
	サプライチェーン・マネジメント('21)	(松井 美樹)	TV	2
	NPO・NGOの世界('21)	(大橋 正明、利根川 佳子)	R	2
	地球温暖化と社会イノベーション('18)	(六川 修一、向井 人史)	TV	2
	物質・材料工学と社会('17)	(谷岡 明彦、里 達雄)	TV	2
	住まいの環境デザイン('18)	(梅干野 晃、田中 稲子)	TV	2
	環境の可視化('15) —地球環境から生活環境まで—	(梅干野 晃、中村 恭志)	TV	2
	緑地環境の計画('21)	(宮城 俊作)	OL	2
	リスクコミュニケーションの現在('18)	(平川 秀幸、奈良 由美子)	R	2
	社会福祉実践の理論と実際('18)	(横山 登志子)	R	2
	地域福祉の現状と課題('18)	(上野谷 加代子、齋藤 弥生)	TV	2
	地域コミュニティと教育('18)	(玉井 康之、夏秋 英房)	TV	2
	メディア論('18)【情報コースと共用】	(水越 伸)	TV	2
	教育の行政・政治・経営('19)	(青木 栄一、川上 泰彦)	R	2
	コミュニティがつなぐ安全・安心('20)	(林 春男)	TV	2
リスク社会の家族変動('20)【生活と福祉コースと共用】	(田間 泰子)	R	2	
ライフステージと社会保障('20)【生活と福祉コースと共用】	(丸谷 浩介)	R	2	
社会・集団・家族心理学('20)【心理と教育コースと共用】	(森 津太子)	TV	2	
産業・組織心理学('20)【心理と教育コースと共用】	(山口 裕幸)	R	2	
日本の近世('20)【人間と文化コースと共用】	(杉森 哲也)	R	2	
データの分析と知識発見('20)【情報コースと共用】	(秋光 淳生)	TV	2	
小 計		55科目	109単位	

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
社会と産業コース	総合科目	権力の館を考える('16) (御厨 貴)	TV	2
		海からみた産業と日本('16) (池田 龍彦、原田 順子)	R	2
		エネルギーと社会('19) (迫田 章義、堤 敦司)	TV	2
		新時代の組織経営と働き方('20) (原田 順子、若林 直樹)	TV	2
		開発経済学:アジアの農村から('20) (大野 昭彦)	TV	2
		世界の中の日本外交('21) (白鳥 潤一郎、高橋 和夫)	TV	2
		環境と社会('21) (大塚 直)	R	2
		音を追究する('16)【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、佐藤 仁美)	R	2
		色と形を探究する('17)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2
		社会福祉と法('20)【生活と福祉コースと共用】(大曾根 寛)	R	2
小 計		10科目	20単位	
人間と文化コース	導入科目	哲学・思想を今考える('18) 一歴史の中で一(魚住 孝至)	R	2
		西洋哲学の起源('16) (荻野 弘之、桑原 直己)	R	2
		歴史と人間('14) (吉田 光男、杉森 哲也)	TV	2
		日本近現代('21) (季武 嘉也)	R	2
		日本文学における古典と近代('18) (島内 裕子)	R	2
		日本文学と和歌('21) (渡部 泰明)	R	2
		世界文学への招待('16) (宮下 志朗、小野 正嗣)	TV	2
		漢文の読み方('19) (宮本 徹、松江 崇)	R	2
		新しい言語学('18) 一心理と社会から見る人間の学一(滝浦 真人)	R	2
		日本語学入門('20) (滝浦 真人)	TV	2
		コミュニケーション学入門('19) (大橋 理枝、根橋 玲子)	R	2
		現代人文地理学('18) (佐藤 康也、宮澤 仁)	TV	2
		総合人類学としてのヒト学('18) (高倉 浩樹)	R	2
		博物館で学ぶ文化人類学の基礎('20) (稲村 哲也)	OL	2
		博物館概論('19) (稲村 哲也)	TV	2
小 計		15科目	30単位	
人間と文化コース	専門科目	文学・芸術・武道にみる日本文化('19) (魚住 孝至)	TV	2
		日本仏教を捉え直す('18) (末木 文美士、頼住 光子)	R	2
		経験論から言語哲学へ('16) (勢力 尚雅、古田 徹也)	R	2
		現代フランス哲学に学ぶ('17) (戸島 貴代志、本郷 均)	R	2
		現代の危機と哲学('18) (森 一郎)	R	2
		西洋芸術の歴史と理論('16) (青山 昌文)	TV	2
		アメリカの芸術と文化('19) (宮本 陽一郎、佐藤 良明)	TV	2
		日本美術史の近代とその外部('18) (稲賀 繁美)	TV	2
		西洋音楽史('21) (津上 英輔、赤塚 健太郎)	R	2
		舞台芸術の魅力('17) (青山 昌文)	TV	2
		日本の古代中世('17) (佐藤 信、近藤 成一)	TV	2
		日本の近世('20) (杉森 哲也)	R	2
		韓国朝鮮の歴史と文化('21) (須川 英徳、三ツ井 崇)	R	2
		中国と東部ユーラシアの歴史('20) (佐川 英治、杉山 清彦)	TV	2
		東南アジアの歴史('18) (古田 元夫)	R	2
	都市から見るヨーロッパ史('21) (河原 温、池上 俊一)	TV	2	
	考古学('18) (早乙女 雅博、設楽 博己)	TV	2	
	日本文学の名作を読む('17) (島内 裕子)	R	2	
	『方丈記』と『徒然草』('18) (島内 裕子)	TV	2	
	文学批評への招待('18) (丹治 愛、山田 広昭)	R	2	
	世界文学の古典を読む('20) (村松 真理子、横山 安由美)	R	2	
	ヨーロッパ文学の読み方一近代篇('19) (沼野 充義、野崎 敏)	R	2	
	言語研究法('19) (滝浦 真人)	OL	2	
	フィールドワークと民族誌('17) (稲村 哲也、池谷 和信)	OL	2	
	「人新世」時代の文化人類学('20) (大村 敬一、湖中 真哉)	TV	2	
博物館教育論('16) (大高 幸、端山 聡子)	R	2		

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位		
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)					
人間と文化コース	専門科目	博物館資料論('18) (稲村 哲也、近藤 智嗣)	OL	2		
		博物館資料保存論('19) (稲村 哲也、本田 光子)	TV	2		
		博物館展示論('16) (稲村 哲也)	TV	2		
		博物館情報・メディア論('18) (稲村 哲也、近藤 智嗣)	TV	2		
		博物館経営論('19) (稲村 哲也、佐々木 亨)	R	2		
		生涯学習を考える('17)【心理と教育コースと共用】 (岩永 雅也、岩崎 久美子)	OL	2		
		学習・言語心理学('21)【心理と教育コースと共用】 (高橋 秀明)	TV	2		
		都市と農山村からみる身近な経済('18)【社会と産業コースと共用】 (伊藤 勝久、坂田 裕輔、新井 圭太)	R	2		
		都市と地域の社会学('18)【社会と産業コースと共用】 (森岡 清志、北川 由紀彦)	R	2		
		グローバル経済史('18)【社会と産業コースと共用】 (水島 司、島田 竜登)	TV	2		
		現代の国際政治('18)【社会と産業コースと共用】(高橋 和夫)	TV	2		
		日本政治思想史('21)【社会と産業コースと共用】(原 武史)	R	2		
		日本政治外交史('19)【社会と産業コースと共用】 (五百旗頭 薫、奈良岡 聡智)	TV	2		
		現代東アジアの政治と社会('20)【社会と産業コースと共用】 (家近 亮子)	R	2		
		中東の政治('20)【社会と産業コースと共用】(高橋 和夫)	TV	2		
ヨーロッパ政治史('20)【社会と産業コースと共用】 (中山 洋平、水島 治郎)	R	2				
メディア論('18)【情報コースと共用】 (水越 伸)	TV	2				
情報化社会におけるメディア教育('20)【情報コースと共用】 (苑 復傑、中川 一史)	R	2				
小 計		44科目	88単位			
総合科目	導入科目	音を追究する('16) (大橋 理枝、佐藤 仁美)	R	2		
		色と形を探究する('17)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2		
		レジリエンスの諸相('18) 一人類学的視点からの挑戦一【生活と福祉コースと共用】 (奈良 由美子、稲村 哲也)	TV	2		
開発経済学:アジアの農村から('20)【社会と産業コースと共用】(大野 昭彦)	TV	2				
小 計		4科目	8単位			
人間と文化コース	専門科目	計算の科学と手引き('19) (辰己 丈夫、高岡 詠子)	TV	2		
		表計算プログラミングの基礎('21) 一業務効率化をめざして一 (辻 靖彦)	OL	1		
		情報理論とデジタル表現('19) (加藤 浩、浅井 紀久夫)	TV	2		
		Rで学ぶ確率統計('21) (秋光 淳生)	OL	1		
		日常生活のデジタルメディア('18) (青木 久美子、高橋 秀明)	TV	2		
		情報ネットワーク('18) (芝崎 順司)	OL	2		
		情報・メディアと法('18) (児玉 晴男)	R	2		
		社会統計学入門('18)【社会と産業コースと共用】(林 拓也)	R	2		
		生活環境情報の表現一GIS入門('20)【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1		
		小 計		9科目	15単位	
		情報コース	専門科目	データ構造とプログラミング('18) (鈴木 一史)	TV	2
				コンピュータの動作と管理('17) (葉田 善章)	TV	2
				コンピュータとソフトウェア('18) (辰己 丈夫、中谷 多哉子)	TV	2
				Javaプログラミングの基礎('16) (柳沼 良知)	OL	1
				C言語基礎演習('20) (森本 容介)	OL	1
問題解決の数理('21) (大西 仁)	TV※			2		
データの分析と知識発見('20) (秋光 淳生)	TV			2		
記号論理学('14) (加藤 浩、土屋 俊)	TV			2		
数値の処理と数値解析('14) (櫻井 鉄也)	R			2		
数理最適化法演習('20) (大西 仁)	OL			1		
CGと画像合成の基礎('16) (浅井 紀久夫)	R	2				

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位		
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)					
情報コース	専門科目	映像コンテンツの制作技術('20) (近藤 智嗣)	TV	2		
		デジタル情報の処理と認識('18) (柳沼 良知)	TV	2		
		自然言語処理('19) (黒橋 禎夫)	R	2		
		コンピュータと人間の接点('18) (黒須 正明、暦本 純一)	TV	2		
		情報デザイン('21) (伏見 清香、茂登山 清文)	TV	2		
		教育のためのICT活用('17) (中川 一史、苑 復傑)	TV	2		
		ユーザ調査法('20) (高橋 秀明)	TV	2		
		情報社会のユニバーサルデザイン('19) (広瀬 洋子、関根 千佳)	TV	2		
		感性工学入門('16) (黒須 正明)	OL	1		
		メディアと知的財産('16) (児玉 晴男)	OL	2		
		メディア論('18) (水越 伸)	TV	2		
		情報化社会におけるメディア教育('20) (苑 復傑、中川 一史)	R	2		
		小学校プログラミング教育概論('21) (中川 一史、小林 祐紀※)	OL	1		
		身近なネットワークサービス('20) (葉田 善章)	TV	2		
		情報セキュリティと情報倫理('18) (山田 恒夫、辰己 丈夫)	TV	2		
		Webのしくみと応用('19) (森本 容介、伊藤 一成)	TV	2		
		データベース('17) (辻 靖彦、芝崎 順司)	TV	2		
		情報ネットワークセキュリティ('19) (菊池 浩明、上原 哲太郎)	OL	2		
		アルゴリズムとプログラミング('20) (鈴木 一史)	R	2		
		コンピュータ通信概論('20) (葉田 善章)	R	2		
		著作権法('18)【社会と産業コースと共用】 (作花 文雄)	R	2		
		博物館情報・メディア論('18)【人間と文化コースと共用】 (稲村 哲也、近藤 智嗣)	TV	2		
		解析入門('18)【自然と環境コースと共用】 (河添 健)	R	2		
経営情報学入門('19)【社会と産業コースと共用】 (木嶋 恭一、岸 真理子)	TV	2				
統計学('19)【自然と環境コースと共用】 (藤井 良宜)	R	2				
教育調査の基礎('20)【心理と教育コースと共用】 (藤田 武志、西島 央)	TV	2				
心理学統計法('21)【心理と教育コースと共用】(清水 裕士)	TV	2				
マーケティング('21)【社会と産業コースと共用】 (井上 淳子、石田 大典)	TV	2				
小 計		39科目	73単位			
総合科目		情報化社会と国際ボランティア('19) (山田 恒夫)	TV	2		
		AIシステムと人・社会との関係('20) (山口 高平、中谷 多哉子)	R	2		
		情報技術が拓く人間理解('20) (仁科 エミ、辰己 丈夫)	TV	2		
		色と形を探究する('17)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2		
小 計		4科目	8単位			
自然と環境コース	導入科目	初歩からの生物学('18) (二河 成男、加藤 和弘)	TV	2		
		生物環境の科学('16) (加藤 和弘)	TV	2		
		初歩からの物理('16) (岸根 順一郎、米谷 民明)	TV	2		
		初歩からの化学('18) (安池 智一、鈴木 啓介)	TV	2		
		化学結合論—分子の構造と機能('17) (橋本 健明)	TV	2		
		物理の世界('17) (岸根 順一郎、松井 哲男)	TV	2		
		物理と化学のための数学('21) (橋本 健明、松井 哲男※、岸根 順一郎※、安池 智一※)	OL	1		
		初歩からの宇宙の科学('17) (吉岡 一男)	TV	2		
		ダイナミックな地球('21) (大森 聡一)	TV	2		
		入門線型代数('19) (隈部 正博)	TV	2		
		入門微分積分('16) (石崎 克也)	TV	2		
		演習微分積分('19) (石崎 克也)	OL	1		
		環境問題のとりえと解決方法('17)【社会と産業コースと共用】 (岡田 光正、藤江 幸一)	R	2		
		人体の構造と機能('18) —人体の構造と機能及び疾病A—【生活と福祉コースと共用】 (坂井 建雄、岡田 隆夫)	TV	2		
		感染症と生体防御('18)【生活と福祉コースと共用】 (田城 孝雄、北村 聖)	R	2		
		社会統計学入門('18)【社会と産業コースと共用】 (林 拓也)	R	2		
		計算の科学と手引き('19)【情報コースと共用】 (辰己 丈夫、高岡 詠子)	TV	2		
		小 計		17科目	32単位	

テレビ科目165・ラジオ科目127・オンライン授業科目39
「科目名」欄の「(〇〇)」は科目が開設された年度の下2桁です。

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位		
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)					
自然と環境コース	専門科目	生命分子と細胞の科学('19) (二河 成男)	TV	2		
		生物の進化と多様化の科学('17) (二河 成男)	TV	2		
		植物の科学('21) (塚谷 裕一、荒木 崇)	TV	2		
		動物の科学('15) (二河 成男、東 正剛)	TV	2		
		力と運動の物理('19) (岸根 順一郎、松井 哲男)	TV	2		
		場と時間空間の物理('20) (松井 哲男、岸根 順一郎)	TV	2		
		量子物理学('21) (松井 哲男、岸根 順一郎)	TV	2		
		量子化学('19) (橋本 健明、安池 智一)	TV	2		
		現代を生きるための化学('18) (橋本 健明)	R	2		
		化学反応論—分子の変化と機能('17) (安池 智一)	TV	2		
		エントロピーからはじめる熱力学('20) (安池 智一、秋山 良)	R	2		
		物理演習('16) (岸根 順一郎、齋藤 雅子)	OL	1		
		力と運動の物理演習('21) (岸根 順一郎、松井 哲男※)	OL	1		
		宇宙の誕生と進化('19) (谷口 義明)	TV	2		
		太陽と太陽系の科学('18) (谷口 義明)	TV	2		
		地球と環境の探究('20) (大森 聡一)	OL	2		
		はじめての気象学('21) (田中 博、伊賀 啓太)	TV	2		
		正多面体と素数('21) (橋本 義武)	TV	2		
		微分方程式('17) (石崎 克也)	TV	2		
		統計学('19) (藤井 良宜)	R	2		
		数学の歴史('19) (三浦 伸夫)	TV	2		
		線型代数('17) (隈部 正博)	R	2		
		解析入門('18) (河添 健)	R	2		
物質・材料工学と社会('17)【社会と産業コースと共用】 (谷岡 明彦、里 達雄)	TV	2				
食と健康('18)【生活と福祉コースと共用】 (吉村 悦郎、佐藤 隆一郎)	TV	2				
地球温暖化と社会イノベーション('18)【社会と産業コースと共用】 (六川 修一、向井 人史)	TV	2				
データ構造とプログラミング('18)【情報コースと共用】 (鈴木 一史)	TV	2				
コンピュータとソフトウェア('18)【情報コースと共用】 (辰己 丈夫、中谷 多哉子)	TV	2				
デジタル情報の処理と認識('18)【情報コースと共用】 (柳沼 良知)	TV	2				
錯覚の科学('20)【心理と教育コースと共用】 (菊池 聡)	TV	2				
小 計		30科目	58単位			
総合科目		暮らしに役立つバイオサイエンス('21) (岩橋 均、重松 亨)	TV	2		
		音を追究する('16)【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、佐藤 仁美)	R	2		
		色と形を探究する('17)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2		
		エネルギーと社会('19)【社会と産業コースと共用】 (迫田 章義、堤 敦司)	TV	2		
		情報技術が拓く人間理解('20)【情報コースと共用】 (仁科 エミ、辰己 丈夫)	TV	2		
		小 計		5科目	10単位	
資格取得等に資する科目	司書教諭資格取得に資する科目 資格取得等に資する科目 看護師資格取得に資する科目	学校経営と学校図書館('17) (野口 武悟、前田 稔)	R	2		
		学校図書館メディアの構成('16) (北 克一、平井 尊士(2017年12月ご逝去)、米谷 優子)	R	2		
		学習指導と学校図書館('16) (堀川 照代、塩谷 京子)	TV	2		
		読書と豊かな人間性('20) (米谷 茂則、岩崎 れい)	R	2		
		情報メディアの活用('16) (山本 順一、気谷 陽子(2016年11月ご逝去)、高嶽 裕樹)	TV	2		
		小 計		5科目	10単位	
		成人看護学('18) (林 直子、佐藤 まゆみ)	R	2		
		老年看護学('19) (井出 訓)	R	2		
		小児看護学('16) (江本 リナ)	TV	2		
		母性看護学('20) (齋藤 いずみ)	TV	2		
精神看護学('19) (松下 年子、田辺 有理子)	TV	2				
小 計		5科目	10単位			

研究科・専攻・プログラム

放送大学大学院修士課程は、1研究科(文化科学研究科)、1専攻(文化科学専攻)の下に、7つのプログラムを設けています。

研究科	専攻	プログラム名	教育目標
文化科学研究科	文化科学専攻	生活健康科学プログラム	生活、健康、福祉の領域における専門的かつ総合的な知識を持ち、生活環境をよりよい方向に導くための方法を習得し、人々の生活の質の向上に資するための施策に積極的に関わる能力を有する指導的人材の養成
		人間発達科学プログラム	人間の心理的及び社会的な発達のメカニズムを理解し、現代の学校や家族あるいは地域社会が直面する教育課題を科学的・実証的に把握した上で、そうした課題に積極的に取り組み、多様な学習ニーズに対応していくことができる指導的人材の養成
		臨床心理学プログラム	様々な分野で深刻さを増す心理的な問題に対応できる臨床心理士(高度専門職業人)の養成および再研修(※)
		社会経営科学プログラム	社会の構造と変容について多様な見地から解明し、様々な社会領域のガバナンスに必要とされる高度な知識と技術を備えた人材の養成
		人文学プログラム	人文学研究の諸分野において、蓄積されてきた知的資産を基礎にして、多様で洗練された方法論を身につけて資料の調査・解読・分析を行い、総合的な知見と創造性をもって「知」の発展に貢献できる人材の養成
		情報学プログラム	情報及びコンピュータに関する基礎概念や応用知識をもとに、社会における様々な現象の本質を見極める能力を持ち、問題解決にむけて、その知識を実践的に活用していくことのできる人材の養成
		自然環境科学プログラム	科学技術が自然環境や人間社会に大きな影響を与える現代にあって、科学的認識に基づいて問題を把握し、その解決を指向する実践能力と、客観的な評価能力を身につけた人材の養成

※臨床心理学プログラム…公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種指定大学院

教育の基本方針

「開かれた大学院」として、年齢、性別、職業、居住地域に関係なく、学生が家庭や職場を離れることなく、自らの計画に沿って、広い教養と高度な専門的学識や技能を学び、学位を取得できる場とすることを目指します。深く広い教養に裏付けられた専門知識に基づく確かな総合的判断能力を持ち、習得した知識と見識を社会に還元し、貢献できる人材を育成します。

■ 教育の目的

生涯学習の実践を通して、高度な総合的教養に裏打ちされた専門的学識及び知的技能を修得し、文化の進展並びに地域社会及び職場等に貢献できる人材の育成を目的とします。

■ ディプロマ・ポリシー

【資質・能力等の養成】

専攻する専門分野に加えて、他の分野における専門知識や技能を修得し、深く広い教養を身につけることにより、学術的な研究遂行能力、高度な職業的知識や技能に基づく総合的判断力及び様々な課題に対して自らの力で解決する能動的探究力を涵養します。

これらの資質・能力により、地域社会や職場など、現代社会における様々な課題を自らの力で解決し、それぞれの地域社会や職場などにおいて活躍する実践的人材を養成します。

【課程修了に必要な学習成果(条件)】

授業科目と研究指導科目を合わせて30単位(臨床心理学プログラムは34単位)以上修得し、修士論文などの審査及び試験に合格することが課程修了・学位取得の要件です。

■ カリキュラム・ポリシー

【教育課程編成】

修士課程においては、専門知識を修得するための授業科目と研究能力を養う研究指導を提供します。授業科目は深く広い教養の涵養を図るため、所属するプログラムの科目と他プログラムの推奨科目及び関連科目で構成しています。また、学士課程の教育課程との有機的接続を念頭に置き、修士課程に同分野における発展系の科目も開設します。研究指導は、主として論文執筆や研究方法論、学術的研究手法などの実践的コースワークを重視し、修士論文などを段階的・計画的に作成できるよう、修士課程の2年間を通じて指導します。

【教育内容・方法】

授業科目は、テレビ・ラジオによる放送授業の他、インターネットを活用したオンライン授業を提供します。

研究指導では、対面やWeb会議システムなどにより個別ないし数人に対する指導を行います。また、各学期の後半では、研究指導教員が課題を出し、それに対する各人のレポートへのフィードバックを行う課題研究の機会、あるいは集中面接授業の機会を設けています。このようにして、いつでもどこでも学べるという柔軟性を持ちつつ、遠方に在住している学生に対しても個別指導の機会を提供します。

【学習成果の評価方法】

授業科目は、単位認定試験の結果により成績評価を行います。単位認定試験を課さないオンライン授業は、各回における形成的評価と、最終回後に行う達成度評価の結果を総合的に判断して厳格な成績評価を行います。研究指導は、修士論文などに対する審査と口頭試問の結果を総合的に判断して、修士の学位に相応しいか否かの成績評価を行います。

■ アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

地域社会・職場などにおける豊かな経験を持つ社会人や、専門領域における基礎知識を有し、学問及びその実践への応用に対する意欲と広い問題意識を持って、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学び、その成果を生かしていくことができる学習者を求めます。

【入学者選抜の方法】

入学者選抜は、年に1回、第1次選考と第2次選考に分けて実施します。第1次選考を実施後、第1次選考合格者に対して第2次選考を実施し、最終合格者を決定します。第1次選考は英語読解力(一部のプログラム)及び専門的知識や思考力を問う筆記試験、第2次選考は提出書類を基にした面接試問により行います。

【求める学習成果】

学士課程卒業など、一定の要件を満たすことが条件です。



学生の種類及び学習システム

放送大学大学院修士課程の教育は、放送授業と印刷教材を中心とした自宅学習によって行われます。学期の途中に「通信指導」を受けて合格した方は「単位認定試験」を受けることができます。

また、2016年度からは、全ての学習をオンラインで行う「オンライン授業」を開講しています。

修士全科生における「研究指導」は、対面による直接指導及びメディア（インターネット、Web会議システムなど）により行います。

■ 修士全科生 ～修士課程を修了して学位「修士(学術)」の取得を目指す学生～

- ・ 出願資格があるのは、大学を卒業した方（卒業見込みを含む）、又は本学大学院修士課程が行う出願資格事前審査において大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方です。
- ・ 入学者選考を実施します。
- ・ 入学の時期は毎年1回、4月です。
- ・ 科目登録は1学期間（6カ月）ごとに行う必要があります。
- ・ 修士全科生は、出願時に7つのプログラムから選択した1つのプログラムに所属して学習・研究を進めていきます。

【入学者選考】

- ・ 第1次選考（筆記試験）
プログラムごとに筆記試験を行い、第1次選考の合格者を決定します。
- ・ 第2次選考（面接試問）
第1次選考の合格者に対して、プログラムごとに、出願の際に提出された研究計画書、志望理由書等をもとに面接試問を行います。最終合格者は、プログラムごとに、筆記試験及び面接試問の実施結果を総合的に判定し決定します。

【研究指導】

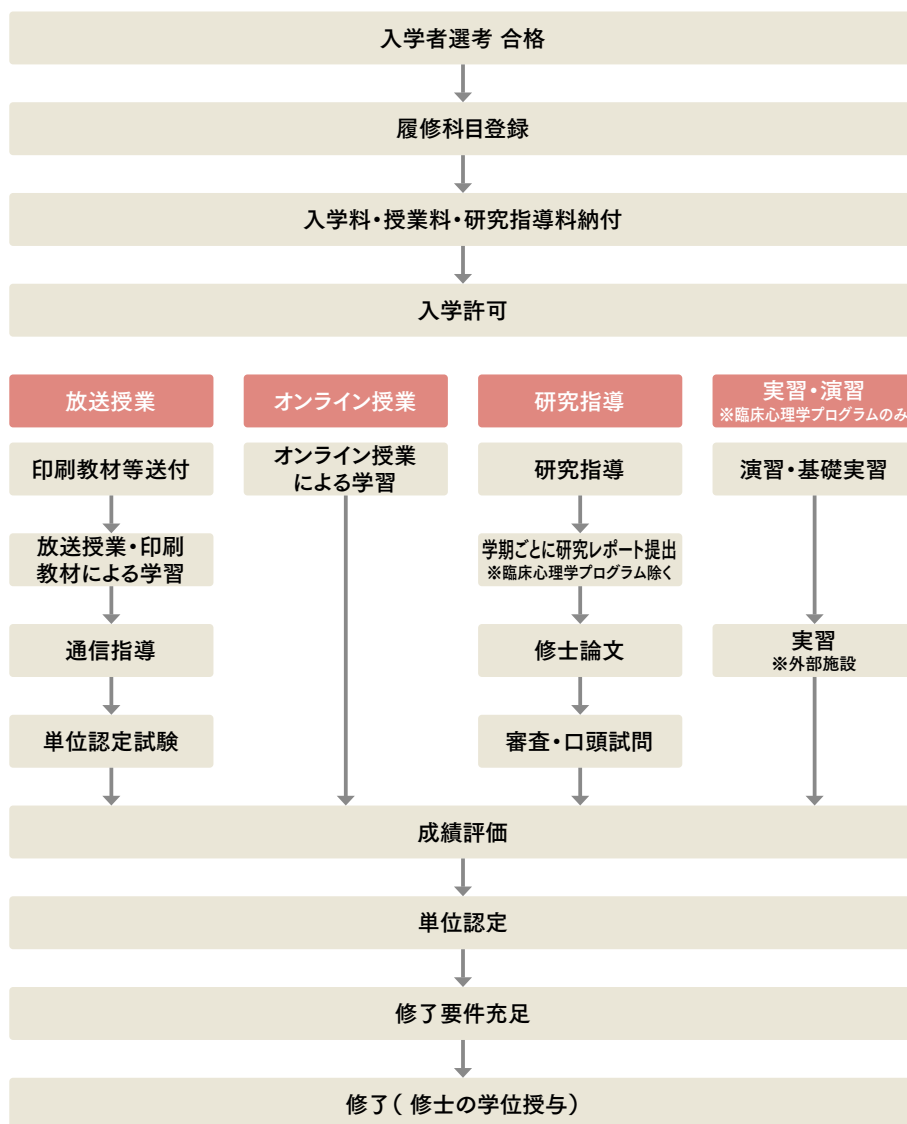
- ・ 出願の際に提出された研究計画書及び入学者選考の結果などを総合的に判断して、第1学期の初めに、それぞれの学生を受け持つ研究指導担当教員を決定します。
- ・ 第1年次においては、研究レポートの添削指導の他、修士論文の研究テーマ及び研究計画の具体化のための指導を行います。
- ・ 第2年次においては、修士論文を作成するための指導を行います。
- ・ 研究指導の方法は、対面による直接指導及びメディア（インターネット、Web会議システムなど）により行います。
- ・ 放送大学大学院では、実験を伴う研究指導は想定していませんが、他大学・研究所などの実験施設などを利用できる場合もあります。

【修士課程の修了】

- ・ 修了するためには2年以上在学し（在学年限は5年）、研究指導8単位及び所属プログラムの放送授業、又はオンライン授業科目の修得を含めて、30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び口頭試問に合格することが必要です。ただし、臨床心理学プログラムにおいては、必修科目・選択必修科目があり、34単位以上を修得する必要があります。



修士全科生



■ 臨床心理学プログラムの特徴

【臨床心理学プログラムの必修科目（2021年度入学生）】

- 臨床心理学プログラム所属の修士全科生については、放送授業（「臨床心理学特論（'17）」、「臨床心理面接特論Ⅰ（'19）」、「臨床心理面接特論Ⅱ（'19）」）、面接授業（実習・演習）、及び研究指導などが必修となっています。
なお、実習、及び演習科目については、臨床心理学プログラム所属の修士全科生以外は履修できません。
- 「臨床心理実習」の学外実習施設については、できるだけ履修者の居住地に近い施設を確保するよう努力しますが、近隣都道府県の施設に通っていただく場合もあります。
- 実習・演習を受ける際の旅費などの経費は自己負担となります。

年次	科目名	単位数	時期	場所
第1年次	「臨床心理査定演習」	4単位	5月中旬(予定)(4日間程度)	本部
			8月下旬(予定)(3日間程度)	
	「臨床心理基礎実習」	2単位	5月中旬(予定)(2日間程度)	本部
			8月下旬(予定)(3日間程度)	
2月上旬(予定)(5日間程度)				
第2年次	「臨床心理基礎実習」	2単位	年間90時間程度の実習 例1) 7時間/日×13週 例2) 3時間/週×30週	学外実習施設 ・病院 ・教育相談所 ・児童相談所など
			臨床心理実習・本部面接授業 8月下旬(予定)(3日間程度)	本部

1年次の5月上旬に「オリエンテーション」「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続7日間程度、8月上旬～中旬に「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続6日間、2月上旬に「臨床心理基礎実習」が連続5日間、さらに2年次8月下旬に「修士論文中間報告」「臨床心理実習・本部面接授業」が連続3日間程度開設され、臨床心理学プログラム所属の修士全科生は全日程参加が必要となります。

【臨床心理士の受験資格取得】

本学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定大学院となっています。臨床心理学プログラム所属の修士全科生の方は、所定の単位を修得して修了した後、1年以上の心理臨床実務経験を経て、臨床心理士の受験資格を取得できます。

■ 修士選科生・科目生 ～自分の学習・研究したい科目を選択して、1科目から履修する学生～

【特徴】

- ・ 入学する年度の初めにおいて満18歳以上であればどなたでも入学でき、入学試験は実施しません。
- ・ 入学時期は、年に2回、4月と10月です。
- ・ 在学期間は修士選科生1年間(2学期間)、修士科目生半年間(1学期間)です。
- ・ 修士選科生は入学した学期の途中で、次の学期の科目登録を行うことができます。
- ・ 修士全科生と同様の通信指導・単位認定試験により、単位を認定します。修得した単位は、修士全科生として入学した場合、原則として修了要件の単位として認定されます。
- ・ 研究指導及び臨床心理学プログラムの実習・演習は履修できません。
- ・ 企業などの、職場研修として利用したり、現職教員の方などが上位の免許状を取得するために利用できます。

■ 放送授業

【放送授業による学習】

放送授業は、BSテレビ、BSラジオで放送する授業番組を視聴して学習します。1科目15週にわたって放送しており(週1回、1回45分)、一学期で完結します。また、原則全ての放送授業の番組はインターネット配信も行っています。学生の都合で放送を視聴できない場合でも、学習センターなどで再視聴することができます。

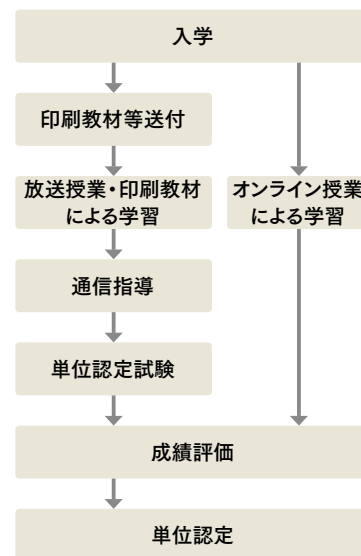
※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

【印刷教材による学習】

放送授業が行われる科目には、すべて印刷教材が用意され、放送授業と印刷教材による学習を併せて行うこととなります。印刷教材は240頁(A5判)程度で、原則として授業料納入後、学期開始前に送付されます。

なお、印刷教材は、放送大学の企画の下に授業科目担当講師が執筆し、一般財団法人放送大学教育振興会が発行しています。この印刷教材は、学習センターや全国の主な書店でも販売されています。

修士選科生・科目生



【通信指導】

通信指導とは、学期の途中に1回、一定範囲の問題を出題し、その答案を提出して担当教員の指導(添削・講評)を受けることです。なお、通信指導に合格することによって、単位認定試験の受験資格が得られます。

【単位認定試験】

単位認定試験は、15週間の放送授業終了後、学習の成果を問うため、各学習センターなどで実施します。合格者には単位修得の認定を行います。

■ オンライン授業

インターネットで講義を視聴、小テストやディスカッション、レポートなどの課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。通信指導、学習センターでの単位認定試験は行われず、インターネットでの学習により成績評価が行われます。

学費

学生種	検定料	入学科	授業料	研究指導料
修士全科生	30,000円	48,000円	1単位当たり 11,000円	1年間につき88,000円
修士選科生	—	18,000円		—
修士科目生	—	14,000円		—

(1)放送授業科目は1科目2単位(又は4単位)ですので、1科目当たりの授業料は22,000円(又は44,000円)となります。オンライン授業科目は1科目1単位(又は2単位)ですので、1科目当たりの授業料は11,000円(又は22,000円)となります。

(2)臨床心理学プログラムの実習・演習の授業料も、1単位当たり11,000円です。(修士全科生のみ)

(3)研究指導料は2年分(176,000円)を入学時に納入します。修士論文が提出できない場合又は審査・口頭試問の結果不合格になった場合は、以後、研究指導を受けることができますが、別途、研究指導料(1年間につき88,000円)を1年ごとに引き続き納入していただくことになります。(修士全科生のみ)

(4)在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

(5)臨床心理学プログラムの方は、上記の金額に加え、入学後に臨床心理実習費(20,000円)を徴収します。(修士全科生のみ)

【入学科の割引(修士全科生を除く)】

学校・企業などが推薦する20名以上の所属学生や職員の出願書類を取りまとめ、一括して手続きをした場合等には、入学科が割引かれ、修士選科生の場合は1人当たり9,000円、修士科目生の場合は1人当たり7,000円となります。

また、修士選科生又は修士科目生の学生が、在学期間終了後継続して修士選科生、又は修士科目生に入学する場合にも、入学科が25%割引されます。

【奨学金 その他】**「奨学金の貸与及び給付」**

- 修士全科生に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与されます。
- 修士全科生又は修士選科生(4月入学者のみ)に対しては、選考の上、公益財団法人北野生涯教育振興会の奨学金が給付されます。

「勤労学生の所得控除」

- 修士全科生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

「国民年金学生納付特例」

- 修士全科生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

「郵便料金の割引」

- 通信指導や授業内容に関する質問のための郵便料金は、1通100グラムまで15円です。

「学生旅客運賃割引証の発行」

- 修士全科生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座(一般教育訓練給付)」

- 修士選科生は「社会経営コース」(社会経営科学プログラムの開設科目)、「臨床心理学コース」(臨床心理プログラムの開設科目)、修士科目生は「社会経営(短期養成)コース」(社会経営科学プログラムの開設科目)、「臨床心理(短期養成)コース」(臨床心理学プログラムの開設科目)が対象講座です。

大学院修士課程開設授業科目一覽

2021年度に開設する放送授業科目は55科目(テレビ3科目、ラジオ52科目)、オンライン授業科目は33科目です(研究指導は含まれません)。

この他に臨床心理学プログラム所属の修士全科生のみ履修できる面接授業(実習・演習)を開設しています。

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
生活健康科学プログラム	家族政策研究('21)	(下夷 美幸)	R	2
	リスク社会における市民参加('21)	(八木 絵香、三上 直之)	R	2
	食健康科学('21)【自然環境科学プログラムと共通】	(佐藤 隆一郎、三浦 豊※、下条 直樹※)	OL	1
	コミュニティヘルスケア研究('19)	(田城 孝雄、星 旦二)	R	2
	生活リスクマネジメント('17)	(奈良 由美子)	R	2
	精神医学特論('16)【臨床心理学プログラムと共通】	(石丸 昌彦、広瀬 宏之)	R	2
	ヘルスリサーチの方法論('19)	(井上 洋士)	R	2
	スポーツ・健康医科学('19)	(河合 祥雄)	R	2
	健康・スポーツ科学研究('21)	(関根 紀子)	R	2
	福祉政策の課題('18)一人権保障への道一	(大曾根 寛)	R	2
	生活変動と社会福祉('18)一福祉研究の道標一	(山田 知子)	R	2
	医療安全学特論('16)	(橋本 迪生、山本 武志)	OL	1
	臨床推論('16)	(北村 聖、山脇 正永)	OL	1
	フィジカルアセスメント特論('16)	(山内 豊明)	OL	1
	臨床病態生理学特論('17)	(小川 真(2019年1月ご逝去)、東本 恭幸)	OL	1
	疾病・臨床病態概論('17)	(小川 薫)	OL	2
	臨床薬理学特論('17)	(柳田 俊彦)	OL	1
	特定行為実践特論('17)	(石井 邦子、木澤 晃代)	OL	1
	特定行為共通科目統合演習('17)	(山内 豊明)	OL	1
	統合臨床病態生理学・疾病概論('19)	(東本 恭幸、小川 薫)	OL	2
統合医療安全・特定行為実践特論('19)	(石井 邦子、木澤 晃代、山本 武志)	OL	1	
生活環境情報学基礎演習('18)	(川原 靖弘、ロベズ ギョーム)	OL	2	
アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1	
小 計	23科目	36単位		
人間発達科学プログラム	成人の発達と学習('19)	(岩崎 久美子)	R	2
	教育行政と学校経営('20)	(勝野 正章、村上 祐介)	R	2
	生涯学習の新たな動向と課題('18)	(立田 慶裕)	R	2
	海外の教育改革('21)	(坂野 慎二、藤田 晃之)	R	2
	カリキュラムの理論と実践('21)	(田中 統治、根津 朋実)	R	2
	教育文化の社会学('17)	(稲垣 恭子)	R	2
	道德教育の理念と実践('20)	(西野 真由美)	R	2
	成人発達心理学('17)	(星 薫)	R	2
	現代社会心理学特論('15)【臨床心理学プログラムと共通】	(森 津太子)	R	2
	教育心理学特論('18)【臨床心理学プログラムと共通】	(三宅 芳雄、白水 始)	R	2
	学校臨床心理学特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(倉光 修)	TV	2
	心理・教育統計法特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(小野寺 孝義)	R	2

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
人間発達科学プログラム	発達心理学特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(荻野 美佐子)	TV	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1
小 計	14科目	27単位		
臨床心理学プログラム	臨床心理学特論('17)	(小川 俊樹、倉光 修)	R	4
	臨床心理面接特論Ⅰ('19)一心理支援に関する理論と実践一	(大山 泰宏、小林 真理子)	R	2
	臨床心理面接特論Ⅱ('19)一心理療法の世界一	(大山 泰宏、佐藤 仁美)	R	2
	臨床心理学研究法特論('18)	(小川 俊樹、望月 聡)	R	2
	障害児・障害者心理学特論('19)一福祉分野に関する理論と支援の展開一	(大六 一志、山中 克夫)	R	2
	司法矯正・犯罪心理学特論('20)一司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開一	(橋本 和明)	R	2
	臨床心理地域援助特論('21)	(伊藤 亜矢子)	R	2
	学校臨床心理学特論('21)【人間発達科学プログラムと共通】	(倉光 修)	TV	2
	教育心理学特論('18)【人間発達科学プログラムと共通】	(三宅 芳雄、白水 始)	R	2
	心理・教育統計法特論('21)【人間発達科学プログラムと共通】	(小野寺 孝義)	R	2
	発達心理学特論('21)【人間発達科学プログラムと共通】	(荻野 美佐子)	TV	2
	現代社会心理学特論('15)【人間発達科学プログラムと共通】	(森 津太子)	R	2
	精神医学特論('16)【生活健康科学プログラムと共通】	(石丸 昌彦、広瀬 宏之)	R	2
小 計	13科目	28単位		
社会経営科学プログラム	公共哲学('17)	(山岡 龍一、齋藤 純一)	R	2
	経済政策('17)	(松原 隆一郎)	R	2
	現代訴訟法('17)	(町村 泰貴)	R	2
	知財制度論('20)【情報学プログラムと共通】	(児玉 晴男)	R	2
	イランとアメリカ('17)	(高橋 和夫)	OL	2
	公共政策('17)	(御厨 貴)	R	2
	都市社会構造論('18)	(森岡 清志、北川 由紀彦)	R	2
	環境工学('19)【自然環境科学プログラムと共通】	(迫田 章義)	OL	2
	人的資源管理('18)	(原田 順子、平野 光俊)	R	2
	社会的協力論('20)一いかに近代的協力の限界を超えるか一	(坂井 素思)	R	2
	実践的都市景観形成論('19)	(宮城 俊作)	OL	2
	地域産業の発展と主体形成('20)	(北川 太一)	R	2
	統合イノベーション制度研究('21)	(児玉 晴男)	OL	1
	『貨幣・勤労・代理人』文献講読('21)一近代経済社会の文明的・反文明的特性を読む一	(坂井 素思)	OL	1
	法律学文献講読('21)	(李 鳴)	OL	1
アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1	
小 計	16科目	28単位		

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目 TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
人文学プログラム	道を極める—日本人の心の歴史('16) (魚住 孝至)		R	2
	美学・芸術学研究('19) (青山 昌文)		R	2
	日本史史料を読む('21) (近藤 成一、杉森 哲也)		R	2
	朝鮮の歴史と社会—近世近代('20) (須川 英徳)		R	2
	西洋中世史('21) (河原 温、堀越 宏一)		R	2
	日本文学の研究史('21) (島内 裕子)		R	2
	モダニズムの文学と文化('21) (宮本 陽一郎)		R	2
	異言語との出会い('17) 一言語を通して他を知る— (滝浦 真人、佐藤 良明)		R	2
	文化人類学の最前線('21) (大村 敬一)		OL	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と 共通】(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1
小 計	10科目	19単位		
情報学プログラム	知能システム論('18) (大西 仁)		OL	2
	音楽・情報・脳('17) (仁科 エミ、河合 徳枝)		R	2
	ソフトウェア工学('19) (中谷 多哉子、中島 震)		R	2
	研究のためのICT活用('21) (高橋 秀明)		OL	2
	情報学の技術('18) (中谷多哉子、辰己 丈夫)		R	2
	eラーニングの理論と実践('20) (青木 久美子、高橋 秀明※、加藤 浩※、辻 泰彦※、山田 恒夫※)		OL	2
	コンピューティング('19) —原理とその展開—【自然環境 科学プログラムと共通】(萩谷 昌己)		R	2
	データの科学('17) (浅井 紀久夫、辰己 丈夫)		OL	2
	情報化社会とボランティア活動('18) (山田 恒夫)		OL	2
	情報とコミュニケーション('19) (青木 久美子、高橋 秀明)		OL	2
	知財制度論('20)【社会経営科学プログラムと共通】 (児玉 晴男)		R	2
	マルチメディア情報処理('20) (柳沼 良知)		R	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と 共通】(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1
小 計	13科目	25単位		

区分	2021年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
自然環境科学プログラム	現代生物科学('18) (加藤 和弘、二河 成男)		OL	2
	生物の種組成データの分析法('16) (加藤 和弘)		OL	2
	野外生物調査法('19) (加藤 和弘)		OL	2
	現代物理の展望('19) (岸根 順一郎、松井 哲男)		R	2
	先端技術のための現代物理学('18) (岸根 順一郎)		OL	2
	計算で紐解く物質科学・環境科学('18) (橋本 健明、安池 智一)		OL	2
	宇宙、地球、そして人類('18) (谷口 義明、大森 聡一)		OL	2
	地球を読み解く('19) (大森 聡一、谷口 義明)		OL	2
	数理科学('21) —離散数理モデル— (石崎 克也、諸澤 俊介)		TV※	2
	計算論('16) (隈部 正博)		R	2
	コンピューティング('19) —原理とその展開— 【情報学プログラムと共通】(萩谷 昌己)		R	2
	食健康科学('21)【生活健康科学プログラムと共通】 (佐藤 隆一郎、三浦 豊※、下条 直樹※)		OL	1
	環境工学('19)【社会経営科学プログラムと共通】 (迫田 章義)		OL	2
アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と 共通】(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1	
小 計	14科目	26単位		

「科目名」欄の「(〇〇)」は科目が開設された年度の下2桁です。



研究科・専攻・プログラム

放送大学大学院博士後期課程は、1研究科(文化科学研究科)、1専攻(文化科学専攻)の下に、6つのプログラムを設けています。

研究科	専攻	プログラム名	教育目標
文化科学研究科	文化科学専攻	生活健康科学プログラム	生活科学、健康科学、社会福祉学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の生活と健康の向上に資する公共的施策もしくは地域社会の形成をリードすることのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		人間科学プログラム	心理学、臨床心理学、教育学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の心のあり方の究明とその問題状況の解決に取り組み、子どもの教育、高等教育さらには成人の学習に関わる公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		社会経営科学プログラム	政治学、経済学・経営学、社会学などに加えて、これらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践的に活用して直面する社会的諸課題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、社会や組織の経営・運営に関わる公共的施策を高度に指導することのできる高度な社会人研究者として公共の場で活躍できる社会分析家(アナリスト)・社会的企業家、公共政策の社会実践家・社会批評家(ジャーナリスト)、学際的・超領域的な社会研究者、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		人文学プログラム	哲学、言語学、美学、歴史学、人類学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、さまざまなジャンルの文化の普及啓蒙や地域社会・職場等における研究の遂行や公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		情報学プログラム	情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し活用する高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に応用するとともに、情報とその処理、及び情報化が人間と社会に及ぼす諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		自然科学プログラム	数学、物理学、化学、生物学、地球惑星科学、天文学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、現下の自然科学にまつわる諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。

教育の基本方針

地域社会・職場などが直面する課題の解決に対応できる専門性の深化を図るとともに、それら課題を社会的・学問的文脈で捉え統合することのできる俯瞰力を備えた自立的で実

践的な研究能力を有する高度社会人研究者、及び自立的で創造的な研究を通じて教養を最大限に高め、知識基盤社会を多様に支えることのできる高度教養知識人を養成します。

■ 教育の目的

生涯学習の実践を通して、学術の理論、及び応用の深奥を極め、高度な専門性が求められる社会的役割を担うための深い学識及び卓越した能力を修得し、文化の進展並びに地域社会及び職場などに貢献できる主導的人材の養成を目的とします。

■ ディプロマ・ポリシー

【資質・能力等の養成】

主に専攻する学問分野(メジャー研究分野)に加えて、関連する学問分野(マイナー研究分野)など、他分野における高度な専門的知識や技能を修得し、学術の理論及び応用の深奥を極めることにより、物事を俯瞰的に観察する能力と解決が困難な実際の課題に対応できる創造的実践力が身につくよう指導します。

これらの資質・能力により、社会に知を発信し、地域社会や職場などにおける困難な課題を自らの力で解決し、それぞれの地域社会や職場などの未来を切り拓く知的リーダーとして活躍する人材を養成します。

【課程修了に必要な学習成果(条件)】

授業科目と研究指導科目を合わせて17単位以上修得し、博士予備論文、及び博士論文の審査及び試験に合格することが課程修了・学位取得の要件です。

■ カリキュラム・ポリシー

【教育課程編成】

博士後期課程においては、高度な専門知識や精緻な研究方法を修得するための基盤研究科目と高い研究能力を養う特定研究科目を提供します。基盤研究科目では、学術理論、及び高度な研究方法を多角的視点から習得するため、メジャー研究分野の科目とマイナー研究分野の科目で構成しています。特定研究科目では、博士論文を段階的・計画的に作成できるよう、3年間の対面指導を行い、プログラムの枠を超えて、専攻するメジャー研究分野のみならず、マイナー研究分野も加えた専任教員が指導に当たります。定期的開催される研究指導では、論文執筆に関する指導に加え、研究方法論も指導します。

【教育内容・方法】

基盤研究科目のうち、メジャー研究分野関連教員のオムニバス講義である特論では、対面により授業を行い、メジャー研究分野、及びマイナー研究分野の研究法では、対面やWeb会議システムなどにより指導を行います。また、特定研究科目では、定期的に課題を出し、対面により指導します。このようにして、通信教育を基本とする本学においても、密度の濃い授業や研究指導を実施します。

【学習成果の評価方法】

基盤研究科目は、授業における学習状況と提出されたレポートを基に成績評価を行います。特定研究科目は、博士論文に対する審査と口頭試問の結果を総合的に判断して、博士の学位に相応しいか否かの成績評価を行います。

■ アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

地域社会・職場等において直面する課題を解決するための実践に取り組み、豊かな経験知・実践知を有する社会人や、学問知の獲得に強い意志と意欲を持ち、より高度な教養知の修得を目指し、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学び、その成果を生かしていくことができる学習者を求めます。

【入学者選抜の方法】

入学者選抜は、年に1回、第1次選考と第2次選考に分けて実施します。第1次選考を実施後、第1次選考合格者に対して第2次選考を実施し、最終合格者を決定します。第1次選考は英語読解力及び高度な専門的知識や思考力を問う筆記試験、第2次選考は提出書類を基にした面接試問により行います。

【求める学習成果】

修士課程修了など、一定の要件を満たすことが条件です。

学生の種類及び学習システム

放送大学大学院博士後期課程の教育は、本部キャンパスでの集中対面指導、情報通信技術を有効に用いた双方向研究指導、本部キャンパス及び全国に展開する学習センター

等を利用した履修指導、豊富な“知”の蓄積としての教材アーカイブスの利用といった多様な教育機能を用いて、特色ある研究指導を行います。

■ 博士全科生～博士後期課程を修了して、学位「博士(学術)」の取得を目指す学生～

- ・ 出願資格があるのは、修士の学位もしくは専門職学位を有する方またはこれと同等以上の学力があると認められた方です。
- ・ 入学者選考を実施します。
- ・ 入学の時期は毎年1回、4月です。
- ・ 6つのプログラムのうち、いずれか1つのプログラムに所属して学習・研究を進めていきます。

【入学者選考】

- ・ 第1次選考(筆記試験)
英語読解試験及び小論文を行い、第1次選考の合格者を決定します。
- ・ 第2次選考(面接試問)
第1次選考の合格者に対して、提出された研究計画書、志望理由書及び修士論文又は修士論文に相当する論文等をもとに面接試問を行います。最終合格者は、筆記試験、及び面接試問の実施結果を総合的に判定し決定します。

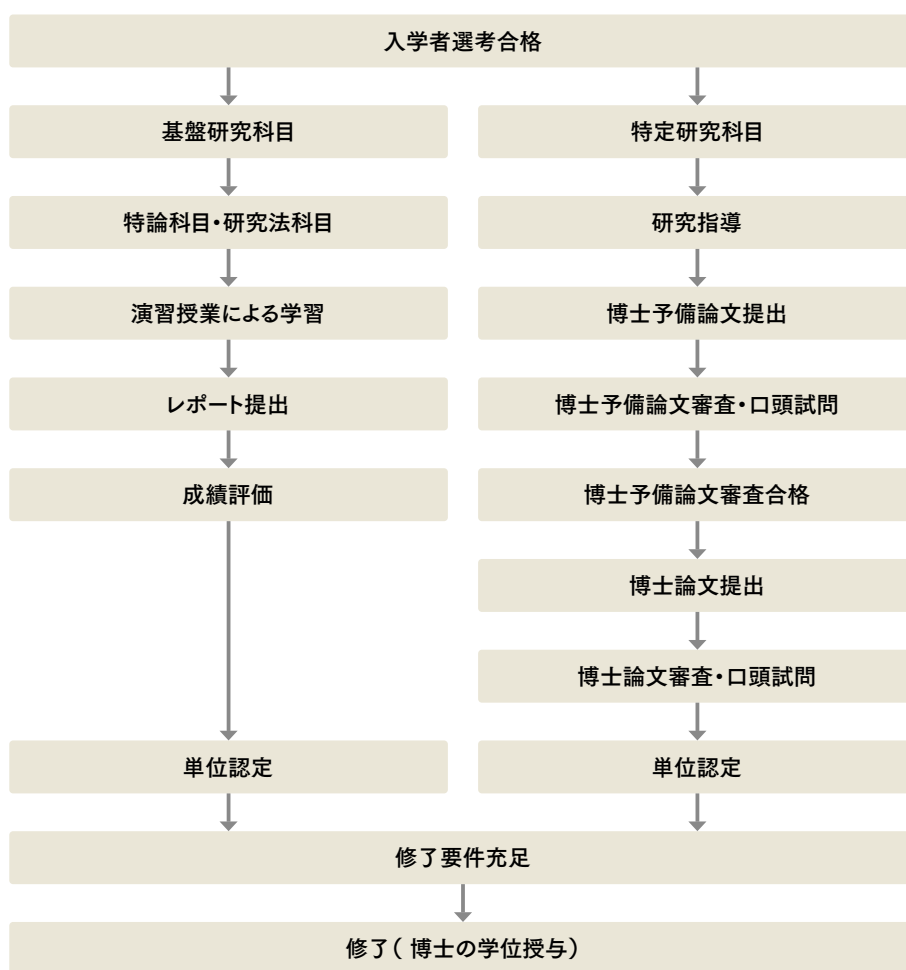
【研究指導】

- ・ 博士論文作成のための研究指導体制に関しては、主研究指導教員1名(メジャー分野の教員1名)、副研究指導教員2名(マイナー分野の教員1名及びメジャー分野又はメジャー隣接分野の教員1名)で博士論文作成のための研究指導を行います。
- ・ 主研究指導教員は、願書の研究テーマや研究計画などをもとに、入学試験面接試問等により領域適合性を確認し、本学が最適と判断した専任教員を充てます。
- ・ 副研究指導教員は、入学後のオリエンテーションでの主研究指導教員との面談後、本学が最適と判断した専任教員を充てます。
- ・ 「基盤研究」と「特定研究」の2つの研究指導方法によって、専門分野の研究能力の深化とともに俯瞰力と創造力を幅広く備え実践と理論を結びつけることのできる高度な社会人研究者を養成します。
- ・ 研究指導は、個別やゼミナール形式による直接対面での指導、及びWeb会議システムや電子メールによるインターネット技術を活用した指導により行います。

【博士後期課程の修了】

- ・ 修了するためには、3年以上在学し(在学年限は8年)、下記の単位数以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び口頭試問に合格する必要があります。
- 所属するプログラムの基盤研究科目4単位(特論科目2単位、研究法科目2単位の合計4単位)
- 所属するプログラム以外のプログラムの基盤研究科目1単位(研究法科目1単位)
- 特定研究科目12単位

入学から単位修得、修了までの流れ



学費

- (1) 授業料は1単位当たり、44,000円となります。
- (2) 研究指導料は1年分(352,000円)を入学時に納入します。以後、修了まで研究指導料(1年間につき352,000円)を1年ごとに引き続き納入していただくことになります。
- (3) 在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

検定料	入学料	授業料(基盤研究科目)	研究指導料(特定研究科目)
30,000円	48,000円	1単位当たり 44,000円	1年間につき 352,000円

【奨学金 その他】

「奨学金の貸与」

博士全科生に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与されます。

「勤労学生の所得控除」

博士全科生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

「国民年金学生納付特例」

博士全科生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

「学生旅客運賃割引証の発行」

博士全科生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

大学院博士後期課程開設授業科目一覽

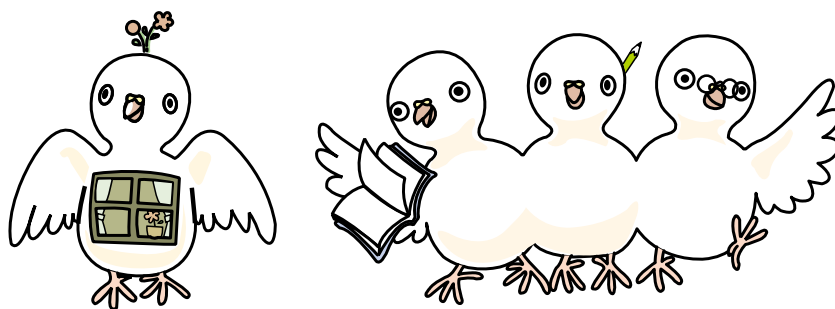
授業科目は、基盤研究科目(特論及び研究法)と特定研究科目(研究指導)に区分され、2021年度に開設する科目は合計89科目(特論6科目、研究法75科目、研究指導6科目)です。

区分	科目名	担当教員	単位
生活健康科学	生活健康科学特論	所属プログラム教員	2
	生活環境情報学・家族関係学研究法	下夷 美幸、川原 靖弘	1
	食品科学・リスク学研究法	吉村 悦郎、奈良 由美子	1
	医科学・公衆衛生学研究法	石丸 昌彦、関根 紀子、田城 孝雄	1
	看護学・健康社会学研究法	井出 訓、戸ヶ里 泰典、山内 豊明	1
	社会福祉学研究法A	山田 知子	1
	社会福祉学研究法B	大曾根 寛	1
人間科学	人間科学特論	所属プログラム教員	2
	生涯学習研究法	岩崎 久美子	1
	教育社会学研究法	岩永 雅也	1
	高等教育研究法	苑 復傑	1
	カリキュラム研究法	田中 統治	1
	教育心理学研究法	進藤 聡彦	1
	社会心理学研究法	森 津太子	1
	認知心理学研究法	高橋 秀明	1
	発達心理学研究法	向田 久美子	1
	心理臨床学研究法	大山 泰宏	1
	医療心理学研究法	小林 真理子	1
	深層心理学研究法	橋本 朋広	1
	芸術療法学研究法	佐藤 仁美	1
教育臨床心理学研究法	波田野 茂幸	1	
社会経営科学	社会経営科学特論	所属プログラム教員	2
	知的財産法学研究法	児玉 晴男	1
	国際法研究法	柳原 正治	1
	民事法学研究法	李 鳴	1
	公共政策(政治学・国際政治学)研究法	白鳥 潤一郎	1
	公共政策(政治学・政治思想)研究法	原 武史	1
	公共政策(政治理論)研究法	山岡 龍一	1
	経済学研究法	坂井 素思	1
	社会経済学研究法	松原 隆一郎	1
	社会学研究法	北川 由紀彦	1
	都市社会学研究法	森岡 清志	1
	企業会計研究法	齋藤 正章	1
	人的資源管理研究法	原田 順子	1
	オペレーションズ・マネジメント研究法	松井 美樹	1
	環境・エネルギー研究法	迫田 章義	1

区分	科目名	担当教員	単位
人文学	人文学特論	所属プログラム教員	2
	哲学・日本思想研究法	魚住 孝至	1
	美学研究法	青山 昌文	1
	日本古代・中世史研究法	近藤 成一	1
	日本近世・近代史研究法	杉森 哲也	1
	韓国朝鮮史学研究法	須川 英徳	1
	西洋史学研究法	河原 温	1
	日本文学研究法	島内 裕子	1
	フランス語圏文学研究法	野崎 敏	1
	英語圏文学研究法	宮本 陽一郎	1
	言語学研究法	滝浦 真人	1
	コミュニケーション学研究法	大橋 理枝	1
	中国語学研究法	宮本 徹	1
	社会人類学研究法	大村 敬一	1
基盤研究科目	情報学特論所属	プログラム教員	2
	人間社会情報学研究法	青木 久美子	1
	生体情報処理研究法	秋光 淳生	1
	知識情報処理研究法	浅井 紀久夫	1
	認知情報科学研究法	大西 仁	1
	学習環境デザイン学研究法	加藤 浩	1
	学習コンテンツ評価研究法	近藤 智嗣	1
	メディアリテラシー研究法	芝崎 順司	1
	計算機システム研究法	鈴木 一史	1
	情報教育研究法	辰己 丈夫	1
	教育・学習システム工学研究法	辻 靖彦	1
	メディア教育研究法	中川 一史	1
	ソフトウェア工学研究法	中谷 多哉子	1
	メディア情報質評価研究法	仁科 エミ	1
	情報環境応用研究法	葉田 善章	1
	デザイン研究法	伏見 清香	1
	情報行動研究法	三輪 眞木子	1
	学習支援システム研究法	森本 容介	1
マルチメディア情報処理研究法	柳沼 良知	1	
教育・学習データ分析研究法	山田 恒夫	1	

区分	科目名	担当教員	単位
基礎研究科目 自然科学	自然科学特論	所属プログラム教員	2
	生態環境研究法	加藤 和弘	1
	生物科学研究法	二河 成男	1
	分子科学研究法	橋本 健朗	1
	化学研究法	安池 智一	1
	凝縮系物理学研究法	岸根 順一郎	1
	社会福祉学研究法B	大曾根 寛	1
	原子核物理学研究法	松井 哲男	1
	宇宙物理学研究法	谷口 義明	1
	数理解析学研究法	石崎 克也	1
	数理論理学研究法	隈部 正博	1
	地球惑星科学研究法	大森 聡一	1

区分	科目名	担当教員	単位
特定研究科目	生活健康科学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12
	人間科学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12
	社会経営科学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12
	人文学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12
	情報学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12
	自然科学特定研究 (研究指導)	各主研究指導教員	12



単位互換協定

各大学に在学する学生が自大学の授業科目のほか、他大学の授業科目の一部を利用することができれば、教育課程はより豊富になり教育内容も充実することとなります。

このようなことから、学生が他の大学の授業科目を履修し、単位を修得することが可能となる制度(単位互換制度)が設けられています。

本学の設置目的の一つに「他大学との単位互換の推進」が

掲げられており、積極的に単位互換協定の締結に努めているところです。この制度に基づく学生は、「特別聴講学生」として受け入れを行っています。

本学の最大の特色は、BSテレビ・BSラジオ・インターネットなどにより授業を行うことであり、単位互換校には無償でDVDなどを貸し出しするなどの便宜も図っているため、相手大学に向いて勉学する通常の大学との単位互換より利便性があります。

単位互換協定締結校数(令和2年11月1日現在)

	国立	公立	私立	合計
大学	61	35	212	308
短期大学	0	4	86	90
高等専門学校	16	0	0	16
大学院	1	2	6	9
合計	78	41	304	423

(参考)全国の大学・短期大学・高等専門学校数

	国立	公立	私立	合計
大学	86	93	607	786
短期大学	0	17	309	326
高等専門学校	51	3	3	57
大学院	86	84	472	642
合計	223	197	1,391	1,811

※令和元年度学校基本調査による。

単位互換協定を締結した大学、及び短期大学・高等専門学校・大学院(令和2年11月1日現在 423校)

国立大学(61校)	兵庫教育大学	明石工業高等専門学校	福岡県立大学
北海道教育大学	神戸大学	呉工業高等専門学校	福岡女子大学
帯広畜産大学	奈良教育大学	宇部工業高等専門学校	長崎県立大学
旭川医科大学	奈良女子大学	大分工業高等専門学校	宮崎県立看護大学
北見工業大学	和歌山大学	都城工業高等専門学校	宮崎公立大学
弘前大学	鳥取大学	国立大学大学院(1校)	名城大学
岩手大学	鳥根大学	北陸先端科学技術大学院大学	公立短期大学(4校)
東北大学	岡山大学	公立大学(35校)	山形県立米沢女子短期大学
宮城教育大学	広島大学	札幌市立大学	会津大学短期大学部
秋田大学	山口大学	宮城大学	岐阜市立女子短期大学
山形大学	徳島大学	秋田県立大学	大分県立芸術文化短期大学
福島大学	鳴門教育大学	山形県立保健医療大学	公立大学大学院(2校)
茨城大学	香川大学	山形県立米沢栄養大学	富山県立大学大学院
筑波技術大学	愛媛大学	会津大学	島根県立大学大学院
宇都宮大学	高知大学	福島県立医科大学	私立大学(212校)
群馬大学	九州大学	群馬県立女子大学	札幌国際大学
埼玉大学	福岡教育大学	埼玉県立大学	函館大学
千葉大学	佐賀大学	千葉県立保健医療大学	北海学園大学
東京医科歯科大学	長崎大学	新潟県立大学	北海道情報大学(通信教育部)
東京農工大学	熊本大学	長岡造形大学	酪農学園大学
東京海洋大学	大分大学	富山県立大学	八戸学院大学
電気通信大学	宮崎大学	石川県立大学	青森大学
横浜国立大学	鹿児島大学	石川県立看護大学	盛岡大学
新潟大学	鹿屋体育大学	金沢美術工芸大学	石巻専修大学
上越教育大学	琉球大学	福井県立大学	尚絅学院大学
金沢大学	国立高等専門学校(16校)	長野県看護大学	仙台大学
福井大学	一関工業高等専門学校	公立諏訪東京理科大学	仙台白百合女子大学
山梨大学	仙台高等専門学校	岐阜県立看護大学	東北学院大学
信州大学	鶴岡工業高等専門学校	岐阜薬科大学	東北工業大学
岐阜大学	福島工業高等専門学校	公立鳥取環境大学	東北生活文化大学
静岡大学	茨城工業高等専門学校	島根県立大学	東北福祉大学
浜松医科大学	群馬工業高等専門学校	県立広島大学	東北文化学園大学
三重大学	小山工業高等専門学校	広島市立大学	東北医科薬科大学
滋賀大学	石川工業高等専門学校	香川県立保健医療大学	宮城学院女子大学
滋賀医科大学	福井工業高等専門学校	愛媛県立医療技術大学	
大阪大学	岐阜工業高等専門学校	高知県立大学	
大阪教育大学	鈴鹿工業高等専門学校	高知工科大学	

東北芸術工科大学	二松学舎大学	岡山理科大学	千葉敬愛短期大学
東北公益文科大学	日本女子大学	川崎医療福祉大学	千葉経済大学短期大学部
東北文教大学	文化学園大学	吉備国際大学	千葉明德短期大学
医療創生大学	武蔵野大学	倉敷芸術科学大学	東京経営短期大学
郡山女子大学	麻布大学	美作大学	上野学園大学短期大学部
東日本国際大学	神奈川工科大学	広島工業大学	自由が丘産能短期大学
福島学院大学	産業能率大学	広島国際大学	東京家政大学短期大学部
日本大学工学部	湘南工科大学	広島文教大学	文化学園大学短期大学部
茨城キリスト教大学	洗足学園音楽大学	安田女子大学	新潟工業短期大学
筑波学院大学	鶴見大学	エリザベト音楽大学	富山福祉短期大学
足利大学	田園調布学園大学	近畿大学工学部	金沢学院短期大学
宇都宮共和国	桐蔭横浜大学	比治山大学	金沢星稷大学女子短期大学部
国際医療福祉大学	フェリス学院大学	広島経済大学	金城大学短期大学部
作新学院大学	横浜商科大学	広島国際学院大学	北陸学院大学短期大学部
自治医科大学	東海大学	広島修道大学	仁愛女子短期大学
獨協医科大学	東京工芸大学	広島女学院大学	山梨学院短期大学
白鷗大学	文教大学	広島文化学園大学	松本大学松商短期大学部
文星芸術大学	松蔭大学	広島都市学園大学	大垣女子短期大学
帝京大学(理工学部)	新潟リハビリテーション大学	宇部フロンティア大学	岐阜聖徳学園大学短期大学部
関東学園大学	敬和学園大学	徳山大学	岐阜保健大学短期大学部
共愛学園前橋国際大学	高岡法科大学	徳島文理大学	正眼短期大学
上武大学	金沢医科大学	四国学院大学	高山自動車短期大学
共栄大学	金沢学院大学	高松大学	中部学院大学短期大学部
埼玉学園大学	金沢工業大学	松山大学	東海学院大学短期大学部
十文字学園女子大学	金沢星稷大学	松山東雲女子大学	中日本自動車短期大学部
聖学院大学	金城大学	聖カタリナ大学	平成医療短期大学
西武文理大学	北陸大学	九州共立大学	中京学院大学短期大学部
獨協大学	北陸学院大学	九州産業大学	愛知産業大学短期大学
人間総合科学大学	福井医療大学	九州女子大学	愛知みずほ大学短期大学部
ものつくり大学	健康科学大学	福岡工業大学	至学館大学短期大学部
文京学院大学	山梨学院大学	西九州大学	京都文教短期大学
目白大学	帝京科学大学	長崎純心大学	嵯峨美術短期大学
愛国学院大学	清泉学院大学	熊本学園大学	大阪千代田短期大学
植草学園大学	松本大学	熊本保健科学大学	甲子園短期大学
江戸川大学	朝日大学	崇城大学	神戸女子短期大学
川村学園女子大学	岐阜医療科学大学	日本文科大学	神戸教育短期大学
神田外語大学	岐阜協立大学	別府大学	兵庫大学短期大学部
敬愛大学	岐阜女子大学	立命館アジア太平洋大学	奈良佐保短期大学
国際武道大学	岐阜聖徳学園大学	九州保健福祉大学	鳥取短期大学
三育学院大学	中京学院大学	南九州大学	中国短期大学
秀明大学	中部学院大学	宮崎国際大学	美作大学短期大学部
淑徳大学	東海学院大学	宮崎産業経営大学	安田女子短期大学
城西国際大学	岐阜保健大学	鹿児島純心女子大学	山陽女子短期大学
聖徳大学	静岡産業大学	志学館大学	比治山大学短期大学部
清和大学	聖隷クリストファー大学	鹿児島国際大学	広島文化学園短期大学
千葉科学大学	愛知大学	沖縄大学	松山東雲短期大学
千葉経済大学	愛知淑徳大学	沖縄国際大学	松山短期大学
千葉工業大学	愛知みずほ大学	私立短期大学(86校)	聖カタリナ大学短期大学部
千葉商科大学	東海学園大学	釧路短期大学	高知学園短期大学
中央学院大学	豊田工業大学	札幌国際大学短期大学部	九州女子短期大学
東京基督教大学	名古屋商科大学	北翔大学短期大学部	福岡工業大学短期大学部
東京情報大学	鈴鹿大学	北海道科学大学短期大学部	九州龍谷短期大学
東京成徳大学	鈴鹿医療科学大学	青森明の星短期大学	佐賀女子短期大学
開智国際大学	聖泉大学	聖和学園短期大学	別府溝部学園短期大学
麗澤大学	京都女子大学	東北生活文化大学短期大学部	西九州大学短期大学部
和洋女子大学	京都ノートルダム大学	羽陽学園短期大学	別府大学短期大学部
明海大学	京都美術工芸大学	東北文科大学短期大学部	南九州短期大学
帝京平成大学	同志社女子大学	いわき短期大学	宮崎学園短期大学
東洋学園大学	立命館大学	郡山女子大学短期大学部	鹿児島女子短期大学
桜美林大学	龍谷大学	桜の聖母短期大学	沖縄キリスト教短期大学
嘉悦大学	佛教大学(通信教育課程)	福島学院大学短期大学部	沖縄女子短期大学
北里大学	嵯峨美術大学	足利短期大学	私立大学大学院(6校)
実践女子大学	京都先端科学大学	宇都宮短期大学	佐久大学大学院
順天堂大学	追手門学院大学	宇都宮文星短期大学	岐阜女子大学大学院
創価大学	大阪学院大学(通信教育部)	國學院大學栃木短期大学	中京大学大学院
大東文化大学	大阪産業大学	作新学院大学女子短期大学部	龍谷大学大学院
多摩大学	関西福祉科学大学	佐野日本大学短期大学	美作大学大学院
東京家政大学	森ノ宮医療大学	新島学園短期大学	広島文化学園大学大学院
東京工科大学	兵庫大学	国際学院埼玉短期大学	
東京聖栄大学	大手前大学	植草学園短期大学	
東京電機大学	畿央大学	昭和学院短期大学	
東京未来大学	奈良大学	聖徳大学短期大学部	
東洋大学	奈良学園大学	清和大学短期大学部	

資格の取得

■ 学位

学部

修士

博士

全科履修生・修士全科履修生・博士全科履修生として卒業・修了すると以下の学位が取得できます。

教養学部	学士(教養)
大学院修士課程	修士(学術)
大学院博士後期課程	博士(学術)

アイコンの説明

学部

学部で対応

修士

大学院修士課程で対応

博士

大学院博士後期課程で対応

■ 大学改革支援・学位授与機構による学士の学位の取得について

学部

短期大学、高等専門学校、一定の基準を満たす専修学校専門課程卒業生などが科目等履修生として大学の単位を修得する等の方法により、一定の学修を積み上げた場合、大学改革支援・学位授与機構の行う審査によって学士の学位を取得できる途が開かれています。放送大学の一部の単位は、この制度に活用できます。

■ 国家試験の受験資格の取得

学部

他の大学と同様に、放送大学で所定の単位を修得することにより、国家試験の受験資格を取得できるものとしては次のようなものがあります。

資格試験の種類	左記の受験資格等を得るために本学で必要な学修
税理士試験	全科履修生として、3年次以上で法律学又は経済学に関する科目を含め計62単位以上修得、もしくは、大学又は短大の卒業生の場合、法律学又は経済学を科目履修生又は選科履修生、全科履修生として1科目以上履修
社会保険労務士試験	全科履修生として62単位以上修得
保育士試験	全科履修生として2年以上在学して62単位以上修得

■ 上位・他教科等の教員免許状の取得

学部

現に教員免許状を有している方が各都道府県教育委員会の行う教育職員検定で上位・他教科・隣接校種の免許状又は特別支援学校の教諭の免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学において修得できます。

■ 専修免許状の取得

修士

現に教員免許状を有している方が各都道府県教育委員会の行う教育職員検定で専修免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学大学院において取得できます。

■ 栄養教諭の免許状

学部

管理栄養士、管理栄養士養成課程修了(栄養士免許は必要)又は栄養士免許を基礎資格とし、学校栄養職員として3年以上の実務経験を有している方が栄養教諭の普通免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学において修得できます。

■ 社会教育主事

学部

他大学等で実施される社会教育主事講習を受講しようとする方が、放送大学において指定科目の単位を修得している場合、講習実施機関の判断により、講習科目の一部が免除されます。

■ 学芸員

学部

放送大学において、学芸員の資格を取得するために必要な単位の一部を修得することができます。

■ 司書教諭

大学に2年以上在学し62単位以上を修得している学生(教員免許状を取得する必要があります)又は既に教員免許状をお持ちの方は、本学で開講する学校図書館司書教諭講習を修了することにより、司書教諭の資格が取得できます。

■ 教員免許更新講習

放送大学では、教育職員免許法の改正に対応した教員免許更新講習を平成21年度(2009年度)から実施しています。本学が実施する講習は、教員のみなさまが自らの指導力を高める契機となるとともに、全国の教員のみなさまに受講の機会を提供することを目指しております。

■ 認定心理士

学部

認定心理士は、心理学に関する標準的基礎知識と基礎技術を習得していることを「公益社団法人日本心理学会」が認定する資格です。資格取得に必要な単位は全て放送大学で満たすことができます。

※学会申請時には学士(又は修士)の学位が必要となります(放送大学にて取得可能)。

■ 公認心理師試験受験資格

学部

2019年度第1学期から公認心理師対応カリキュラムを学部段階で開設しました。

放送大学大学院のカリキュラム開設は現在検討中であり、今後の対応については現時点では未定です。

■ 臨床心理士資格審査受験資格 (→P.31)

修士

■ 看護師国家試験受験資格

学部

准看護師として7年以上の就業経験を有する方が、看護師学校養成所2年課程(通信制)を卒業して看護師国家試験をめざす場合、各養成所の判断により放送大学で修得した単位を総取得単位数の2分の1を超えない範囲まで活用できます。

※放送大学で修得した単位だけでは、看護師国家試験の受験資格は得られませんので、ご注意ください。

■ 看護師の特定行為研修

修士

特定行為研修とは、看護師が手順書により特定行為を行うために必要な、実践的な理解力・思考力・判断力、高度かつ専門的な知識・技能の向上を図る研修です。

放送大学大学院では、共通科目に該当する科目として「講義」と「演習」部分をオンライン授業として開講しています(「実習」部分は指定研修機関・その他協力施設で受講する必要があります)。

※看護師の特定行為研修の詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

(以上の措置については、種々の制度的な制約があります。詳細を放送大学本部連携教育課又は各学習センターまでお問い合わせいただくか、資料をご請求ください。)

■ 職場研修などの支援

会社等の集団で研修などの目的で利用される場合、次のような特別な対応をしています。

- ・ 学期末の単位認定試験の結果を受講者本人だけでなく、必要があれば、会社などの研修担当者にお知らせすることができます。この制度によって、会社などでは研修の目的を達したかどうか、研修事業の結果を確認することができます。
- ・ 会社などでまとめて20人以上の集団で入学の申し込みをされますと、入学料を半額に割引しています。お支払いは、会社、個人いずれでも可能です。

科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)

学 部

「科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)」は、2006年から放送大学が実施している学習プログラム(履修証明プログラム)で、学校教育法第105条「履修証明制度」※に対応しています。

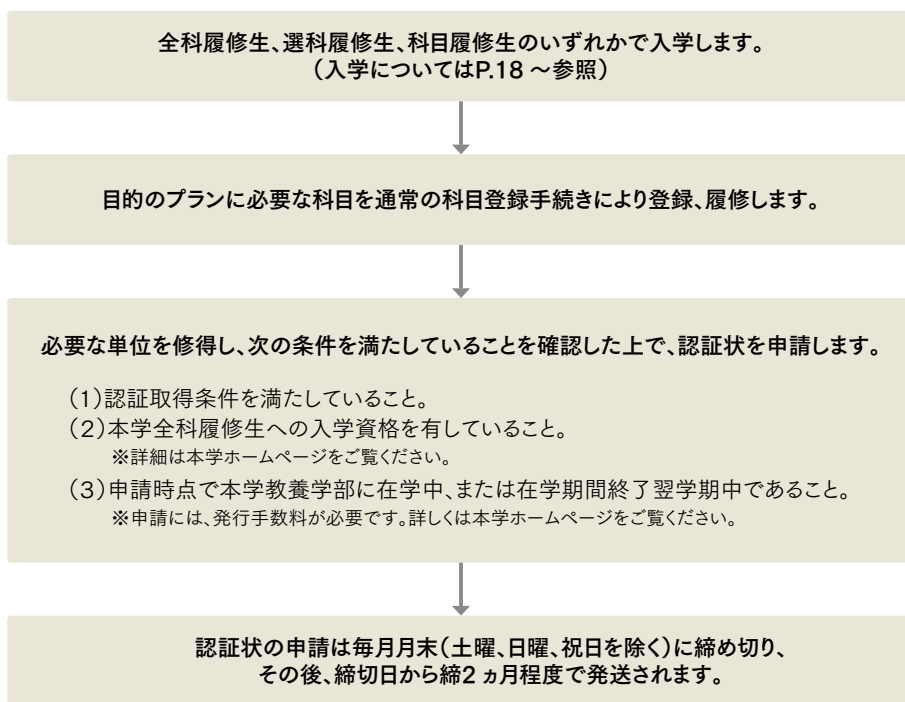
本学が指定する特定の授業科目群(23プラン)に沿って科目履修し、専門分野を体系的に学び申請することにより、修了者に「履修証明制度」に基づいた認証状、証明書、携帯できる認証カード(希望者)が交付されます。

※学校教育法第105条「履修証明制度」

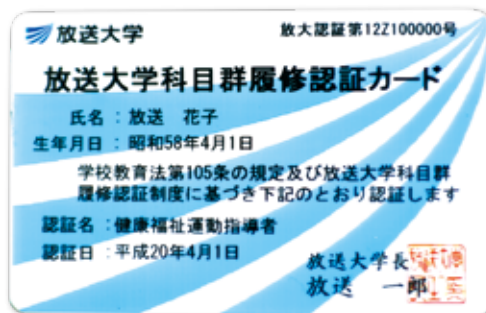
社会人などを対象とした、2007年に始まった新しい履修・学習の証明制度。大学などが開設した一定のまとまりある学習プログラム(履修証明プログラム)の修了者に対して、大学などが法に基づく「履修証明書」(certificate)を交付できる制度です。「履修証明制度」の詳細については、文部科学省のホームページをご覧ください。

■「放送大学エキスパート」入学から認証状取得までの流れ

入学から科目登録までは、通常の手続きと同じです。科目登録の際に、目指すプランを決めておく必要があります。



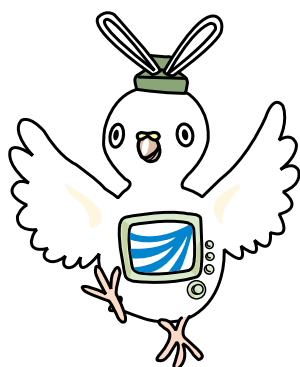
※イメージ



■ 2021年度 認証一覧 認証交付申請期間(2021年4月1日～2022年9月30日)

No.	認証プラン名	認証状の名称
1	健康福祉指導プラン	健康福祉運動指導者
2	福祉コーディネータプラン	福祉コーディネータ
3	社会生活企画プラン	社会生活プランナー
4	食と健康アドバイザープラン	食と健康アドバイザー
5	心理学基礎プラン	心理学基礎
6	臨床心理学基礎プラン	臨床心理学基礎
7	市民活動支援プラン	市民政策論
8	異文化コミュニケーションプラン	異文化理解支援
9	日本の文化・社会探究プラン	日本の文化と社会
10	宇宙・地球科学プラン	宇宙・地球科学
11	環境科学プラン	環境科学の基礎
12	芸術系博物館プラン	芸術系博物館活動支援
13	歴史系博物館プラン	歴史系博物館活動支援
14	自然系博物館プラン	自然系博物館活動支援
15	工学基礎プラン	工学基礎
16	人にやさしいメディアデザインプラン	人にやさしいメディアのデザイン
17	計算機科学基礎プラン	計算機科学の基礎
18	地域貢献リーダー人材育成プラン	地域貢献リーダー人材
19	日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド(基礎力)養成プラン	日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド(基礎力)養成
20	学校地域連携コーディネータープラン	学校地域連携コーディネーター
21	データサイエンスプラン	データサイエンス
22	データサイエンスリテラシープラン	データサイエンス・リテラシー
23	データサイエンスアドバンスプラン	データサイエンス応用基礎

※No.4, No.16, No.21のプランは2022年3月31日をもって廃止されますが、2027年3月31日まで認証状の申請はできます。



全都道府県に学習センターやサテライトスペースを用意。面接授業(スクーリング)を受けたり、学生団体(サークル)活動で学生同士の交流を図ったりすることができます。また、学

習センターでは本学の学生向けのWi-Fi環境を整備し、インターネットを通じた学習ができるようになっています。

■ 多彩な面接授業

学習センターで行う面接授業は、多彩な講師陣による充実した内容を誇っています。BSテレビ・BSラジオで接している放送大学の専任教員や、地元の客員教員などによる、対面での授業です。教員と学生の交流だけでなく、学生同士の出会いの機会ともなっています。



講師陣から直接指導を受ける面接授業

■ ゼミ・勉強会

面接授業に加え、学習センターでは、勉学の間として自主的なゼミや勉強会も盛んに行われています。所長、客員教員だけでなく、学生が自分の経験や学習を生かして講師になる場合もあり、多彩で多様なゼミや勉強会が開かれています。



学習センターでは多彩なゼミや勉強会が開かれています

■ 研修旅行

学習センターでは、学習活動の一つとして、研修旅行を年1回程度開催しています。研修旅行は、学生・教職員の親睦のよい機会ともなっています。訪問先は、学術機関、地域の名所・旧跡、体験学習など多彩です。



年1回程度開催される研修旅行

■ 講演会や学習サロン

学習センターでは積極的に講演会を開催していて、地域、開催時期及び社会情勢などに応じたさまざまな話題が取り上げられています。



全国各地で開催される講演会

■ 学習・履修相談会

学業上の疑問や悩みについて各学習センターで学習相談・履修相談が受けられます。所長・客員教員、さらには経験者としての先輩学生たちが相談に応じています。



文化祭は学生同士の交流の場

■ 文化祭

文化祭を行う学習センターも多くあります。学生たちの日頃の学習の成果や、趣味の作品が披露され、学生同士の交流の機会ともなっています。

■ 学生団体(サークル)活動

学習センターでは、学習・趣味・スポーツなどさまざまな学生団体(サークル)活動が活発に行われています。また、当該地域ならではの特色ある学生団体も多くあります。



各地域の特色のある学生団体活動

北海道	北海道学習センター 札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学札幌キャンパス情報教育館5・6階)	☎011-736-6318
	旭川サテライトスペース 旭川市常磐公園(旭川市常磐館内)	☎0166-22-2627
東北	青森学習センター 弘前市文京町3 コラボ弘大7階(弘前大学文京町地区内)	☎0172-38-0500
	八戸サテライトスペース 八戸市一番町1-9-22(ユートリー 4階)	☎0178-70-1663
	岩手学習センター 盛岡市上田3-18-8(岩手大学図書館3・4階)	☎019-653-7414
	宮城学習センター 仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平キャンパス内)	☎022-224-0651
	秋田学習センター 秋田市手形学園町1-1(秋田大学手形キャンパス地方創生センター 2号館4階)	☎018-831-1997
	山形学習センター 山形市城南町1-1-1(霞城セントラル10階)	☎023-646-8836
	福島学習センター 郡山市桑野1-22-21	☎024-921-7471
	いわきサテライトスペース いわき市平鎌田字寿金沢22-1(東日本国際大学5号館5階)	☎0246-22-7318
	茨城学習センター 水戸市文京2-1-1(茨城大学水戸キャンパス環境リサーチラボラトリー 2・3階)	☎029-228-0683
	栃木学習センター 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス附属図書館1・2階)	☎028-632-0572
関東	群馬学習センター 前橋市若宮町1-13-2	☎027-230-1085
	埼玉学習センター さいたま市大宮区錦町682-2(JACK 大宮8・9・10階)	☎048-650-2611
	千葉学習センター 千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)	☎043-298-4367
	東京渋谷学習センター 渋谷区道玄坂1-10-7(五島育英会ビル1階)	☎03-5428-3011
	東京文京学習センター 文京区大塚3-29-1(筑波大学東京キャンパス文京校舎内)	☎03-5395-8688
	東京足立学習センター 足立区千住5-13-5(学びピア21(6階))	☎03-5244-2760
	東京多摩学習センター 小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス国際共同研究センター 3・4階)	☎042-349-3467
	神奈川学習センター 横浜市南区大岡2-31-1	☎045-710-1910
	新潟学習センター 新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町キャンパス医歯学図書館4～6階)	☎025-228-2651
	甲信越・北陸	富山学習センター 射水市黒河5180(富山県立大学計算機センター 3階)
石川学習センター 野々市市扇が丘7-1(金沢工業大学扇が丘キャンパス9号館)		☎076-246-4029
福井学習センター 福井市手寄1丁目4-1(AOSSA 7階)		☎0776-22-6361
山梨学習センター 甲府市武田4-4-37(山梨大学甲府キャンパス総合研究棟Y号館隣接建物内)		☎055-251-2238
長野学習センター 諏訪市諏訪1-6-1(アーク諏訪3階)		☎0266-58-2332
東海	岐阜学習センター 岐阜市葦田南5-14-53(OKBふれあい会館第2棟2階)	☎058-273-9614
	静岡学習センター 三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校2階)	☎055-989-1253
	浜松サテライトスペース 浜松市中区早馬町2-1(クリエート浜松2階・4階)	☎053-453-3303

東海	愛知学習センター 名古屋市昭和区八事本町101-2(中京大学センタービル4階)	☎052-831-1771
	三重学習センター 津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター生涯学習棟4階)	☎059-233-1170
	滋賀学習センター 大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階)	☎077-545-0362
近畿	京都学習センター 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939(キャンパスプラザ京都3階)	☎075-371-3001
	大阪学習センター 大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス中央館6・7階)	☎06-6773-6328
	兵庫学習センター 神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台第1キャンパスアカデミア館6・7階)	☎078-805-0052
	姫路サテライトスペース 姫路市本町68-290(イーグレひめじ地下2階)	☎079-284-5788
	奈良学習センター 奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター 3階)	☎0742-20-7870
中国	和歌山学習センター 和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)	☎073-431-0360
	鳥取学習センター 鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅前庁舎5階)	☎0857-37-2351
	島根学習センター 松江市白湯本町43(スティックビル4階)	☎0852-28-5500
	岡山学習センター 岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学津島キャンパス文化科学系総合研究棟5・6階)	☎086-254-9240
	広島学習センター 広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田キャンパス東千田総合校舎3・4階)	☎082-247-4030
	福山サテライトスペース 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)	☎084-991-2011
	山口学習センター 山口市吉田1677-1(山口大学吉田キャンパス大会館内)	☎083-928-2501
	徳島学習センター 徳島市新蔵町2-24(徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階)	☎088-602-0151
	香川学習センター 高松市幸町1-1(香川大学幸町北キャンパス研究交流棟7・8階)	☎087-837-9877
	愛媛学習センター 松山市文京町3(愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンター棟3・4階)	☎089-923-8544
四国	高知学習センター 高知市曙町2-5-1(高知大学朝倉キャンパスメディアの森内)	☎088-843-4864
	福岡学習センター 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内 E棟4・5階)	☎092-585-3033
	北九州サテライトスペース 北九州市八幡西区黒崎3-15-3(コムシティ 3階)	☎093-645-3201
	佐賀学習センター 佐賀市天神3-2-11(アバンセ4階)	☎0952-22-3308
	長崎学習センター 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)	☎095-813-1317
九州・沖縄	熊本学習センター 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2・3階)	☎096-341-0860
	大分学習センター 別府市北石垣82(別府大学別府キャンパス39号館2階)	☎0977-67-1191
	宮崎学習センター 日向市本町11-11(日向市役所北隣)	☎0982-53-1893
	鹿児島学習センター 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター西棟4階)	☎099-239-3811
	沖縄学習センター 中頭郡西原町字千原1(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)	☎098-895-5952

※学習センターは国立大学や自治体の生涯学習施設などと同居しているケースが多く、大変学びやすい環境です。

Chapter 07 オンライン教育センター・ 学習教育戦略研究所

オンライン教育センター

■ 概要

オンライン教育センターは、放送大学における情報通信技術（ICT）を活用した教育（以下「オンライン教育」という）の推進を行うことを目的としています。具体的には、オンライン教育に係る調査研究、教材などの開発・制作、システム等の開発・運用・管理、運用の支援、その他オンライン教育の推進に関する業務などを行っています。

■ 基本理念

上記の目的を達成するための基本理念として、オンライン教育センターは、以下のビジョンとミッションを掲げ、運営の方針としています。

【ビジョン】

学生の知性を高めるための、ICTを介したパートナーとなることを目指し、放送大学における新しい学習システム基盤を構築すると共に、生涯学習およびリカレント教育のリーディングセンターになります。

【ミッション】

すべての人々がより多くの知識・情報を得るための機会を、多様なメディアを駆使して提供します。また、質の高い教育コンテンツを提供することによって、生涯学習およびリカレント教育の発展に貢献します。

放送大学は、これまで放送授業と面接授業、およびオンライン授業を行ってきました。2020年度にはコロナ禍のもと、インターネットによる面接授業も行われました。このような授業は

同時双方向web授業という正式な授業形態として開講されることになりました。授業形態の多様化は、学ぶ方法の選択肢を増やす活動であると考え、これからも力を入れて取り組んでいきます。

コロナの影響により、日本の他の教育機関でも遠隔授業が急速に普及しました。データサイエンスに関する教育を日本全国の教育機関で実施するためには、質の高いコンテンツが必要となります。オンライン教育センターでは、データサイエンスに関連する教育コンテンツを、他の教育機関に提供するという新しいビジネスを視野に入れ、その仕組みを開発することで、広く人々の知性の向上に貢献していきます。

■ 組織

オンライン教育センターには、教員から選出された3名のマネージャーも参画しています。事務組織には、オンライン授業などの制作・運用を行う情報部オンライン教育課があり、相互連携しています。特に、数理・データサイエンス・AIに関する教育は、情報コースと自然と環境コースの教員が中心となって構成されるデータサイエンス部門で話し合わせ、コンテンツ開発を推進しています。さらに、オンライン教育センターには、各コースから選出された委員などから構成されるオンライン教育委員会が置かれ、オンラインを用いた教育の開発・運用に関して審議をしています。



学習教育戦略研究所

■ 概要

学習教育戦略研究所は、学習や教育、学園の経営について、教員と事務職員とが協働で課題解決に向けた活動を行う新しい形の研究組織として平成30年度に設置されました。本学園が保有する膨大な学習・教育情報の分析などを通じて、最先端のICT技術も含め、より効果的な学習・教育方法の調査・研究や、本学園の経営改善に資する各種情報の収集・分析、それら成果の活用などを行うことにより、変化する社会ニーズへ迅速に対応し、本学園や我が国の高等教育の充実発展に寄与することを目的としています。

■ 組織

学習教育戦略研究所は、教職協働による研究プロジェクトの遂行を積極的に奨励しており、所長の下に研究部門長と経営戦略部門長を置き、教員と事務組織が一体となった共同体制により構築されています。

また、学習教育戦略研究所運営委員会を置き、重点研究課題の策定や教職員から提案された研究課題の審査・決定などを行っています。

附属図書館

附属図書館(本部)は、平成2年3月に竣工、同年6月に開館し、学習センターに設置されている図書室とともに、本学の教育・研究と学習を支える重要な役割を担っています。

自宅からも読める電子ブックなど、インターネットで利用できる学習・研究用資料を多数提供しています。詳しくは、附属図書館ホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp/>)をご覧ください。

機能

(1)本部

- ・ 研究・学習・保存・総合図書館の役割
 - ・ 本学学術成果の蓄積と公開
 - ・ フロア構成
 - 1階：映像音響資料室・情報検索室・
参考図書コーナー・談話コーナー・国際コーナー
 - 2階：一般開架図書・雑誌バックナンバー・美術書・研究個室
 - 3階：新着雑誌コーナー・貴重図書展示コーナー・演習室・
グループ視聴室・パソコン利用室・小型本コーナー・
サイレントルーム
- 西研究棟：情報資料室

(2)学習センター

- ・ 学習用図書室
- ・ 附属図書館を通じた各種サービスの窓口
- ・ 連携協力を締結した大学等図書館の利用ができます。

蔵書数(令和3年3月31日現在)

区分	蔵書数	雑誌	電子ブック	電子ジャーナル
本部	365,755冊	394点	88,251点	4,013点
学習センター	430,756冊	28点	—	—
合計	796,511冊	422点	88,251点	4,013点

(雑誌は受入誌数)



3階サイレントルーム



附属図書館館内



貴重図書展示コーナー

セミナーハウス

設置目的

セミナーハウスは、放送大学の学生、教職員及び研究員などが、研修、演習実習、研究等を通じて交流を図り、教育研究の進展に寄与するため設けられた施設で、宿泊も可能です。

1. 放送大学及び放送大学学園が行う研修、演習又は実習など、並びに放送大学の公認の学生団体が行う課外活動に使用する場合を優先します。
2. 放送大学学園の職員、放送大学の学生、教員及び研究員などの利用が可能です。



在生人数 (令和2年(2020年度))

【教養学部】

(単位：人)

学生の種別等	第1学期在生人数		第2学期在生人数	
全科履修生	57,250		56,882	
選科履修生	15,840	20,569	15,977	22,712
科目履修生	4,729		6,735	
特別聴講学生	989		3,214	
合計	78,808		82,808	

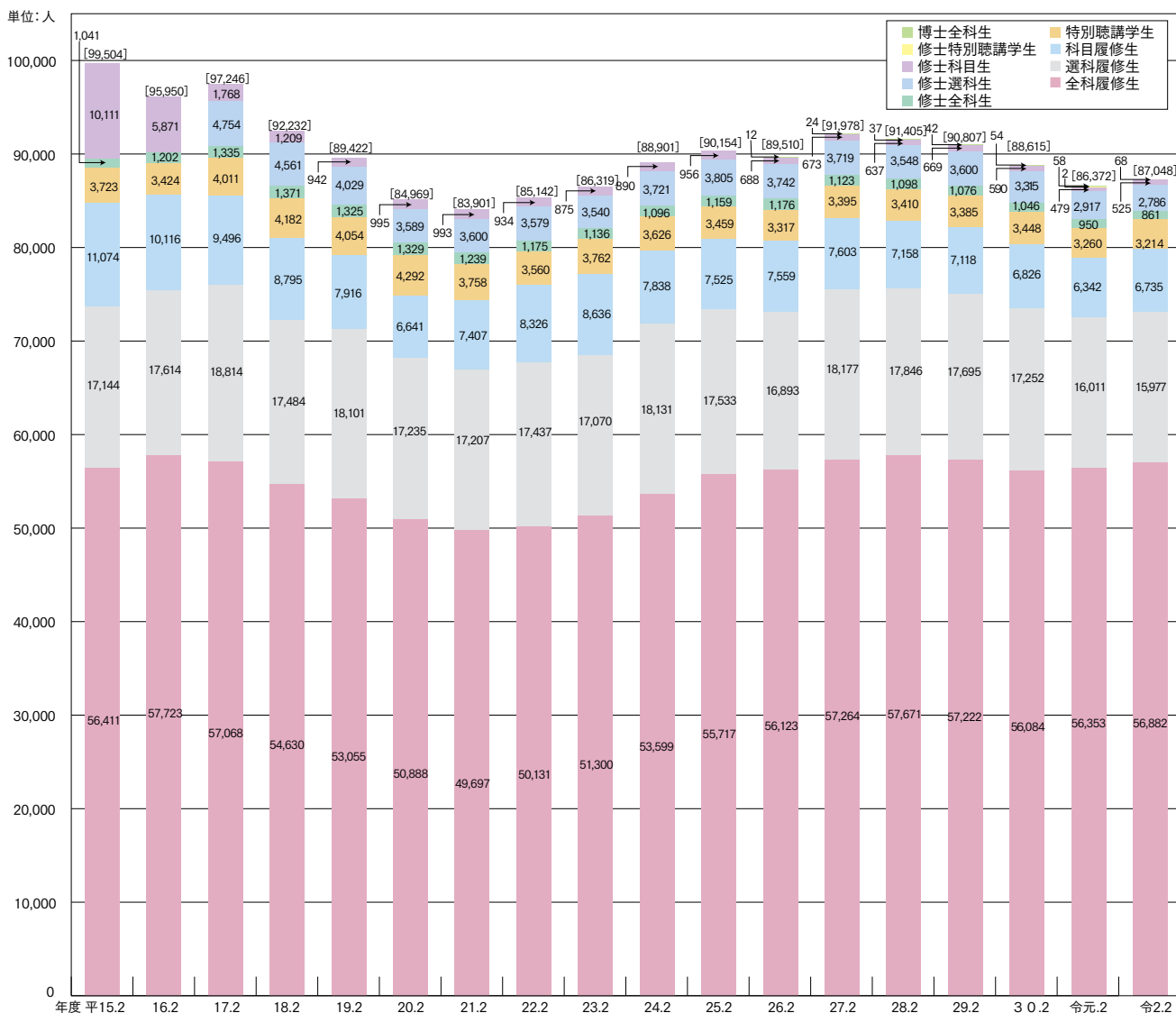
【大学院】

(単位：人)

学生の種別等	第1学期在生人数		第2学期在生人数	
修士全科生	870		861	
修士選科生	2,746	3,117	2,786	3,311
修士科目生	371		525	
特別聴講学生	8		5	
博士全科生	68		68	
合計	4,063		4,245	

(注) 特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との単位互換協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生である。

在生人数の推移 (各年度第2学期)

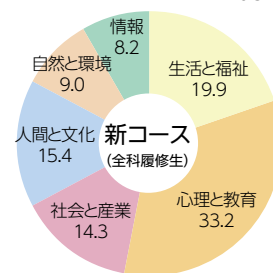
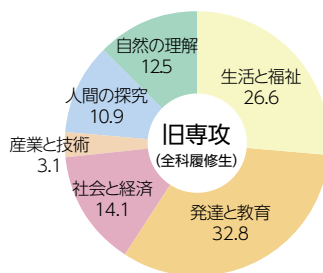
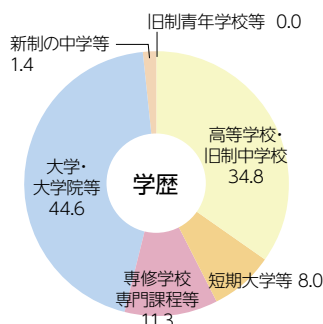
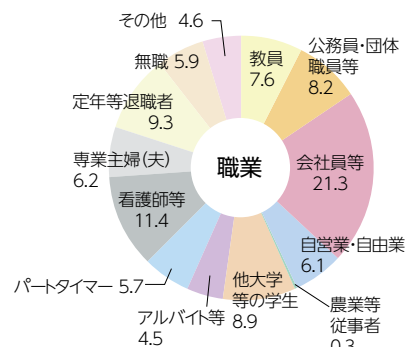
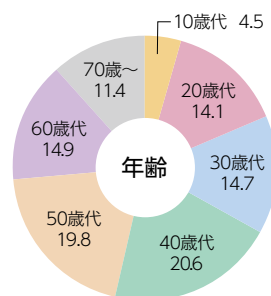
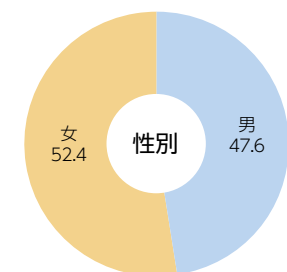


(注) 大学院修士特別聴講学生は、修士科目生に含まれる。

在学生の属性 (令和2年度(2020年度)第2学期)

〔教養学部(特別聴講学生を含む)〕

(単位: %)



<性別・年齢別状況表>

(単位:人)

区分	合計	15~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	
学部計	計	82,808	34	3,682	6,415	5,293	5,638	6,499	7,890	9,162	8,689	7,711	5,869	6,446	9,480
	男	39,441	16	2,634	3,770	2,831	2,883	2,815	2,974	3,303	2,912	2,846	2,725	3,742	5,990
	女	43,367	18	1,048	2,645	2,462	2,755	3,684	4,916	5,859	5,777	4,865	3,144	2,704	3,490
全科履修生	計	56,882	-	709	4,182	3,476	3,624	4,334	5,338	6,481	6,331	5,858	4,361	4,829	7,359
	男	26,752	-	424	2,439	1,984	1,966	2,042	2,211	2,490	2,167	2,040	1,904	2,650	4,435
	女	30,130	-	285	1,743	1,492	1,658	2,292	3,127	3,991	4,164	3,818	2,457	2,179	2,924
選科履修生	計	15,977	20	931	775	819	1,074	1,390	1,783	1,893	1,656	1,399	1,148	1,308	1,781
	男	7,409	10	636	452	364	467	448	515	545	524	614	631	890	1,313
	女	8,568	10	295	323	455	607	942	1,268	1,348	1,132	785	517	418	468
科目履修生	計	6,735	14	42	408	958	925	756	746	764	683	444	351	307	337
	男	2,978	6	20	201	456	442	319	238	260	217	190	186	202	241
	女	3,757	8	22	207	502	483	437	508	504	466	254	165	105	96
特別聴講学生	計	3,214	-	2,000	1,050	40	15	19	23	24	19	10	9	2	3
	男	2,302	-	1,554	678	27	8	6	10	8	4	2	4	-	1
	女	912	-	446	372	13	7	13	13	16	15	8	5	2	2

(注)年齢は、令和2年11月1日現在

<職業別状況表>

(単位:人)

区分	合計	教員	公務員・団体職員等	会社員等	自営業・自由業	農林水産業等従事者	他大学・専門学校等に在籍する学生	アルバイト等	パートタイマー	看護師等	専業主婦(夫)	定年等退職者	無職(専業主婦(夫)・定年等退職者等以外)	その他
学部計	82,808	6,257	6,781	17,619	5,025	260	7,411	3,759	4,749	9,462	5,111	7,671	4,897	3,806
全科履修生	56,882	1,902	4,364	14,093	4,013	219	2,471	3,295	3,633	6,146	4,153	5,490	4,018	3,085
選科履修生	15,977	2,020	1,100	2,562	780	35	1,544	333	833	3,007	745	1,821	646	551
科目履修生	6,735	2,335	1,317	964	232	6	182	131	283	309	213	360	233	170
特別聴講学生	3,214	-	-	-	-	-	3,214	-	-	-	-	-	-	-

<出身校別状況表> (特別聴講学生については表記の区分に在学中であることを示す)

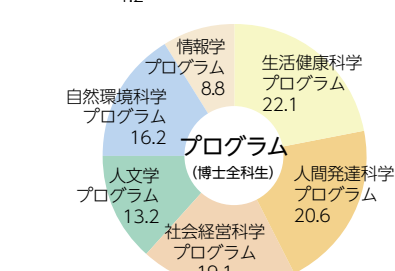
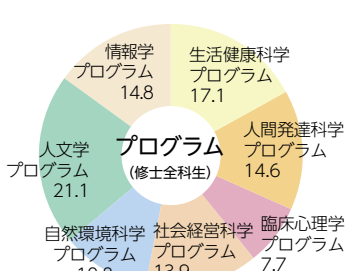
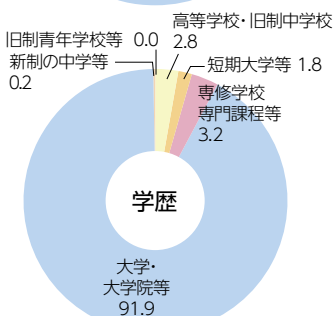
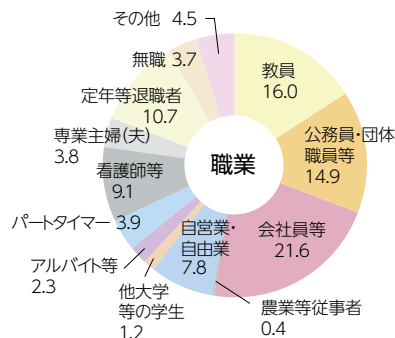
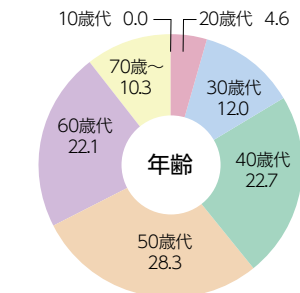
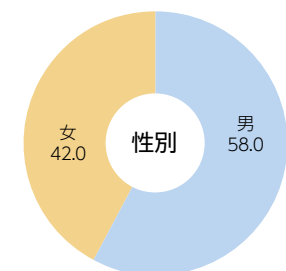
(単位:人)

区分	合計	新制の中学等	旧制青年学校等	旧制の中学等	専修学校・高等課程等	高等学校等	短期大学等	専修学校・専門課程等	大学等	大学校	大学院
学部計	82,808	1,153	5	106	1,454	27,239	6,587	9,322	27,937	3,981	5,024
全科履修生	56,882	841	3	78	439	22,701	5,088	7,230	15,338	2,403	2,761
選科履修生	15,977	249	1	26	957	3,736	1,024	1,732	5,749	1,054	1,449
科目履修生	6,735	63	1	2	58	802	475	360	3,636	524	814
特別聴講学生	3,214	-	-	-	-	-	-	-	3,214	-	-

在学生の属性 (令和2年度(2020年度)第2学期)

[大学院修士課程・博士後期課程]

(単位：%)



文化情報学プログラム 0.0%

<性別・年齢別状況表>

(単位：人)

区分	合計	15~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	
大学院計	計	4,245	-	1	46	150	220	289	419	546	578	622	523	415	436
	男	2,461	-	1	34	80	144	171	230	257	275	356	321	282	310
	女	1,784	-	-	12	70	76	118	189	289	303	266	202	133	126
修士全科生	計	861	-	-	6	42	57	61	97	120	122	123	103	68	62
	男	549	-	-	4	22	40	40	65	62	63	80	72	51	50
	女	312	-	-	2	20	17	21	32	58	59	43	31	17	12
修士選科生	計	2,786	-	1	30	77	114	176	243	341	373	427	361	303	340
	男	1,576	-	1	23	39	73	100	119	163	169	233	213	204	239
	女	1,210	-	-	7	38	41	76	124	178	204	194	148	99	101
修士科目生	計	525	-	-	10	31	48	45	68	75	71	61	47	39	30
	男	285	-	-	7	19	30	25	39	24	37	36	28	22	18
	女	240	-	-	3	12	18	20	29	51	34	25	19	17	12
修士特別聴講学生	計	5	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-
	男	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
博士全科生	計	68	-	-	-	-	1	5	10	9	11	11	12	5	4
	男	48	-	-	-	-	1	4	7	7	6	7	8	5	3
	女	20	-	-	-	-	-	1	3	2	5	4	4	-	1

<職業別状況表>

(注)年齢は、令和2年11月1日現在 (単位：人)

区分	合計	教員	公務員・団体職員等	会社員等	自営業・自由業	農林水産業等従事者	他大学・専門学校等に在籍する学生	アルバイト等	パートタイマー	看護師等	専業主婦(夫)	定年等退職者	無職(専業主婦(夫)・定年等退職者等以外)	その他
大学院計	4,245	681	631	917	331	19	51	97	165	388	161	456	158	190
修士全科生	861	159	150	207	62	6	11	16	39	69	25	77	17	23
修士選科生	2,786	410	356	594	235	10	30	70	113	252	112	342	119	143
修士科目生	525	87	111	102	29	3	5	11	12	63	24	33	22	23
修士特別聴講学生	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
博士全科生	68	25	14	14	5	-	-	-	1	4	-	4	-	1

<出身校別状況表> (特別聴講学生については表記の区分に在学中であることを示す)

(単位：人)

区分	合計	新制の中等	旧制青年学校等	旧制の中等	専修学校・高等課程等	高等学校等	短期大学等	専修学校専門課程等	大学等	大専校	大学院
大学院計	4,245	7	1	2	2	115	78	137	2,862	436	605
修士全科生	861	-	-	-	-	11	10	17	699	57	67
修士選科生	2,786	7	1	1	2	88	56	85	1,822	328	396
修士科目生	525	-	-	1	-	16	11	35	333	50	79
修士特別聴講学生	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
博士全科生	68	-	-	-	-	-	1	-	3	1	63

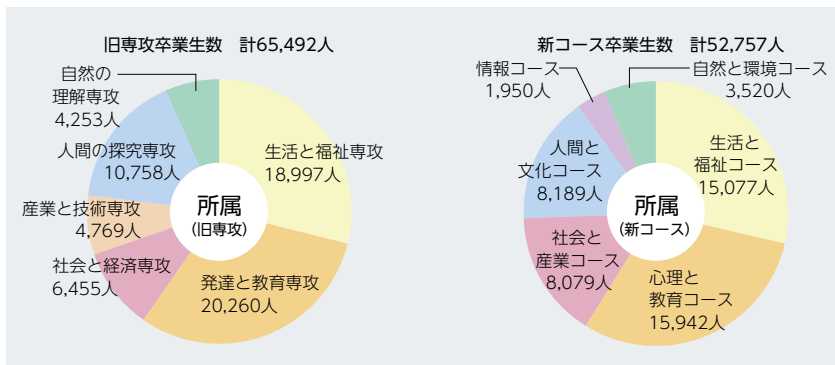
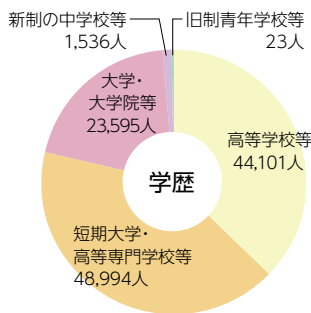
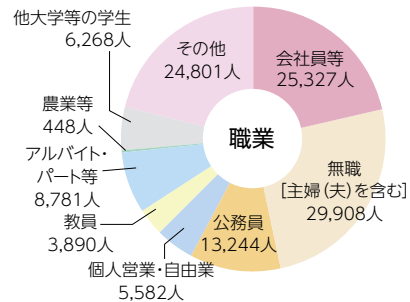
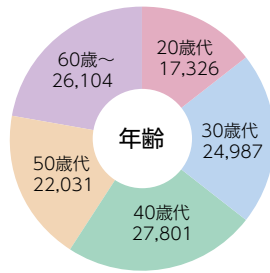
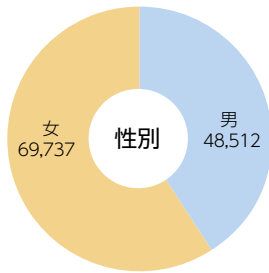
学習センター別在学生数(令和2年度(2020年度)第2学期)

(単位:人)

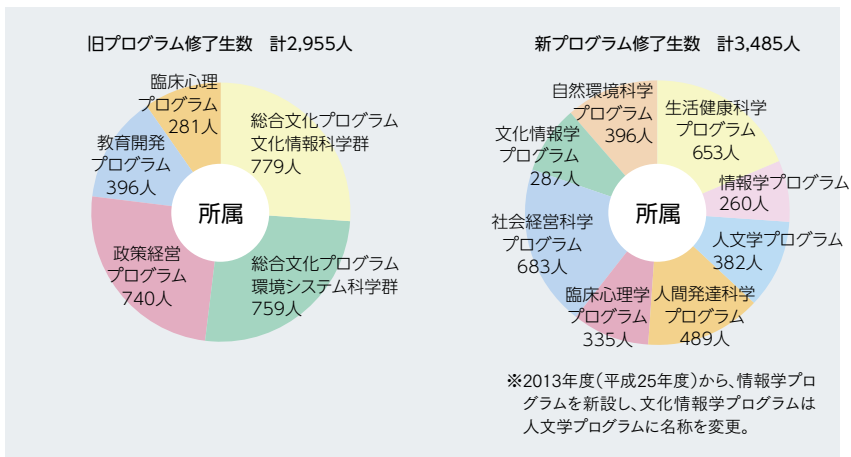
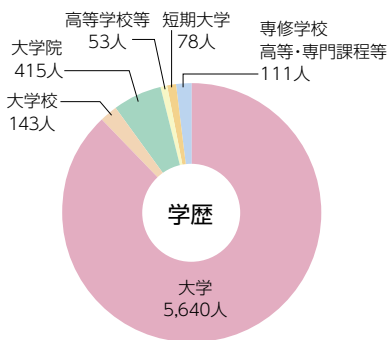
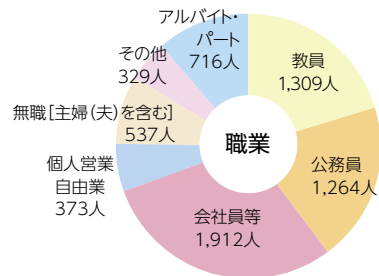
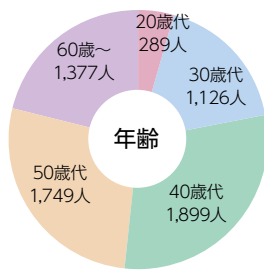
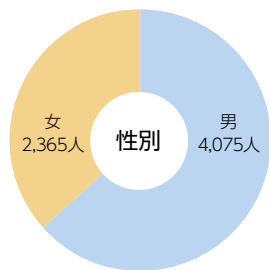
	学 部					大学院修士課程					大学院博士 後期課程	合計
	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	小計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	修士特聴生	小計	博士全科生	
合計	56,882	15,977	6,735	3,214	82,808	861	2,786	525	5	4,177	68	87,053
北海道	2,094	519	251	43	2,907	21	93	15		129	3	3,039
旭川サテライト	291	100	34	2	427	5	17	3		25		452
青森	350	56	22		428	4	8	2		14		442
八戸サテライト	238	38	18		294	3	9	1		13		307
岩手	562	113	53	23	751	5	22	3		30	2	783
宮城	1,130	313	162	128	1,733	14	67	13		94		1,827
秋田	373	86	35	49	543	4	18	2		24		567
山形	376	64	34	2	476	7	13	2		22		498
福島	410	133	56	26	625	7	19			26	1	652
いわきサテライト	91	73	22	20	206	3	2	1		6		212
茨城	736	266	113	6	1,121	8	28	6		42	1	1,164
栃木	685	252	94	10	1,041	7	34	6		47	1	1,089
群馬	870	332	143	4	1,349	18	51	11		80		1,429
埼玉	2,369	636	242	49	3,296	31	124	19		174	2	3,472
千葉	3,084	971	242	31	4,328	59	177	33		269	6	4,603
東京渋谷	4,256	970	391	83	5,700	91	208	48		347	11	6,058
東京文京	4,432	978	371	30	5,811	125	262	52	1	440	9	6,260
東京足立	1,705	447	126	14	2,292	25	61	14		100	1	2,393
東京多摩	2,404	515	233	67	3,219	34	116	25		175	4	3,398
神奈川	3,383	784	324	50	4,541	56	190	26	1	273	4	4,818
新潟	794	272	174	12	1,252	15	49	4		68		1,320
富山	440	103	51	1	595	2	30	4		36		631
石川	526	125	58	1,761	2,470	12	27	6		45	1	2,516
福井	317	86	52	2	457	5	12	4		21	1	479
山梨	381	85	84	5	555	5	20	1		26		581
長野	586	186	114	18	904	4	44	8	3	59	2	965
岐阜	761	264	76	1	1,102	6	43	13		62	1	1,165
静岡	762	193	103	2	1,060	11	37	3		51		1,111
浜松サテライト	560	208	97	3	868	7	23	8		38	1	907
愛知	2,099	646	311	9	3,065	33	99	28		160	5	3,230
三重	485	187	70	4	746	8	20	6		34		780
滋賀	405	101	65	11	582	7	15	4		26		608
京都	2,357	1,604	160	14	4,135	19	99	21		139	1	4,275
大阪	3,193	817	341	39	4,390	41	129	31		201	1	4,592
兵庫	1,198	302	205	20	1,725	17	70	11		98	1	1,824
姫路サテライト	402	120	71		593	6	19	5		30		623
奈良	561	147	76	23	807	8	22	4		34	1	842
和歌山	306	104	33		443	3	20	3		26		469
鳥取	227	53	39		319	1	10	2		13		332
島根	297	92	55		444	3	18	8		29	1	474
岡山	808	163	48	5	1,024	9	33	6		48		1,072
広島	1,008	253	67	29	1,357	21	55	5		81	1	1,439
福山サテライト	227	89	26	1	343	4	5	1		10		353
山口	415	82	59	2	558	5	16	2		23		581
徳島	351	101	42	2	496	2	18	2		22		518
香川	485	134	67	1	687	7	20	3		30	1	718
愛媛	667	141	76	14	898	5	28	3		36	1	935
高知	415	113	34	299	861	3	32	3		38		899
福岡	1,229	296	239	51	1,815	14	68	12		94	1	1,910
北九州サテライト	527	142	74	3	746	8	34	5		47	1	794
佐賀	327	86	58	1	472	8	9	2		19		491
長崎	505	128	90	39	762	9	24	1		34	1	797
熊本	702	169	86	46	1,003	7	26	5		38		1,041
大分	363	146	85	106	700	5	22	3		30		730
宮崎	501	105	75	1	682	5	10	1		16		698
鹿児島	1,008	205	178	25	1,416	5	33	6		44	1	1,461
沖縄	848	283	230	27	1,388	4	28	9		41		1,429

Chapter 10 卒業生等の概要

学部卒業生の属性 卒業生数 118,249人(令和3年3月末までの累計)



大学院修士課程修了生の属性 修了生数 6,440人(令和3年3月末までの累計)



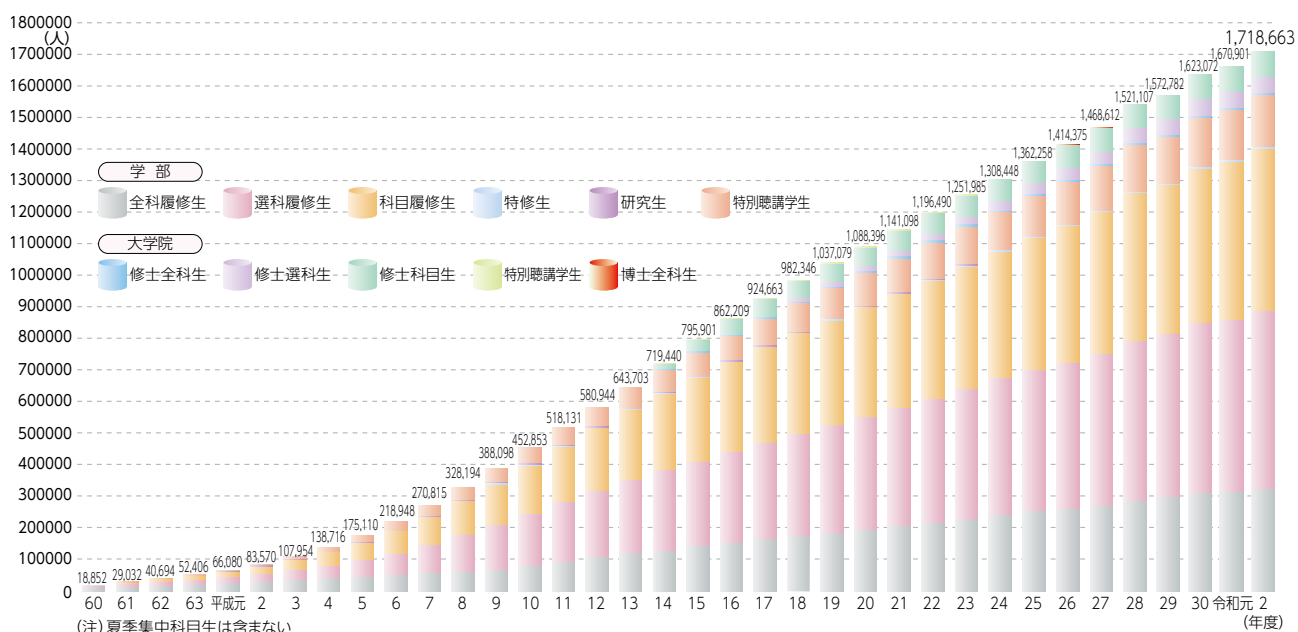
※2013年度(平成25年度)から、情報学プログラムを新設し、文化情報学プログラムは人文学プログラムに名称を変更。

卒業生・修了生数の推移

平成17年以前			平成18年以降				
年度	月	学部卒業生数(人)	大学院修士課程修了生数(人)	学部卒業生数(人)	大学院修士課程修了生数(人)	大学院博士後期課程修了生数(人)	
平成元年	3月	544		平成18年	3月	3,172	426
	9月	61			9月	2,168	12
平成2年	3月	602		平成19年	3月	3,137	441
	9月	115			9月	2,030	10
平成3年	3月	629		平成20年	3月	3,079	379
	9月	113			9月	1,929	9
平成4年	3月	595		平成21年	3月	3,230	414
	9月	136			9月	1,719	10
平成5年	3月	719		平成22年	3月	2,916	386
	9月	145			9月	1,879	8
平成6年	3月	839		平成23年	3月	3,033	348
	9月	149			9月	1,661	9
平成7年	3月	2,032		平成24年	3月	2,883	371
	9月	513			9月	1,592	2
平成8年	3月	1,148		平成25年	3月	2,911	311
	9月	518			9月	1,632	9
平成9年	3月	1,094		平成26年	3月	2,787	311
	9月	543			9月	1,845	7
平成10年	3月	1,143		平成27年	3月	3,070	350
	9月	563			9月	1,887	3
平成11年	3月	1,223		平成28年	3月	3,067	352
	9月	682			9月	2,181	2
平成12年	3月	1,251		平成29年	3月	3,272	322
	9月	888			9月	2,122	8
平成13年	3月	1,982		平成30年	3月	3,584	314
	9月	1,188			9月	2,351	5
平成14年	3月	2,133		平成31年	3月	3,637	324
	9月	1,653		令和元年	9月	2,113	5
平成15年	3月	2,612		令和2年	3月	3,435	314
	9月	1,849		令和2年	9月	2,374	4
平成16年	3月	2,623	344	令和3年	3月	4,124	253
	9月	1,921	10	計		118,249	6,440
平成17年	3月	2,908	357				
	9月	2,315	10				

学習者数(累計)

昭和60年(1985年)に学生受け入れを開始し、今年で37年目を迎え、令和2年度第2学期現在累計1,718,663名の方が学生として学んでいます。



土地・建物一覽

令和3年4月現在

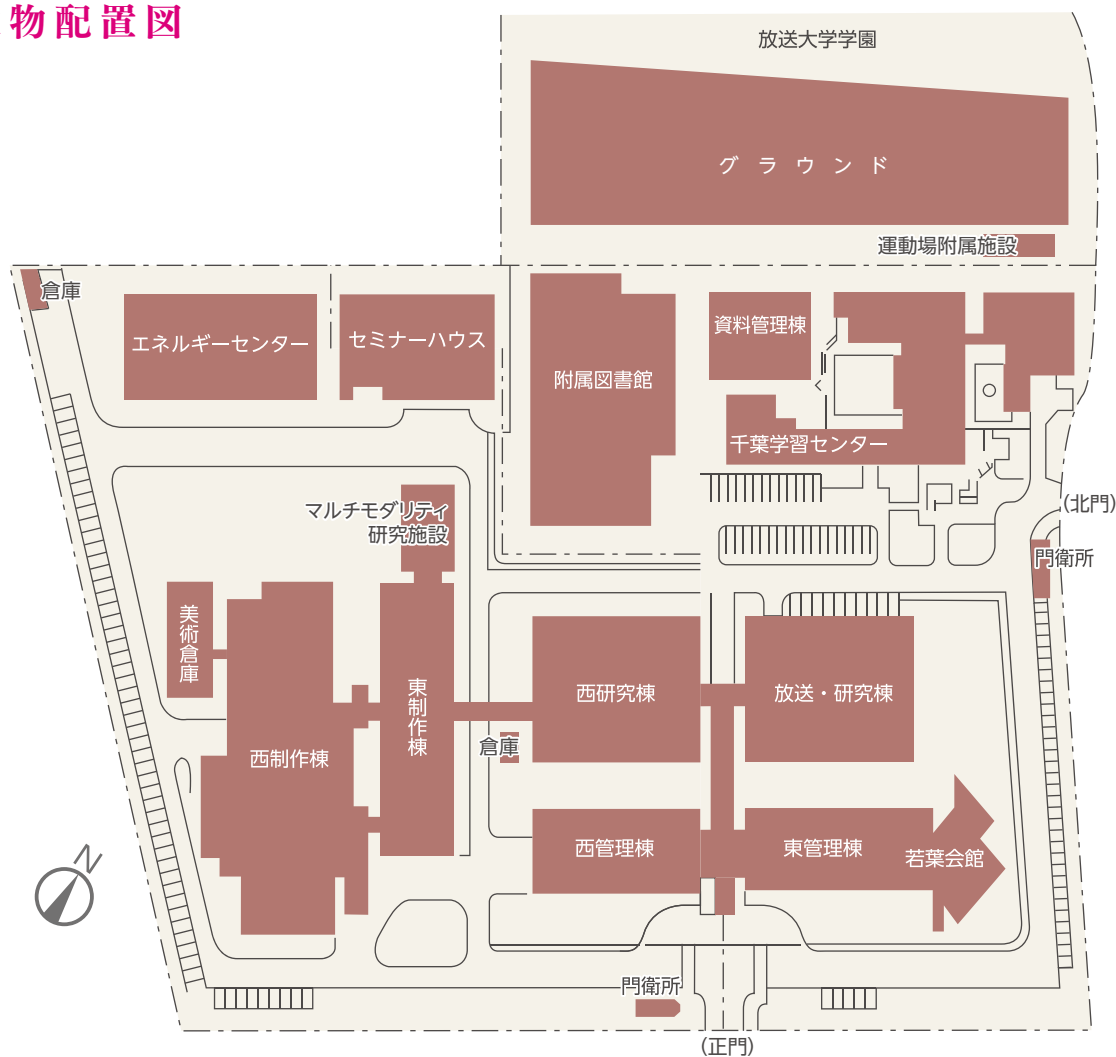
区分	所在地	土地(㎡)	建物(㎡)	備考	
本部		52333.8			
	管理棟		4,498.49		
	放送・研究棟		10,144.32		
	資料管理棟		1,375.53		
	制作棟		7,574.00		
	西研究棟		8,685.00		
	マルチメディア研究施設		353.00		
	附属図書館	千葉市美浜区若葉2-11		5,724.67	
	セミナーハウス			1,570.47	
	若葉会館			1,871.42	
	エネルギーセンター			1,602.00	
	門衛所			113.89	
	運動場			114.80	
車庫・倉庫			455.00		
			44,082.59		
北海道	札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学内)	1,126.17	2,234.80	土地は北海道大学から借用	
旭川※	旭川市常盤公園(旭川市常盤館内)	—	179.82	旭川市から借用	
青森	弘前市文京町3外(弘前大学文京町地区内)	6.36	361.36	弘前大学から借用	
八戸※	八戸市一番町1-9-22(八戸地域地場産業振興センター内)	—	104.00	八戸市から借用	
岩手	盛岡市上田3-18-8(岩手大学構内)	860.39	1,719.91	土地は岩手大学から借用	
宮城	仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平地区内)	3.02	1,260.64	東北大学から借用	
秋田	秋田市手形学園町1-1(秋田大学内)	525.35	1,046.92	土地は秋田大学から借用	
山形	山形市城南町1-1-1(霞城セントラル内)	—	320.40	山形県から借用	
福島	郡山市桑野1-22-21(郡山女子大学内)	—	546.05	郡山女子大学から借用	
いわき※	いわき市平鎌田字寿金沢22-1(東日本国際大学内)	—	151.64	東日本国際大学から借用	
茨城	水戸市文京2-1-1(茨城大学内)	749.51	1,248.79	土地は茨城大学から借用	
栃木	宇都宮市峰町350(宇都宮大学内)	967.93	1,506.57	土地は宇都宮大学から借用	
群馬	前橋市若宮町1-13-2	3,355.28	2,516.87	土地は関東財務局から借用	
埼玉	さいたま市大宮区錦町682-2(大宮情報文化センター内)	562.96	2,821.50	8、9、10階部分区分所有土地はさいたま市から借用	
千葉	千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)		3,431.70		
東京渋谷	渋谷区道玄坂1-10-7	—	542.09	五島育英会から借用	
東京文京	文京区大塚3-29-1	3,425.26	5,941.00	土地は筑波大学から借用	
東京足立	足立区千住5-13-5(学びピア21内)	—	547.50	足立区から借用	
東京多摩	小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス内)	1,127.50	2,127.05	土地は一橋大学から借用	
神奈川	横浜市南区大岡2-31-1	3,673.26	3,209.49	土地は関東財務局から借用	
新潟	新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町地区内)	703.83	1,406.16	土地は新潟大学から借用	
富山	射水市黒川5180(富山県立大学内)	—	371.65	富山県から借用	
石川	野々市市扇が丘7-1(金沢工業大学内)	—	749.59	金沢工業大学から借用	
福井	福井市手寄1-4-1(AOSSA7階)	—	410.15	福井県から借用	

区分	所在地	土地(㎡)	建物(㎡)	備考
山梨	甲府市武田4-4-37(山梨大学内)	650.91	1,365.93	土地は山梨大学から借用
長野	諏訪市諏訪1-6-1(アーク諏訪3階)	—	411.89	諏訪市から借用
岐阜	岐阜市藪田南5-14-53(岐阜県民ふれあい会館内)	—	499.00	岐阜県から借用
静岡	三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校内)	6.64	232.88	静岡県から借用
浜松※	浜松市中区早馬町2-1(クリエート浜松内)	—	168.96	浜松市から借用
愛知	名古屋市長久区八事本町101-2(中京大学センタービル内)	—	1,088.46	中京大学から借用
三重	津市一身上津部田1234(三重県総合文化センター内)	—	318.80	三重県から借用
滋賀	大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス内)	—	495.30	龍谷大学から借用
京都	京都市下京区西洞院通塩小路下の東塩小路町939(キャンパスプラザ京都内)	—	759.10	京都市から借用
大阪	大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス内)	1,042.96	3,118.66	土地は大阪教育大学から借用
兵庫	神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台キャンパス内)	900.95	1,838.28	土地は神戸大学から借用
姫路※	姫路市本町68-290(イーグレひめじ内)	—	204.85	姫路市から借用
奈良	奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター内)	—	415.76	奈良女子大学から借用
和歌山	和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)	—	326.00	和歌山大学から借用
鳥取	鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅前庁舎内)	—	401.31	鳥取市から借用
島根	松江市白湯本町43(スティックビル内)	—	443.45	松江市から借用
岡山	岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学構内)	729.84	1,453.15	土地は岡山大学から借用
広島	広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田地区内)	1,282.13	2,413.40	土地は広島大学から借用
福山※	福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム内)	—	134.42	福山市から借用
山口	山口市吉田1677-1(山口大学内)	—	600.00	山口大学から借用
徳島	徳島市新蔵町2-24(徳島大学日亜会館内)	—	434.00	徳島大学から借用
香川	高松市幸町1-1(香川大学内)	851.80	1,666.17	土地は香川大学から借用
愛媛	松山市文京町3(愛媛大学内)	784.03	1,595.82	土地は愛媛大学から借用
高知	高知市曙町2-5-1(高知大学内)	40.32	980.45	高知大学から借用
福岡	春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内)	38.78	1,319.56	九州大学から借用
北九州※	北九州市八幡西区黒崎3-15-3(コムシティ3階)	—	168.80	北九州市から借用
佐賀	佐賀市天神3-2-11(アバンセ内)	—	189.52	佐賀県から借用
長崎	長崎市文教町1番14号(長崎大学文教地区キャンパス内)	298.35	1,093.52	土地は長崎大学から借用
熊本	熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学内)	723.95	1,112.58	土地は熊本大学から借用
大分	別府市北石垣82(別府大学別府キャンパス内)	—	614.28	別府大学から借用
宮崎	日向市本町11-11	573.61	413.00	日向市から借用
鹿児島	鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)	0.17	528.67	鹿児島県から借用
沖縄	沖縄県中頭郡西原町字千原1(琉球大学内)	809.88	1,592.44	土地は琉球大学から借用

(注)※はサテライトスペースを示す。

(注)旧花見川固定局土地については令和3年5月に売却済。

建物配置図



放送大学学園の予算

令和3年度(2021会計年度)収入支出予算

(単位:百万円)

科目	収入		
	前年度 予算額	当年度 予算額	比較増 △減額
(款)事業収入 (項)授業料及入学検定料	6,335	6,335	0
(款)事業外収入 (項)雑収入	234	531	297
(款)特別修繕準備金収入 (項)特別修繕準備金収入	113	143	30
(款)補助金収入 (項)国庫補助金	7,766	7,386	△380
(款)受託収入 (項)受託収入	16	16	0
合計	14,464	14,411	△53

科目	支出		
	前年度 予算額	当年度 予算額	比較増 △減額
(項)管理経費	703	1,036	333
(項)教材作成等事業費	3,134	3,135	1
(項)教育研究費	8,590	8,451	△139
(項)放送事業費	1,637	1,631	△6
(項)特別修繕費	113	143	30
(項)放送大学学園施設整備費	270	0	△270
(項)受託研究等事業費	16	16	0
合計	14,464	14,411	△53

(注)単位未満四捨五入のため、合計に符合しないことがある。



学園周辺案内図



交通案内

1 電車利用

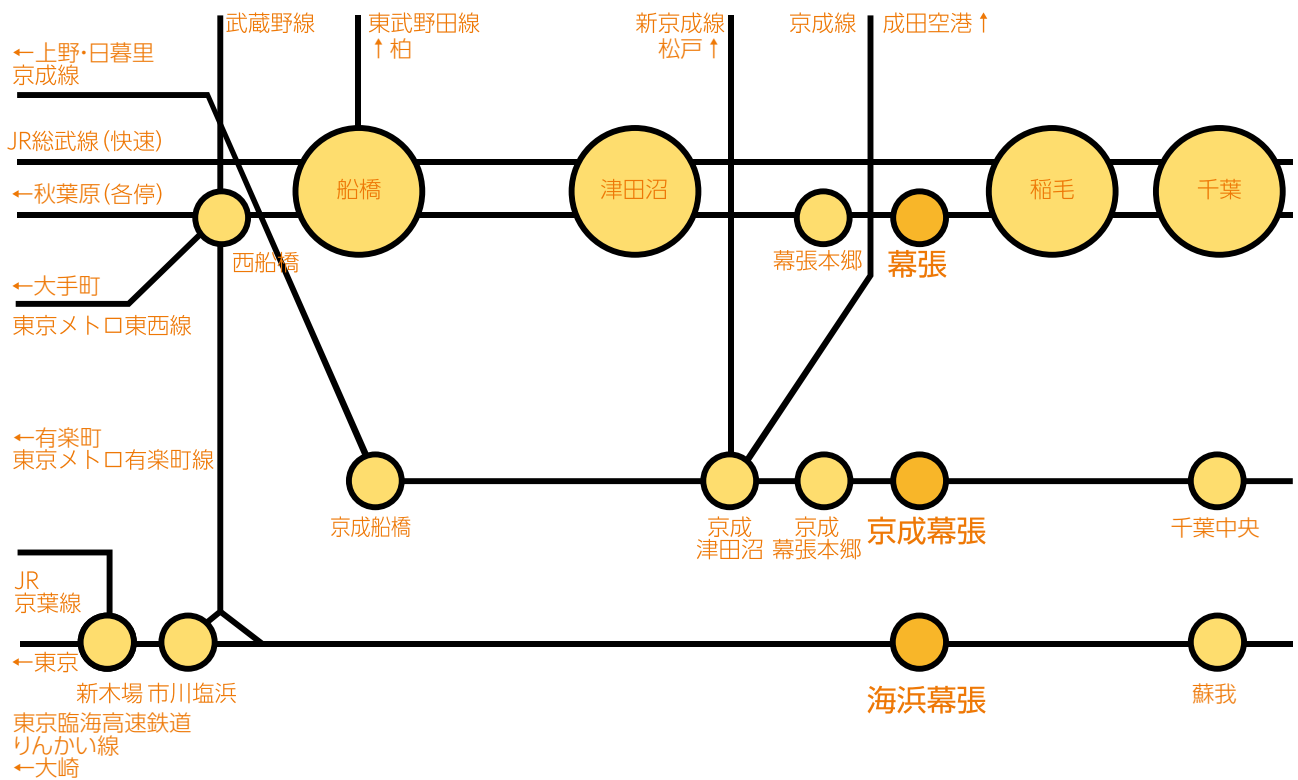
JR総武線幕張駅
京成千葉線幕張駅 } 下車
海岸方向へ1km(徒歩15分)
JR京葉線海浜幕張駅 下車
北方向へ1km(徒歩15分)

2 路線バス利用

JR幕張駅(北口)より千葉シーサイドバスで
「総合教育センター」下車(所要約5分)
京成幕張駅より京成バスで
「総合教育センター」下車(所要約5分)
JR海浜幕張駅(北口)より
千葉シーサイドバス、京成バスで
「総合教育センター」下車(所要約5分)

3 車利用(東京方面から)

首都高速→京葉道路→幕張I.C.
→幕張5丁目信号右折400m
首都高速→東関東自動車道→湾岸習志野I.C.
→1km(2つ目の信号左折)





〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11
TEL.043-276-5111(総合受付)